



IP テレフォニー システムのインストール およびアップグレード（エンタープライズおよび 中間市場）

Cisco Unified Communications System Release 7.0(1)

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。
また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されません。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性や特定の目的への準拠性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取引によって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコシステムズまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いかねます。

CCDE, CCENT, Cisco Eos, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco WebEx, the Cisco logo, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn and Cisco Store are service marks; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. 「パートナー」という用語を使用しているが、シスコシステムズと他社とのパートナー関係を意味するものではありません。(0809R)

IP テレフォニー システムのインストールおよびアップグレード (エンタープライズおよび中間市場)

Copyright © 2007 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.

Copyright © 2008, シスコシステムズ合同会社 .

All rights reserved.



CONTENTS

はじめに	vii
概要	vii
対象読者	viii
マニュアルの構成	viii
関連資料	ix
マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン	x
シスコのテクニカル サポート	x
Service Request ツールの使用	x
その他の情報の入手方法	xi

PART 1

IP テレフォニー システムのインストール (エンタープライズおよび中間市場)

CHAPTER 1

システム インストールの計画	1-1
シスコ ユニファイド コミュニケーション システムの概要	1-2
このインストール マニュアルの適用範囲	1-3
システム インストールの概要	1-4
インストール タイプ	1-4
リリース セット	1-4
レガシー導入とインストール ベース導入のリリース セット	1-4
グリーンフィールド導入のリリース セット	1-5
システム インストールのロードマップ	1-5
コンポーネント インストールの概要 (エンタープライズ)	1-6
コンポーネント インストールの概要 (中間市場)	1-8
システム インストールの方法	1-10
新しいハードウェアを使用した単一ステージ インストール (グリーンフィールド導入の場合)	1-10
新しいハードウェアを使用した単一ステージ インストール (レガシー導入の場合)	1-10
新しいハードウェアを使用したマルチステージ インストール (レガシー導入の場合)	1-10
マルチサイトの段階的インストール	1-11
相互運用性と互換性に関するポータル	1-11

CHAPTER 2

システム インストールの準備	2-1
始める前に	2-2
システム インストールのアプローチ	2-4
リリース セット バージョン	2-5
システム インストールの依存関係	2-10

CHAPTER 3

システム インストールの実行	3-1
導入モデル	3-2
IP テレフォニー エンタープライズ向けモデル	3-2
単一サイト モデル	3-2
SRST を使用した集中型マルチサイト モデル	3-3
分散型マルチサイト WAN モデル	3-4
WAN を介したクラスタ化モデル	3-4
IP テレフォニー 中間市場モデル	3-5
単一サイト モデル	3-5
SRST を使用した集中型マルチサイト モデル	3-5
分散型マルチサイト WAN モデル	3-6
コンポーネントのインストール	3-7
単一ステージ インストール (エンタープライズ)	3-7
単一ステージ インストール (中間市場)	3-8
マルチステージ システム インストール	3-8
インストール後の作業	3-11
関連資料	3-12
互換性ガイド	3-12
コンポーネントのリリース ノート、インストレーションおよびアップグレード マニュアル	3-13

PART 2

IP テレフォニー システムのアップグレード (エンタープライズおよび中間市場)

CHAPTER 4

システム アップグレードの計画	4-1
シスコ ユニファイド コミュニケーション システムの概要	4-2
このアップグレード マニュアルの適用範囲	4-2
リリース セット	4-3
シスコ ユニファイド コミュニケーション システム (エンタープライズ)	4-3
シスコ ユニファイド コミュニケーション システム (中間市場)	4-4
アップグレードのロードマップ	4-5
アップグレードの概要	4-7
ベース リリース セット内の既存のコンポーネント	4-7
ターゲット リリース セット内の新しいコンポーネントおよび機能	4-10

IP Communications Systems Test からアップグレードする場合の新しいコンポーネント Release 4.2	4-10
IP Communications Systems Test Release 4.4 からアップグレードする場合の新しいコンポーネント	4-11
Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) からアップグレードする場合の新しいコンポーネント	4-12
Cisco Unified Communications System Release 6.0(1) からアップグレードする場合の新しいコンポーネント	4-12
Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) からアップグレードする場合の新しいコンポーネント	4-13
ターゲット リリース セットに含まれていないコンポーネント	4-13
システムのアップグレード パス	4-14
IPC Systems Test リリース セットからのアップグレード	4-14
シスコ ユニファイド コミュニケーション システム リリース セットからのアップグレード	4-15
Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) へのアップグレード パス	4-16
システム アップグレードの方法	4-17
既存のハードウェアを使用した単一ステージ アップグレード	4-18
新しいハードウェアを使用した単一ステージ アップグレード	4-19
既存のハードウェアを使用したマルチステージ システム アップグレード (ハイブリッド システム)	4-20
マルチサイト移行 (ハイブリッド ネットワーク)	4-21
CHAPTER 5	システム アップグレードの準備 5-1
	システム アップグレードのアプローチ 5-2
	システム アップグレードの依存関係 5-3
	Cisco Unified Communications Manager のアップグレードと互換性に関する考慮事項 5-3
	移行に関する一般的な注意事項 5-3
	Unified Communications Manager Release 4.x から Unified Communications Manager Release 7.0(1) へのアップグレード 5-4
	Cisco Unified Communications Manager Release 5.x から Cisco Unified Communications Manager Release 7.0(1) へのアップグレード 5-5
	Cisco Unified Communications Manager Release 6.x から Cisco Unified Communications Manager Release 7.0(1) へのアップグレード 5-7
	Cisco Unified Presence に関する考慮事項 5-8
	Cisco Unified IP Phone に関する考慮事項 5-8
	下位互換性の問題 5-9
	下位互換性のシナリオ 5-9
	アップグレード リリース バージョン 5-12
	Release 4.2 と Release 7.0(1) のソフトウェア リリース セット 5-12

Release 4.4 と Release 7.0(1) のソフトウェア リリース セット	5-17
Release 5.1(3) と Release 7.0(1) のソフトウェア リリース セット	5-23
Release 5.1(1) と Release 7.0(1) のソフトウェア リリース セット	5-28
Release 6.1(1) と Release 7.0(1) のソフトウェア リリース セット	5-32

CHAPTER 6

システム アップグレードの実行	6-1
IP テレフォニー導入モデル	6-2
IP テレフォニー エンタープライズ向けモデル	6-2
単一サイト モデル	6-2
SRST を使用した集中型マルチサイト モデル	6-4
分散型マルチサイト WAN モデル	6-5
WAN を介したクラスタ化モデル	6-7
IP テレフォニー中間市場向けモデル	6-9
単一サイト モデル	6-9
SRST を使用した集中型マルチサイト モデル	6-10
分散型マルチサイト WAN モデル	6-10
IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード	6-12
単一ステージ アップグレード	6-12
マルチステージ システム アップグレード	6-14
マルチステージ システム アップグレード ステージの終了条件	6-24
関連資料	6-34
互換性ガイド	6-34
コンポーネントのリリース ノートとインストールおよびアップグレード マニュアル	6-35

INDEX

索引



はじめに

概要

このマニュアルでは、シスコ ユニファイド コミュニケーション システム テストの一部としてテストおよび検証された、IP テレフォニー コンポーネントおよび構成のインストールおよびアップグレードについて説明します。このマニュアルは、次のとおり 2 部構成になっています。

- 第 1 部: IP テレフォニーのシステム インストール Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) の IPT コンポーネントを取り付けるための、システムレベルの手順について説明します。
- 第 2 部: IP テレフォニーのシステム アップグレード IP テレフォニー環境のソフトウェアおよびハードウェア コンポーネントを IP Communications Systems Release 4.2、release 4.4、Cisco Unified Communications Release 5.1(3)、Release 6.0(1)、および Release 6.1(1) から Cisco Unified Communications Release 7.0(1) へアップグレードするための、システムレベルの手順について説明します。

また、互換性に関する関連情報、リリース間のアップグレードパス、およびさまざまな規模のネットワーク インストールに対応するアップグレード方法についても説明します。さらに、個別のテスト サイトのアップグレード シーケンスについて、コンポーネントのアップグレード順序に重点を置きながら説明し、個別コンポーネントのインストールおよびアップグレード マニュアルへの参照も示します。



(注)

IP テレフォニー コンポーネントの名前の多くは、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムのリリースの一部として変更されています。このマニュアルでは、以前のリリースの製品を指す場合でも、最新の製品名を使用しています。

対象読者

このマニュアルは、シスコ ユニファイド コミュニケーション システム ファミリの IP テレフォニー 製品に含まれている各種のハードウェアおよびソフトウェア コンポーネントについて理解しているシステム管理者を対象としています。記載されているシステムのインストール、設定、管理、およびトラブルシューティングを行うには、技術や製品に関する知識が必要となります。

マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

章	説明
第 1 部：IP テレフォニー システムのインストール	
第 1 章「システム インストールの計画」	システム インストールの概要、一般的な IP テレフォニー環境のコンポーネントのリスト、およびさまざまなインストール方法について説明します。
第 2 章「システム インストールの準備」	IP テレフォニー コンポーネントをインストールするための一般的なアプローチ、インストール リリース セット バージョン、およびソフトウェアの依存関係並びに考慮事項について説明します。
第 3 章「システム インストールの実行」	特定の導入モデルで構成されているすべての IP テレフォニー コンポーネントのインストール順序およびプロセスについて説明します。
第 2 部：IP テレフォニー システムのアップグレード	
第 4 章「システム アップグレードの計画」	システム アップグレードの要件の概要、アップグレード プロセスに関係するターゲット リリース バージョン、アップグレード パスおよび方法について説明します。
第 5 章「システム アップグレードの準備」	さまざまな IP テレフォニー コンポーネントをアップグレードするための一般的なアプローチ、アップグレード リリース バージョン、およびソフトウェアの互換性に関する考慮事項について説明します。
第 6 章「システム アップグレードの実行」	Cisco Unified Communications Release 7.0(1) の特定の導入モデルで構成されているすべての IP テレフォニー コンポーネント（北米、欧州、および新興成長市場を含む）のアップグレード順序について説明します。

関連資料

シスコ ユニファイド コミュニケーション ソリューション には、システム アーキテクチャとコンポーネントの詳細、インストールとアップグレード、トラブルシューティング、および関連情報について説明したインタラクティブなマニュアル一式が用意されています。このマニュアル一式には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/unified-techinfo>

このサイトには、システム アーキテクチャおよびコンポーネントの詳細、インストールおよびアップグレード、トラブルシューティング、トポロジ ダイアグラム、さらに関連情報について説明したインタラクティブなマニュアル一式が用意されています。

Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) の IP テレフォニーまたはコンタクト センター システム アプリケーションの専用サイトは、次のとおりです。

- Cisco Unified Communications System for IP Telephony for Enterprise and Midmarket Release 7.0(1)
<http://www.cisco.com/iam/unified/ipt701/ENT/index.htm>
- Cisco Unified Communications System for IP Telephony for Small and Medium Business Release 7.0(1)
<http://www.cisco.com/iam/unified/ipt701/SMB/index.htm>
- Cisco Unified Communications System for Contact Center Release 7.0(1)
<http://www.cisco.com/iam/unified/ipcc701/index.htm>

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、マニュアルに関するフィードバックの提供、セキュリティ ガイドライン、および推奨エイリアスや一般的なシスコのマニュアルについては、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

シスコのテクニカル サポート

次の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。

<http://www.cisco.com/en/US/support/index.html>

以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。

- テクニカル サポートを受ける
- ソフトウェアをダウンロードする
- セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける
- ツールおよびリソースへアクセスする
 - Product Alert の受信登録
 - Field Notice の受信登録
 - Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索
- Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する
- トレーニング リソースへアクセスする
- TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する

Japan テクニカル サポート Web サイトでは、Technical Support Web サイト (<http://www.cisco.com/techsupport>) の、利用頻度の高いドキュメントを日本語で提供しています。

Japan テクニカル サポート Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

Service Request ツールの使用

Service Request ツールには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

日本語版の Service Request ツールは次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac/sr/>

シスコの世界各国の連絡先一覧は、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/warp/public/687/Directory/DirTAC.shtml>

その他の情報の入手方法

シスコの製品、サービス、テクノロジー、ネットワークング ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインで入手できます。

- シスコの E メール ニュースレターなどの配信申し込みについては、Cisco Subscription Center にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/offer/subscribe>

- 日本語の月刊 Email ニュースレター「Cisco Customer Bridge」については、下記にアクセスください。

http://www.cisco.com/web/JP/news/cisco_news_letter/ccb/

- シスコ製品に関する変更やアップデートの情報を受信するには、Product Alert Tool にアクセスし、プロファイルを作成して情報の配信を希望する製品を選択してください。Product Alert Tool には、次の URL からアクセスできます。

<http://tools.cisco.com/Support/PAT/do/ViewMyProfiles.do?local=en>

- 『Cisco Product Quick Reference Guide』はリファレンス ツールで、パートナーを通じて販売されている多くのシスコ製品に関する製品概要、主な機能、製品番号、および簡単な技術仕様が記載されています。『Cisco Product Quick Reference Guide』を発注するには、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/guide>

- ネットワークの運用面の信頼性を向上させることのできる最新の専門的サービス、高度なサービス、リモート サービスに関する情報については、Cisco Services Web サイトを参照してください。Cisco Services Web サイトには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/services>

- Cisco Marketplace では、さまざまなシスコの書籍、参考資料、マニュアル、ロゴ入り商品を提供しています。Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- DVD に収録されたシスコの技術マニュアル (Cisco Product Documentation DVD) は、Product Documentation Store で発注できます。Product Documentation Store には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/docstore>

- 日本語マニュアルの DVD は、マニュアルセンターから発注できます。マニュアルセンターには下記よりアクセスください。

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/manual_center/index.shtml

- Cisco Press では、ネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を発行しています。Cisco Press には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.ciscopress.com>

- 日本語のシスコプレスの情報は以下にアクセスください。

<http://www.seshop.com/se/ciscopress/default.asp>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/ipj>

- 『What's New in Cisco Product Documentation』は、シスコ製品の最新マニュアル リリースに関する情報を提供するオンライン資料です。毎月更新されるこの資料は、製品カテゴリ別にまとめられているため、目的の製品マニュアルを見つけることができます。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

- シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml



PART 1

IP テレフォニー システムのインストレーション (エンタープライズおよび中間市場)



システム インストールの計画

この章では、IP テレフォニー コンポーネントのインストール プロセスの概要について説明します。インストールのタイプ、リリース セットに含まれているコンポーネントの概要、および各種のインストール方法について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- [シスコユニファイド コミュニケーション システムの概要](#)
- [このインストレーション マニュアルの適用範囲](#)
- [システム インストールの概要](#)
- [システム インストールの方法](#)
- [相互運用性と互換性に関するポータル](#)



(注)

IPT コンポーネントの名前の多くは、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムのリリースの一部として変更されています。このマニュアルでは、以前のリリースの製品を指す場合でも、最新の製品名を使用しています。

シスコユニファイドコミュニケーションシステムの概要

シスコユニファイドコミュニケーションシステムは、インテリジェントな IP ネットワークに組み込まれる多機能のビジネス コミュニケーション システムです。このシステムは、あらゆる規模の企業で音声、データ、およびビデオによる通信を実現します。このマニュアルで扱うシスコユニファイドコミュニケーションシステムは、北米および European and Emerging Markets (EUEM) で規定された、ごく一般的に導入されるエンタープライズおよび中間市場のビジネス トポロジ モデルです。シスコユニファイドコミュニケーションシステムのテストプロセスでは、音声製品の相互運用性を検証して、各製品が統合システムとして相互動作することを保証しています。

シスコシステムズでは、顧客の多種多様なニーズを満たす統合システムを提供しています。シスコユニファイドコミュニケーションは、あらゆる呼制御、会議、ボイスメール、ボイス メッセージ、カスタマー コンタクト、IP 電話、テレビ電話、テレビ会議、リッチ メディア クライアント、および音声アプリケーション製品を含め、各シスコ IP コミュニケーション製品のフルレンジを表します。これらの製品およびアプリケーションは、統合システムとして設計、開発、テスト、マニュアル作成、販売、およびサポートが行われています。エンタープライズ向けのシスコユニファイドコミュニケーションシステムは、中核の呼処理コンポーネントである Cisco Unified Communications Manager を中心にした IP テレフォニー製品が土台になります。中間市場向けのシスコユニファイドコミュニケーションシステムは、呼処理コンポーネントである Cisco Unified Communications Manager Business Edition を中心にした IP テレフォニー製品が土台になります。

このインストール マニュアルの適用範囲

このマニュアルに記載されているインストール手順は、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムのインストールに関する高レベルのガイドになっています。このマニュアルでは、Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) に属する製品だけを対象に、システム側から見たインストールについて説明します。

シスコ ユニファイド コミュニケーション IP テレフォニー システムは、次の基本的な特性および要件を満たします。

- ネットワークの設計およびアーキテクチャに関するシスコの推奨事項およびガイドラインに基づいた導入
- 新規のグリーンフィールド導入またはレガシー システム導入
- これらのシステムのインストール(以前のソフトウェア バージョンからのアップグレードではない)。ここでは、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムに含まれるコンポーネントのインストールに関連する情報だけを扱います。詳細については、第2章「システムインストールの準備」の「リリース セット バージョン」を参照してください。



(注) レガシー システムに、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムと相互動作する必要がある PBX およびその他の製品が含まれている場合は、「[相互運用性と互換性に関するポータル](#)」の項を参照して、相互運用性と統合について確認してください。

IP テレフォニー システムを完全にセットアップするためのオプションは多種多様で、その手順は複雑であるため、このマニュアルでは、次のインストールまたは設定手順については説明していません。

- 個別のスタンドアロン コンポーネントとその機能
- サードパーティの共存アプリケーション (アンチウイルス、セキュリティ、サーバ管理、リモート アクセスなど)
- 追加のサードパーティのオフボード アプリケーション (オペレータ コンソール、請求会計処理など)
- サーバでのコンポーネント交換 (ハードウェア インストール)

IP テレフォニー製品のインストールおよび設定を実行するには、次に示す製品固有のインストール マニュアルを参照してください。

- シスコのあらゆる音声製品を対象とする製品固有のインストール マニュアル
<http://www.cisco.com/web/psa/products/index.html>
- Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) に含まれるあらゆる IP テレフォニー コンポーネントを対象とする、コンポーネント固有のインストールおよびコンフィギュレーション マニュアルの URL 一覧
http://www.cisco.com/iam/unified/ipt701/ENT/Component_Installation_and_Upgrade.htm

また、第3章「システムインストールの実行」の「[関連資料](#)」の項も参照してください。

システム インストールの概要

この項の構成は、次のとおりです。

- [インストール タイプ](#)
- [リリース セット](#)
- [システム インストールのロードマップ](#)
- [コンポーネント インストールの概要 \(エンタープライズ\)](#)
- [コンポーネント インストールの概要 \(中間市場\)](#)

インストール タイプ

IP テレフォニー環境をインストールおよび作成する場合は、次の導入タイプを考慮してください。

- **グリーンフィールド導入** 既存の装置を使用しない、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムの完全な新規インストール
- **レガシー導入** 既存のレガシー装置 (TDM PBX、サードパーティの付加装置など) を組み合わせた、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムの新規インストール。この導入では、長期にわたる共存および統合、または最終的に新規インストールに移行することが必要になる場合があります。
- **インストール ベース (ブラウンフィールド導入)** 既存のシスコ ユニファイド コミュニケーション システム。この導入では、以前のシステム リリースから現行のシステム リリースへのアップグレードおよび移行が必要です。既存のインストール ベースのアップグレード方法の詳細については、このマニュアル内のアップグレードのトピックを参照してください。



(注) アップグレードを実行する場合は、以前のシステム リリース バージョンとの共存および相互運用性など、下位互換性の問題に注意してください。

リリース セット

リリース セットとは、統合されたシスコ ユニファイド コミュニケーション システムとして連携動作することがテストされた製品、コンポーネント、およびソフトウェア バージョンの組み合わせとして定義されています。システム リリースの中にも、リリース セットと呼ばれるものがあります。

レガシー導入とインストール ベース導入のリリース セット

レガシー導入またはブラウンフィールド導入を取り扱う場合は、レガシーおよび既存コンポーネントのバージョンと Cisco Unified Communications System 6.1(1) コンポーネントのバージョンとの相互運用性の問題に注意してください。

要約マトリクスでは、以前のシステム リリース セットを製品リリース バージョン別に参照できません。IP テレフォニー環境に導入されたリリース セットのバージョンの内容に詳しくない場合は、次のリンクを使用してください。

- Cisco Unified Communications System Release Summary Matrix for IP Telephony
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/unified/communications/system/versions/IPTMatrix.html
- IP Communications System Test Release
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/GB_resources/ipcmatrix.htm

また、レガシー製品およびサードパーティ製品と Cisco IP テレフォニー製品との相互運用性のサポートについては、「[相互運用性と互換性に関するポータル](#)」の項を参照してください。

グリーンフィールド導入のリリース セット

グリーンフィールド導入を取り扱う場合は、Cisco Unified Communications System 6.1(1) ファミリの製品に属し、相互運用性および互換性についてテストおよび検証された機能、アプリケーション、およびコンポーネントがあることに注意してください。

特定のネットワーク設計に基づいて、これらの機能、アプリケーション、およびコンポーネントのすべてまたは一部をインストールします。IP テレフォニー環境に適用されるコンポーネントのリストについては、「[コンポーネント インストールの概要 \(エンタープライズ\)](#)」の項を参照してください。

Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) IP テレフォニー コンポーネント、対応するソフトウェア、およびファームウェアのバージョンについては、[第2章「システム インストールの準備」](#)の「[リリース セット バージョン](#)」を参照してください。

システム インストールのロードマップ

[表 1-1](#) に、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムのインストール時に実行する作業の概要を示します。

表 1-1 インストール作業の概要

	作業	備考
ステップ 1	インストール前の作業を実行します。	第2章「システム インストールの準備」 の「 始める前に 」の項と、各製品のインストール マニュアルに記載されている作業を参照してください。
ステップ 2	ネットワーク インフラストラクチャをインストールし、設定します。	ハードウェアを設置し、ケーブルを接続します。
ステップ 3	コンポーネントのソフトウェアをインストールおよび設定し、インストールされたコンポーネント間の連携機能を使用可能にします。	詳細については、 第3章「システム インストールの実行」 を参照してください。
ステップ 4	インストールされたコンポーネントを初期化し、コンポーネントが機能することを確認します。	<ul style="list-style-type: none"> システム レベルのアプリケーション (コールド スタート、経過時間など) ノード レベルの各アプリケーション
ステップ 5	検証および確認テストを実行し、インストールされたコンポーネントが相互動作することを確認します。	—
ステップ 6	シスコ製品とサードパーティまたはレガシー製品を統合し、相互運用性を確認します。	第2章「システム インストールの準備」 の「 始める前に 」の項と、各製品のインストール マニュアルに記載されている作業を参照してください。
ステップ 7	インストール後の作業を実行します。	第3章「システム インストールの実行」 の「 インストール後の作業 」の項を参照してください。

コンポーネント インストールの概要 (エンタープライズ)

エンタープライズ向けシスコ ユニファイド コミュニケーション システムの IP テレフォニー環境は、次に示す主要なソフトウェア コンポーネントで構成されます。

- 呼処理 Unified Communications Manager、Unified Communications Manager Express、Unified SRST
- 通信 Cisco emergency Responder、Cisco Unified Contact Center Express
- メッセージ Cisco Unity、Cisco Unity Connection、Cisco Unity Express、Cisco Unified Messaging Gateway
- インスタント メッセージおよび存在確認 Cisco Unified Presence
- 会議 Cisco Unified MeetingPlace、Cisco Unified MeetingPlace Express、Cisco Unified Videoconferencing
- システム管理 Cisco Unified Operations Manager、Cisco Unified Service Monitor、Cisco Unified Service Statistics Manager、Cisco Unified Provisioning Manager、LAN Management Solution

また、完全な IPT 導入には、次に示すシスコのハードウェアおよびソフトウェア製品が必要です。

- Cisco Unified IP Phones、Cisco IP Communicator、Cisco Unified Personal Communicator
- シスコのゲートウェイ、ゲートキーパー、Cisco Unified Border Element
- シスコ LAN/WAN インフラストラクチャおよびコンポーネント
- シスコ セキュリティ コンポーネント

表 1-2 に、IP テレフォニー環境にインストールして設定できる、Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) 製品ファミリの主要コンポーネントの概要を示します。詳細については、次の URL から「Cisco Unified Communications System Product Comparison」を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/voicesw/ps6788/vcallcon/ps556/product_data_sheet0900aecd80410ad6_ps1006_Products_Data_Sheet.html



(注) 表 1-2 に示したシスコ ユニファイド コミュニケーション システム IP テレフォニー コンポーネントのリストは、エンタープライズ ビジネス モデル向けです。中間市場のビジネス モデルの場合、これらのコンポーネントがすべて必要なわけではありません。中間市場ビジネス モデル導入に必要なコンポーネントのリストについては、「[コンポーネント インストールの概要 \(中間市場\)](#)」を参照してください。

表 1-2 シスコ ユニファイド コミュニケーション システムの IP テレフォニー コンポーネントに関するシステム インストールの概要 (エンタープライズ)

コンポーネント / アプリケーション / 機能	目的
通信インフラストラクチャおよび無線コンポーネント	
スイッチおよびルータ	シスコ スイッチおよびルータは、スイッチング サービスとインテリジェント ルーティング サービスにより、音声、ビデオ、データ、インターネット アクセス、無線、およびその他のアプリケーションを配信します。また、ユーザ、アプリケーション、および通信システム間的高速接続を実現します。
ゲートウェイおよびゲートキーパー	シスコのゲートウェイおよびゲートキーパーは、データ、無線、および IP 通信用に最適化されています。また、既存の電話装置を使用して、独立した VoIP ネットワークとアナログ電話ゲートウェイを IP 接続することをサポートします。

表 1-2 シスコユニファイドコミュニケーションシステムの IP テレフォニー コンポーネントに関するシステムインストールの概要 (エンタープライズ)(続き)

コンポーネント/アプリケーション/機能	目的
ファイアウォールおよびセキュリティコンポーネント	<p>セキュリティ コンポーネントには、ファイアウォール サービスとポリシー強制サービス、アンチウイルス ソフトウェア、およびドメインと Web サーバのセキュリティ強化機能が含まれています。</p> <p>Firewall Services Module (FWSM) は、デバイス上のポートがファイアウォール ポートとして動作することを可能にし、ネットワーク インフラストラクチャ内のファイアウォール セキュリティを統合します。</p> <p>ポリシー強制サービスは、ネットワークを不正アクセスから保護できます。これらのサービスを VPN サービスと組み合わせると、企業は独自のネットワークをビジネス パートナー、リモート サイト、およびモバイル端末を使用する従業員にまで安全に拡張することができます。</p>
無線コンポーネント	無線コンポーネントは、インスタント メッセージ、E メール、およびネットワーク リソースにリアルタイムでアクセスできる、セキュアでスケラブルなコスト効率のよい WLAN を実現します。
システム ネットワーク管理アプリケーション	<p>このアプリケーションでは、シスコユニファイドコミュニケーションシステムの監視、管理、およびトラブルシューティングを行うことができます。</p> <p>たとえば、Unified Operations Manager は、システム全体を総合的に監視および診断します。また、システム全体を自動的に検出し、状況に応じた診断を行うことにより、迅速なトラブルシューティングを可能にします。</p>
Cisco Unified Communications Manager および呼処理デバイス	
Cisco Unified Communications Manager	Unified Communications Manager は、シスコユニファイドコミュニケーションの IP テレフォニー ネットワークに対する呼処理機能を備えています。
Cisco Unified Communications Manager サービス	Unified Communications Manager クラスタでの呼処理に不可欠なパブリック サーバ、サブスクリバ サーバ、および TFTP サーバ上で動作するさまざまなサービスがあります。
Cisco Unified Communications Manager Express	小規模のビジネスに適した呼処理機能を提供します。
Cisco Unified IP Phone (SCCP および SIP)	自動登録や Bulk Administration Tool (BAT) などの手法を使用して、Unified IP Phone をインストールおよび設定し、Unified Communications Manager データベースに追加します。
Cisco IP Communicator のインストールおよび設定	Cisco IP Communicator は、拡張されたテレフォニー サポートを PC 経由で配信するソフトウェアベースのアプリケーションです。このアプリケーションは、顧客のさまざまなニーズを満たすために、移動時の補助的な電話機、在宅勤務用のデバイス、または主要なデスクトップ電話機として機能するように設計されています。
会議アプリケーション	Cisco Unified MeetingPlace では、直観的に理解できるインターフェイスを使用して、会議のセットアップ、参加、および管理を行うことができます。大規模な音声機能、Cisco Unified Videoconferencing を使用したビデオ機能、および Web 会議機能により、高度なコラボレーション会議、トレーニング セッション、およびプレゼンテーションなど、さまざまな会議アプリケーションが使用可能になります。

■ システムインストールの概要

表 1-2 シスコユニファイドコミュニケーションシステムの IP テレフォニー コンポーネントに関するシステムインストールの概要 (エンタープライズ)(続き)

コンポーネント/アプリケーション/機能	目的
Cisco Unified Communications Manager クラスタ (スイッチ、ルータ、ゲートウェイ、ゲートキーパー、および Cisco Unified Communications Manager Telephony クライアントとの統合)	Cisco Contact Center Express システムに Unified Communications Manager Telephony クライアントをインストールして、Unified Communications Manager クラスタと通信できるようにします。
ボイスメールおよびユニファイドメッセージング コンポーネント	これらのアプリケーションは、ボイス メッセージ、統合メッセージ、音声認識機能、およびコール ルーティング ルールを統合します。Cisco Unity Connection、Cisco Unity、Cisco Unity Express、Cisco Unified Messaging Gateway などです。
存在確認アプリケーション	Cisco Unified Presence は、各アプリケーション内のさまざまな知識をリンクして、シスコユニファイドコミュニケーションシステム内の定義済みユーザをどこからでも詳細に表示できるようにします。
モビリティ コンポーネント	無線およびモビリティ コンポーネントのサービスによって、インスタントメッセージ、E メール、およびネットワーク リソースにリアルタイムでアクセスできる、セキュアでスケーラブルな方法を使用できるようになります。このようなコンポーネントの例としては、Cisco Unified Mobility Advantage、Cisco Unified Mobile Communicator などがあります。

コンポーネント インストールの概要 (中間市場)

中間市場向けシスコユニファイドコミュニケーションシステムの IP テレフォニー環境は、次に示す主要なソフトウェア コンポーネントで構成されます。

- 呼処理 Cisco Unified Communications Manager Business Edition、Unified SRST
- 通信 Cisco Unified Contact Center Express
- メッセージ Cisco Unity Connection
- 会議 Cisco Unified MeetingPlace Express
- システム管理 Cisco netManager Unified Communications

また、完全な IP テレフォニー導入には、次に示すシスコのハードウェアおよびソフトウェア製品が必要です。

- Cisco Unified IP Phones、Cisco IP Communicator
- Cisco ゲートウェイおよびゲートキーパー
- シスコ LAN/WAN インフラストラクチャおよびコンポーネント
- シスコセキュリティ コンポーネント

表 1-3 に、IP テレフォニー中間市場環境にインストールして設定できる、Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) 製品ファミリの主要コンポーネントの概要を示します。詳細については、次の URL からシスコユニファイドコミュニケーションシステム製品の比較を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/voicesw/ps6788/vcallcon/ps556/product_data_sheet0900aecd80410ad6_ps1006_Products_Data_Sheet.html

表 1-3 シスコユニファイド コミュニケーション システムの IP テレフォニー コンポーネントに関するシステム インストールの概要 (中間市場ビジネス)

コンポーネント/アプリケーション/機能	目的
通信インフラストラクチャおよび無線コンポーネント	
スイッチおよびルータ	シスコ スwitch およびルータは、スイッチング サービスとインテリジェント ルーティング サービスにより、音声、ビデオ、データ、インターネット アクセス、無線、およびその他のアプリケーションを配信します。また、ユーザ、アプリケーション、および通信システム間的高速接続を実現します。
ゲートウェイおよびゲートキーパー	シスコのゲートウェイおよびゲートキーパーは、データ、無線、および IP 通信用に最適化されています。また、既存の電話装置を使用して、独立した VoIP ネットワークとアナログ電話ゲートウェイを IP 接続することをサポートします。
ファイアウォール	Firewall Services Module (FSM) は、デバイス上のポートがファイアウォール ポートとして動作することを可能にし、ネットワーク インフラストラクチャ内のファイアウォール セキュリティを統合します。
システム ネットワーク管理アプリケーション	このアプリケーションでは、シスコユニファイド コミュニケーション システムの監視、管理、およびトラブルシューティングを行うことができます。たとえば、Cisco netManager Unified Communications は、中間市場のビジネス導入に適した使いやすい監視および診断機能を提供します。
Cisco Unified Communications Manager Business Edition および呼処理デバイス	
Cisco Unified Communications Manager, Business Edition	Cisco Unified Communications Manager, Business Edition (Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unity Connection を含む) は、中間市場のビジネスに適した呼処理機能を提供します。呼処理、会議、モビリティ、およびメッセージを単一プラットフォームに統合するので、複数のサーバで各アプリケーションを実行する必要がなくなります。
Cisco Unified IP Phone (SCCP および SIP)	自動登録や Bulk Administration Tool (BAT) などの手法を使用して、Unified IP Phone をインストールおよび設定し、Unified Communications Manager データベースに追加します。
会議アプリケーション	Cisco Unified MeetingPlace Express では、直観的に理解できるインターフェイスを使用して、会議のセットアップ、参加、および管理を行うことができます。大規模な音声機能、Cisco Unified Videoconferencing を使用したビデオ機能、および Web 会議機能により、高度なコラボレーション会議、トレーニング セッション、およびプレゼンテーションなど、さまざまな会議アプリケーションが使用可能になります。
Cisco Unity Connection	これらのアプリケーションは、ボイス メッセージ、統合メッセージ、音声認識機能、およびコール ルーティング ルールを統合します。Cisco Unified Communications Manager Business Edition には Cisco Unity Connection が組み込まれています。
Cisco Unified Business Attendant Console	Cisco Unified Business Attendant Console では、強力なキューイング エンジンを使用してコールをオペレータに振り分け、着呼の効率的処理に有効なさまざまなモニタリング機能をオペレータに提供します。

中小企業向け Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) IP テレフォニーおよびコンタクトセンター コンポーネントのインストールについては、次の資料を参照してください。

- System Installation and Upgrade for IP Telephony for Small and Medium Business
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/UC7.0.1/ipt_smb_system_inst_upg/suimt_smb.pdf

- System Installation and Upgrade for Contact Center
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/UC7.0.1/cc_system_inst_upg/siumc_701.pdf

システム インストールの方法

この項では、IP テレフォニー導入に使用可能なインストール方法について説明します。詳細な説明が必要な場合を除き、個別コンポーネントのインストールに関する詳細は記載していません。

シスコ ユニファイド コミュニケーションの IP テレフォニー環境に (新しいハードウェアを使用して) 新しいネットワークをインストールするには、*flash-cut* または *shrink-and-grow* 方式を使用する必要があります。

新しいハードウェアを使用した単一ステージ インストール (グリーンフィールド導入の場合)

現在のシスコ ユニファイド コミュニケーション システムのリリース セットに含まれているコンポーネントおよびソフトウェア バージョンを使用して、完全に新しいネットワークが構築されます。新しいシステムは、必要なソフトウェアのインストールと初期設定の完了後に起動すると、稼働状態になります。

新しいハードウェアを使用した単一ステージ インストール (レガシー導入の場合)

現在のシスコ ユニファイド コミュニケーション システムのリリース セットに含まれているコンポーネントおよびソフトウェア バージョンを使用した新しいネットワークが、レガシー ネットワークに沿って構築されます。新しいネットワークは、実稼働環境をサポートするようにステージングおよび設定されます。

flash-cut インストール プロセスを使用して、単一のインストール期間に、すべてのユーザを既存のレガシー ネットワークから新しいネットワークに移行する必要があります。レガシー システムとの相互運用性は必要ないため、レガシー システムのコンポーネントをアップグレードする必要はありません。新しくインストールしたシステムにすべてのユーザが移行されると、レガシー システムは稼働中止になります。

新しいハードウェアを使用したマルチステージ インストール (レガシー導入の場合)

現在のシスコ ユニファイド コミュニケーション システムのリリース セットに含まれているコンポーネントおよびソフトウェア バージョンを使用した新しいネットワークが、レガシー ネットワークに沿って構築されます。新しいネットワークは、実稼働環境をサポートするようにステージングおよび設定されます。

この方法では、*flash-cut* または *shrink-and-grow* インストール プロセスの一方または両方の組み合わせを使用して、次の操作を行います。

- 単一のインストール期間 (*flash-cut*) または複数のインストール期間 (*shrink-and-grow*) に、すべてのアプリケーションを導入する。
- 単一のインストール期間 (*flash-cut*) または複数のインストール期間 (*shrink-and-grow*) に、すべてのユーザを移行する。

新しくインストールしたシステムにすべてのユーザが移行されると、レガシー システムは稼働中止になります。

マルチサイトの段階的インストール

多数のサイトを持つ大企業の場合、サイトを1つずつ、複数のフェーズに分けてインストールできません。各サイトでは、グリーンフィールド導入とレガシー導入のどちらを使用するかに応じて、この項で説明している単一ステージまたはマルチステージインストール方法のどちらかを使用できます。

相互運用性と互換性に関するポータル

レガシー製品およびサードパーティ製品と Cisco IP テレフォニー製品との相互運用性のサポートについては、次の URL の Cisco Interoperability Portal を参照してください。

<http://www.cisco.com/go/interoperability>

Unified Communications Manager および Cisco Unified Contact Center Express との互換性の詳細については、次のサイトを参照してください。

- Cisco Unified Communications Compatibility Tool
<http://tools.cisco.com/ITDIT/vtgsca>
- Cisco Unified Communications Manager Compatibility Information
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_device_support_tables_list.html
- [¶] *Cisco Unified Contact Center Express Software and Hardware Compatibility Guide* _¶
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cust_contact/contact_center/crs/express_compatibility/matrix/crscomtx.pdf
- Cisco Unified Communications Manager Express and Cisco IOS Software Version Compatibility Matrix
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm
- Cisco Computer Telephony Integration Option : CTI Compatibility Matrix
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/custcosw/ps14/prod_technical_reference_list.html
- Cisco 7800 Series Media Convergence Servers
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/voiceapp/ps378/prod_brochure_list.html
- Cisco Unified Communications System Release Summary Matrix for IPT
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/unified/communications/system/versions/IPTMtrix.html
- IP Communications System Test Release
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/GB_resources/ipcmatrix.htm



システム インストールの準備

この章では、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムをインストールする前に確認する必要がある情報を示します。また、インストール前の作業と初回のインストール シーケンスについて説明します。さらに、リリース セット内のコンポーネントを示し、各種コンポーネントの導入について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- [始める前に](#)
- [システム インストールのアプローチ](#)
- [リリース セット バージョン](#)
- [システム インストールの依存関係](#)



(注)

IP テレフォニー コンポーネントの名前の多くは、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムのリリースの一部として変更されています。このマニュアルでは、以前のリリースの製品を指す場合でも、最新の製品名を使用しています。

始める前に

シスコユニファイドコミュニケーションシステムをインストールする前に、次のアクティビティを実行したことを確認します。これらのアクティビティは、シスコシステムズの製品導入とライフサイクルモデルに基づいています。



- (注) システムレベルの導入とライフサイクルモデルの詳細については、次の URL の Cisco Unified Communications System Technical Information Site を参照してください。
<http://www.cisco.com/go/unified-techinfo>

準備および計画フェーズ

- 次の URL から「Steps to Success」にアクセスし、インストール前の計画に関する注意事項を確認する。
<http://www.cisco.com/web/partners/tools/steps-to-success/index.html>
- コールフロー、キャパシティと重要機能、および業務上の依存関係など、業務や技術に関する要件を判断する。
- レガシー製品およびサードパーティ製品の統合に関する問題を検討する(第1章「システムインストールの計画」の「システムインストールの概要」の項を参照)。
- 保守、トレーニングのサポート方法、およびライフサイクルサポートについて評価する。
- システムパスワードの要件を評価し、パスワードの同期およびメンテナンス方法を作成する。

設計フェーズ

- ニーズに適した製品およびコンポーネントの選択など、高レベルおよび低レベルの設計を行う。
- 次の URL の Cisco Solution Reference Network Design (SRND) マニュアルに記載されている推奨事項を使用する。
<http://www.cisco.com/go/srnd>
- 次の URL にアクセスして、システムアーキテクチャおよびテスト情報を確認する。
<http://www.cisco.com/iam/unified/ipt701/ENT/index.htm>



- (注) 準備、計画、および設計フェーズの作業を実行すると、業務上の要件に適用されるシスコユニファイドコミュニケーションシステムのコンポーネントが示されるため、これらの作業を導入に含める必要があります。

導入フェーズ

- 設計フェーズで作成した、設計および特殊な機能に関する考慮事項を確認する。
- 導入計画と、移行または統合方法を作成する。



- (注) 導入フェーズで作成する導入計画では、システムインストールのステージング、フェーズ、および期限を設定する必要があります。

- インストール前および計画に関する資料(サイトの調査書、装置リスト、および製品固有のマニュアルなど)を確認する。

- ハードウェアの設置および確認作業を実行する。作業の一部を次に示します。
 - カタログおよびインベントリ装置
 - ラックマウント装置
 - ケーブル接続などの物理的な接続を実行する。
 - すべてのユニットが正常に起動することを確認する。
 - ラック レイアウト、ケーブル接続、ポート固有の詳細、および関連情報を記録する。
- ソフトウェアのインストールおよび確認作業を実行する。作業の一部を次に示します。
 - インストールするシステム コンポーネントごとに、必要なインストール ディスクがすべてそろっていることを確認する。
 - 必要なソフトウェア アプリケーション(サードパーティ アプリケーションを含む)のインストール ディスクがすべてそろっていることを確認する。
 - 次の URL から、適切なソフトウェアのインストールおよび運用に必要なライセンス ファイルにアクセスし、ダウンロードする。
<http://www.cisco.com/go/license>

システム インストールのアプローチ

インストール前の作業を行ったあとで、各 Cisco Unified Communications Manager クラスタおよび関連する IP テレフォニー コンポーネントをインストールします。表 2-1 に記載されている一般的なシーケンスに従って、各クラスタを1つずつインストールします。

IP テレフォニー コンポーネントのインストール シーケンスには、次の考慮事項を反映させる必要があります。

- このコンポーネントが提供するサービスの相対的な重要性。たとえば、基本的な電話サービスは、補足サービスやボイス メッセージ サービスよりも重要であるとみなされます。
- 相互運用性が保証されるようにシステム コンポーネントを統合および設定する。

表 2-1 システム インストールの一般的なシーケンス

	手順	備考
ステップ 1	ネットワーク インフラストラクチャ、無線、およびセキュリティ コンポーネントをインストールおよび設定します。	これらのコンポーネントを最初にインストールすることにより、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムのコンポーネントに必要なサービスをインフラストラクチャがサポートできるようにする必要があります。
ステップ 2	システム サーバにオペレーティング システムをインストールし、ディレクトリおよびネットワーク サービスをインストールおよび設定します。	ネットワーク サービスには、LDAP、DNS、NTP、および DHCP サーバが含まれます。
ステップ 3	Unified Communications Manager クラスタなどの呼処理コンポーネントをインストールします。	必要な初期セットアップおよび設定手順をすべて完了したことを確認します。
ステップ 4	要件やコンポーネントの相互依存性に基づいて、IPT コンポーネントをインストールおよび設定します。	詳細については、「 システム インストールの依存関係 」の項を参照してください。
ステップ 5	ネットワーク管理ツールと他のサードパーティ サービスおよびアプリケーションをインストールおよび設定します。	—
ステップ 6	インストール後の作業を実行します。	この作業には、システムの確認および検証が含まれます。

リリース セット バージョン

この項では、シスコユニファイド コミュニケーション システム Release 7.0(1) 製品ファミリに含まれるアプリケーションおよびコンポーネントを示します。これらの製品は、相互運用性と互換性についてテストおよび検証されており、IP テレフォニー システムのグリーンフィールド導入で使用されます。ネットワーク設計に基づいて、これらのアプリケーションおよびコンポーネントのすべてまたは一部をインストールします。

ここで取り上げるリリース セット バージョンは、次のとおりです。

- [エンタープライズ向け IP テレフォニー用の Cisco Unified Communications Release 7.0\(1\) のソフトウェア リリース バージョン](#)
- [中間市場向け IP テレフォニー用の Cisco Unified Communications Release 7.0\(1\) のソフトウェア リリース バージョン](#)

表 2-2 に、IP テレフォニー テスト環境で使用されたエンタープライズ ビジネス モデル対応 シスコユニファイド コミュニケーション システム Release 7.0(1) コンポーネントのリリース バージョンを示します。

表 2-2 エンタープライズ向け IP テレフォニー用の Cisco Unified Communications Release 7.0(1) のソフトウェア リリース バージョン

カテゴリ	コンポーネント	リリース バージョン
呼制御	Cisco Unified Communications Manager	7.0(1)
	Cisco Unified Communications Manager Business Edition	7.0(1)
	Cisco Unified Communications Manager Express	7.0/IOS 12.4(20)T ¹
	Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST)	7.0/IOS 12.4(20)T ¹
	Cisco Unified Presence	7.0(1)
	Cisco Unified Business Attendant Console および Unified Department Attendant Console	7.0(1)
コンタクト センター	Cisco Unified Contact Center Express	7.0(1) SR1
	Cisco Unified Contact Center Express Operating System	Windows 2003 のバージョン 2003.1.2a SR9
アプリケーション	Cisco Emergency Responder	7.0(1)
	Cisco Unified Application Environment	2.5(1)
	Cisco Unified PhoneProxy	8.0.4

■ リリースセットバージョン

表 2-2 エンタープライズ向け IP テレフォニー用の Cisco Unified Communications Release 7.0(1) のソフトウェア リリースバージョン (続き)

カテゴリ	コンポーネント	リリースバージョン
会議	Cisco Unified MeetingPlace Operating System	Windows 2003 バージョン 3003.1.2.a SR2
	Cisco Unified MeetingPlace IP Gateway	5.3.1.8
	Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing	7.0(x)
	Cisco Unified MeetingPlace Video Integration	7.0(x)
	Cisco Unified MeetingPlace Video Administration Server	7.0(x)
	Cisco Unified MeetingPlace for Outlook	7.0(x)
	Cisco Unified MeetingPlace Conference Manager	7.0(x)
	Cisco Unified MeetingPlace Jabber Integration	7.0(x)
	Cisco Unified MeetingPlace Directory Services	5.4.104
	Cisco Unified MeetingPlace Express	2.0(3)
	Cisco Unified Videoconferencing 3515 MCU	6.0(x)
	Cisco Unified Videoconferencing 3545 MCU	6.0(x)
	Cisco Unified Videoconferencing Enhanced Media Processor (EMP) Module for 3545 MCU	5.3(x)
	Cisco Unified Videoconferencing 3521 および 3522 BRI Gateway	5.0(x)
	Cisco Unified Videoconferencing 3526、3527、3540、および 3545 PRI Gateway	5.0(x)
ボイスメールおよびユニファイドメッセージング	Cisco Unity、Unity-CM TSP	7.0(2)、8.3(1)
	Cisco Unity Microsoft Exchange	Microsoft Exchange 2003 SP2 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上) および Microsoft Exchange 2000SP3 または Exchange 2003SP2 (他のメッセージストア サーバ上)
	Cisco Unity IBM Lotus Domino	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)
	Cisco Unity Connection	7.0 ²
	Cisco Unity Express	3.2
	Cisco Unified Messaging Gateway	1.0.2
エンドポイントおよびクライアント	Cisco Unified IP Phones モデル 3911、7902G、7905G、7906G、7911G、7912G、7920、7921G、7931G、7935、7936、7937G、7940G、7941G、7942G、7945G、7960G、7961G、7962G、7965G、7970G、7971G、7975G、7985G	Firmware 8.4.1 Unified Communications Manager にバンドル
	Cisco IP Communicator	2.1(3)
	Cisco Unified Personal Communicator	7.0
	Cisco Unified Video Advantage	2.1(1)
	無線	Cisco Aironet 1200G アクセス ポイント (AP)
Cisco Unified Mobility Advantage		7.0
Cisco Unified Mobile Communicator		7.0

表 2-2 エンタープライズ向け IP テレフォニー用の Cisco Unified Communications Release 7.0(1) のソフトウェア リリースバージョン (続き)

カテゴリ	コンポーネント	リリースバージョン
セキュリティ	Cisco Advance Security Appliance ASA 5500 シリーズ	8.0(4)
	Cisco Catalyst 6500 シリーズ Firewall Services Module (FWSM)	4.0(3) ³
	Cisco Catalyst 6500 シリーズ Intrusion Detection System (IDSM-2) モジュール	6.0(2)
	Cisco IOS Firewall	12.4(20)T1
	Cisco Intrusion Prevention System Appliance IPS-4200	6.0(2)
	Cisco NAC アプライアンス (Clean Access)	4.1.2
	Management Center for Cisco Security Agents	5.0.0.216
	Cisco Security Agent for Cisco Unified Contact Center Express	5.0.0.216-3.0.4
	Cisco Security Agent for Cisco Unity	4.5.1.639-2.0.3
	Cisco Security Agent for Unified MeetingPlace	5.0.0.205-6.0.7
	Cisco Security Agent for Unified Communications Manager	Unified Communications Manager にバンドル
	Cisco Security Agent for Cisco Emergency Responder	Cisco Emergency Responder にバンドル
ネットワーク管理	Cisco Unified Operations Manager	2.1 ⁴
	Cisco Unified Service Monitor	2.1
	Cisco netManager Unified Communications	1.1
	Cisco Unified Service Statistics Manager	1.1
	Cisco Unified Provisioning Manager	1.3
	Cisco Monitor Manager	1.1.2
	Cisco Monitor Director	1.1.2
	Cisco Resource Management Essentials (RME)	4.0.5

■ リリースセットバージョン

表 2-2 エンタープライズ向け IP テレフォニー用の Cisco Unified Communications Release 7.0(1) のソフトウェア リリースバージョン (続き)

カテゴリ	コンポーネント	リリースバージョン
通信インフラストラクチャ	Cisco IOS Mainline Release	12.4(18c) ⁵
	Cisco 2801、2821、2851、3825、3845 (ルータ、音声 / データ ゲートウェイ) ¹	12.4(20)T
	Cisco 3745 (ゲートキーパー) ²	12.4(15)T7
	Cisco 3745 (IP-to-IP ゲートウェイ) ⁶	12.4(15)T7
	Cisco 3845 (IP-to-IP ゲートウェイ)	12.4(20)T
	Cisco 3725、3745 (音声 / データ ゲートウェイ) ⁶	12.4(15)T7
	Cisco 3725、3745 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ) ⁶	12.4(15)T7
	Cisco 3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(20)T
	Cisco 7206 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(20)T
	Cisco Catalyst 3500 XL シリーズ (アクセス スイッチ)	12.0(5)WC17
	Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.2(25)SEE4
	Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	12.2(25)SEE4
	Cisco Catalyst 3560-E シリーズ (アクセス スイッチ)	12.2(44)SE2
	Cisco Catalyst 3750 (データセンター スイッチ)	12.2(25)SEE4
	Cisco Catalyst 4503 (アクセス スイッチ)	12.2(25)EWA8
	Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(25)EWA8
	Cisco Catalyst 4507R Supervisor Engine V (データセンター スイッチ)	12.2(25)EWA10
	Cisco Catalyst 6506、6509 (音声アクセス スイッチ、Supervisor Engine 2/MSFC2)	Cat OS 8.6.3 /12.2.(18)SXF9
	Cisco Catalyst 6506、6509 (コア スイッチ、Supervisor Engine 720)	12.2(18)SXF9 (ネイティブモード)
	Cisco Catalyst Communications Media Module (CMM) ⁶	12.4(15)T7
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	Unified Communications Manager にバンドル	
Cisco Integrated Services Router (ISR) 1861	12.4(20)T	
Cisco VG248 アナログ電話ゲートウェイ	1.3(2)	
Cisco VG224 アナログ電話ゲートウェイ	12.4(20)T	
サードパーティ	McAfee Antivirus ^{7 8}	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン: 11

- Cisco IOS Firewall のバージョンは 12.4(20)T1 です。
- 2008 年第 4 四半期に利用可能になる Engineering Special または Service Release で、[CSCsr83757](#) の障害に対処できます。
- 2008 年第 4 四半期に利用可能になる予定です。
- [CSCsh72308](#) の障害を修正するパッチが使用可能です。パッチの入手方法については、この障害の回避策を参照してください。
- IOS Mainline Release 12.4(18b) は、IP テレフォニー環境で実行するロールバックテストに含まれる、追加の基本 PSTN 機能および負荷テストに使用されていました。
- Cisco IOS Release 12.4(15)Tx は、Cisco 37xx シリーズおよび Communications Media Module プラットフォームでサポートされる最終リリースです。これらのコンポーネントは Release 12.4(20)T ではサポートされません。
- サードパーティのアンチウイルス エージェントは、Windows ベースのサーバ (Unified Contact Center Express、Unified Operations Manager、Unified netManager - Unified Communications、Cisco Monitor Manager、Cisco Monitor Director、Unified Provisioning Manager など) にインストールできますが、Windows 以外のアプライアンス (Unified Communications Manager、Unified Communications Manager Business Edition など) にはインストールできません。
- Cisco netManager Unified Communications は McAfee Antivirus をサポートしませんが、サーバ上に他のサードパーティのアンチウイルス エージェントをインストールすることは可能です。

表 2-3 に、IP テレフォニー テスト環境で使用された中間市場ビジネス モデル対応 シスコ ユニファイド コミュニケーション システム Release 7.0(1) コンポーネントのリリース バージョンを示します。

表 2-3 中間市場向け IP テレフォニー用の Cisco Unified Communications Release 7.0(1) のソフトウェア リリース バージョン

カテゴリ	コンポーネント	リリース バージョン
呼制御	Cisco Unified Communications Manager Business Edition	7.0(1)
	Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (Unified SRST)	7.0/IOS 12.4(20)T ¹
	Cisco Unified Business Attendant Console および Unified Department Attendant Console	7.0(1)
コンタクト センター	Cisco Unified Contact Center Express	7.0(1) SR1
	Cisco Unified Contact Center Express Operating System	Windows 2003 のバージョン 2003.1.2a SR9
アプリケーション	Cisco Emergency Responder	7.0(1)
	Cisco Unified Application Environment	2.5(1)
	Cisco Unified PhoneProxy	8.0.4
会議	Cisco Unified MeetingPlace Express	2.0(3)
	Cisco Unified MeetingPlace Operating System	Windows 2003 バージョン 3003.1.2.a SR2
	Cisco Unified Videoconferencing 3515 MCU	6.0(x)
ボイスメールおよびユニファイドメッセージング	Cisco Unity Connection	7.0 ²
エンドポイントおよびクライアント	Cisco Unified IP Phones モデル 3911、7902G、7905G、7906G、7911G、7912G、7920、7921G、7931G、7935、7936、7937G、7940G、7941G、7942G、7945G、7960G、7961G、7962G、7965G、7970G、7971G、7975G、7985G	Firmware 8.4.1 Unified Communications Manager Business Edition にバンドル
	Cisco IP Communicator	2.1(3)
	Cisco Unified Video Advantage	2.1(1)
無線	Cisco Aironet 1100 アクセス ポイント (AP)	12.3(8)JA
	Cisco Unified Mobility Advantage	7.0
	Cisco Unified Mobile Communicator	7.0
ネットワーク管理	Cisco netManager Unified Communications	1.1

■ システムインストールの依存関係

表 2-3 中間市場向け IP テレフォニー用の Cisco Unified Communications Release 7.0(1) のソフトウェア リリース バージョン (続き)

カテゴリ	コンポーネント	リリース バージョン
通信インフラストラクチャ	Cisco IOS Mainline Release	12.4(18c) ³
	Cisco 2801、2811、2821、2851、3825、3845 (ルータ、音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(20)T
	Cisco IOS Firewall	12.4(20)T1
	Cisco 3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(20)T
	Cisco 7206 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(20)T
	Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.2(25)SEE4
	Cisco Catalyst 3750 (データセンター スイッチ)	12.2(25)SEE4
	Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(25)EWA8
	Cisco VG224 アナログ電話ゲートウェイ	12.4(20)T
	Cisco VG248 アナログ電話ゲートウェイ	1.3(2)
サードパーティ	McAfee Antivirus ^{4 5}	Enterprise 8.0.0 パッチ バージョン : 11

1. Cisco IOS Firewall のバージョンは 12.4(20)T1 です。
2. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる Engineering Special または Service Release で、[CSCsr83757](#) の障害に対処できます。
3. IOS Mainline Release 12.4(18b) は、IP テレフォニー環境で実行するロールバック テストに含まれる、追加の基本 PSTN 機能および負荷テストに使用されていました。
4. サードパーティのアンチウイルス エージェントは、Windows ベースのサーバ (Unified Contact Center Express、Unified Operations Manager、Unified netManager - Unified Communications、Cisco Monitor Manager、Cisco Monitor Director、Unified Provisioning Manager など) にインストールできますが、Windows 以外のオペレーティング システム (Unified Communications Manager、Unified Communications Manager Business Edition など) にはインストールできません。
5. Cisco netManager Unified Communications は McAfee Antivirus をサポートしませんが、サーバ上に他のサードパーティのアンチウイルス エージェントをインストールすることは可能です。

システムインストールの依存関係

各リリース セット内のコンポーネントは、互いに互換性があり、正常に相互運用できます。個別コンポーネントをインストールした場合、すべてのコンポーネントがインストールされるか、初期設定またはセットアップが完了するまでは、システムの一部が稼働しないことがあります。ここでは、シスコ ユニファイド コミュニケーション システム Release 7.0(1) に必要な Engineer Special およびパッチ ファイル情報を示します。



システム インストールの実行

この章では、シスコ ユニファイド コミュニケーションの IP テレフォニー導入におけるコンポーネントのインストール順序について説明します。この情報は、計画および設計フェーズの情報と一緒に使用して、導入計画に盛り込んでください。導入計画では、システム インストールのステージング、フェーズ、および期限を設定します。

このマニュアルでは、個別コンポーネントのインストール手順については説明していません。この情報は、コンポーネントのインストール マニュアルに記載されています。インストール マニュアルへの参照については、「[関連資料](#)」の項を参照してください。

この章の内容は、次のとおりです。

- [導入モデル](#)
- [コンポーネントのインストール](#)
- [インストール後の作業](#)
- [関連資料](#)



(注)

IP テレフォニー コンポーネントの名前の多くは、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムのリリースの一部として変更されています。このマニュアルでは、以前のリリースの製品を指す場合でも、最新の製品名を使用しています。

導入モデル

この項では、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムの各導入モデルの一般的なインストール順序について説明します。各モデルには異なるコンポーネントが含まれることがあるため、これらの導入を該当の導入と比較して、環境に適したインストール プロセスを判断します。

次の各項では、各種導入モデルにおけるさまざまな IP テレフォニー コンポーネントの一般的なインストール シーケンスについて説明します。

- [IP テレフォニー エンタープライズ向けモデル](#)
- [IP テレフォニー 中間市場モデル](#)

IP テレフォニー エンタープライズ向けモデル

ここでは、エンタープライズ導入モデルにおける各種 IP テレフォニー コンポーネントの一般的なインストール シーケンスについて説明します。

- [単一サイト モデル](#)
- [SRST を使用した集中型マルチサイト モデル](#)
- [分散型マルチサイト WAN モデル](#)
- [WAN を介したクラスタ化モデル](#)

各 IP テレフォニー 導入モデルの詳細については、次の資料を参照してください。

http://www.cisco.com/iam/unified/ipt701/ENT/Review_Testing_Site_Models.htm

また、次のマニュアルも参照してください。

- 『[System Description: Cisco Unified Communications System Release 7.0\(1\)](#)』
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/UC7.0.1/system_description/SD.pdf
- 各種の IP テレフォニー コンポーネントに対応する Solution Reference Network Design (SRND) のマニュアル
http://www.cisco.com/en/US/netsol/ns656/networking_solutions_program_home.html

一般的なインストール シーケンスを確認したら、「[コンポーネントのインストール](#)」に記載されているインストール方法のいずれかを使用して、コンポーネントをインストールします。

単一サイト モデル

単一サイト導入とは、音声ゲートウェイ、電話機、および呼処理サーバ (Cisco Unified Communications Manager) が同じサイトに配置され、それらがソフトウェア モジュール間で WAN 接続されないシナリオを指します。

単一サイト導入では、次の順序でコンポーネントをインストールします。

1. コア スイッチ
2. アクセス スイッチ
3. ファイアウォール
4. Cisco Wireless LAN Controller およびアクセス ポイント
5. NTP サーバ、DHCP サーバ、DNS サーバ、LDAP サーバ
6. Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified IP Phone、Cisco IP Communicator
7. メディア リソース (保留音と会議ブリッジを含む)
8. Cisco IOS ゲートキーバ
9. 音声およびデータ ゲートウェイ

10. Cisco Unity Connection およびオプションの音声認識サーバ
11. 次の Cisco Unity コンポーネント
 - Windows Exchange 2000 または IBM Lotus Domino
 - Cisco Unity Bridge 用の Cisco Catalyst 6000 ゲートウェイ
 - Cisco Unity
12. Cisco Unity Express
13. Cisco Unified Messaging Gateway
14. ネットワーク管理アプリケーション(Cisco Unified Provisioning Manager, Cisco Unified Operations Manager、Cisco Unified Service Monitor、および Cisco Unified Service Statistics Manager)
15. Cisco Unified MeetingPlace/Cisco Unified MeetingPlace Express コンポーネント
16. Cisco Unified Contact Center Express、Cisco Unified IP Phone エージェント
17. Cisco Unified Presence
18. Cisco Unified Personal Communicator
19. Cisco Unified Application Environment
20. Cisco Unified Mobility Advantage
21. Cisco Unified Mobile Communicator
22. Cisco Unified Videoconferencing ゲートウェイおよびマルチポイント コントロール ユニット (MCU)
23. CCP/H.323/H.320 ビデオ エンドポイント
24. MCS サーバ上で共存するシスコ アプリケーション
25. MCS サーバ上で共存するサードパーティ アプリケーション
26. 他のサーバ上で運用するシスコおよびサードパーティ アプリケーション

SRST を使用した集中型マルチサイト モデル

Unified SRST を使用した集中型マルチサイト導入とは、呼処理サーバ (Unified Communications Manager など) が同じサイトに配置され、音声ゲートウェイの任意の組み合わせと電話機が WAN リンク経由でリモートに、または中央に配置されるシナリオを指します。

Unified SRST を使用した集中型マルチサイト導入の場合は、中央サイトを最初にインストールする必要があります。中央サイトをインストールするには、「[単一サイト モデル](#)」の項のガイドラインに従います。

リモートサイトごとに、次の順序でコンポーネントをインストールします。

1. アクセス スイッチ
2. ファイアウォール
3. Cisco Wireless LAN Controller およびアクセス ポイント
4. Cisco Unified Communications Manager Express または Unified SRST ルータ、Cisco Unified IP Phone、Cisco IP Communicator
5. Cisco Unified Videoconferencing ゲートウェイおよびマルチポイント コントロール ユニット (MCU)
6. SCCP/H.323/H.320 ビデオ エンドポイント
7. Cisco Computer Telephony Interface (CTI) OS Agent および Supervisor Desktop
8. Cisco Agent Desktop (CAD) および Cisco Supervisor Desktop (CSD)



(注) Cisco Agent Desktop (CAD) は Windows 2000 オペレーティング システムをサポートしません。CAD は、Windows XP または Windows Vista へのインストールを推奨します。

分散型マルチサイト WAN モデル

分散型マルチサイト WAN 導入モデルでは、各サイトが独自の Unified Communications Manager クラスタを持ちます。ただし、集中型呼処理モデルと同様に、ローカル音声ゲートウェイの使用に関係なくサイトを導入することができます。導入によっては、分散型音声ゲートウェイ（ローカルでダイヤルされる呼用など）と集中型音声ゲートウェイ（フリーダイヤル通話用など）の組み合わせが含まれることがあります。分散型マルチサイト モデルには、ICT または H.323 トランクによって相互接続された複数の Unified Communications Manager クラスタ サイトが含まれます。

各サイトのインストールは、システム全体のインストールにおける独立したステージとして取り扱う必要があります。

各 Unified Communications Manager サイトをインストールするには、「[単一サイト モデル](#)」の項のガイドラインに従います。

リモート サイトごとに、次の順序でコンポーネントをインストールします。

1. アクセス スイッチ
2. Cisco Adaptive Security Appliance および Cisco Catalyst Firewall Services Module (FWSM)
3. Cisco Aironet 1200 アクセス ポイント
4. Cisco Unified Communications Manager Express または Unified SRST ルータ、Cisco Unified IP Phone、CiscoIP Communicator
5. Cisco Unity Express
6. Cisco Unified Videoconferencing ゲートウェイおよびマルチポイント コントロール ユニット (MCU)
7. CCP/H.323/H.320 ビデオ エンドポイント

WAN を介したクラスタ化モデル

WAN を介したクラスタ化モデルでは、Unified Communications Manager クラスタは、QoS 対応 WAN によって接続された複数のサイトに分散されます。このモデルは、分散型モデルの冗長性を実現しつつ、単一の Unified Communications Manager クラスタの管理による利便性を提供します。

このモデルをインストールするには、最初に中央サイトをインストールします。その際は、「[単一サイト モデル](#)」の項にある中央サイトのガイドラインに従います。



(注) クラスタ化コンポーネントは、同じインストール期間およびステージで、中央サイトごとにインストールしてください。

次に、リモート サイトをインストールします。リモート サイトごとに、次の順序でコンポーネントをインストールします。

1. アクセス スイッチ
2. Cisco Adaptive Security Appliance および Cisco Catalyst Firewall Services Module (FWSM)
3. Cisco Aironet 1200 アクセス ポイント

4. Cisco Unified Communications Manager Express または Unified SRST ルータ、Cisco Unified IP Phone、Cisco IP Communicator
5. Cisco Unified Videoconferencing ゲートウェイおよびマルチポイント コントロール ユニット (MCU)
6. CCP/H.323/H.320 ビデオ エンドポイント

IP テレフォニー中間市場モデル

ここでは、中規模企業向け導入モデルにおける各種 IP テレフォニー コンポーネントの一般的なインストール シーケンスについて説明します。

- [単一サイト モデル](#)
- [SRST を使用した集中型マルチサイト モデル](#)
- [分散型マルチサイト WAN モデル](#)

各 IP テレフォニー導入モデルの詳細については、次の資料を参照してください。

http://www.cisco.com/iam/unified/ipt701/ENT/Review_Testing_Site_Models.htm

単一サイト モデル

単一サイト導入とは、音声ゲートウェイ、電話機、および呼処理サーバ (Cisco Unified Communications Manager) が同じサイトに配置され、それらがソフトウェア モジュール間で WAN 接続されないシナリオを指します。

単一サイト導入では、次の順序でコンポーネントをインストールします。

1. コア スイッチ
2. アクセス スイッチ
3. ファイアウォール
4. Cisco Wireless LAN Controller および Aironet Wireless アクセス ポイント
5. Cisco Unified Communications Manager Business Edition、Cisco Unified IP Phone、Cisco IP Communicator
6. メディア リソース (保留音と会議ブリッジを含む)
7. Cisco Unified IP Phone Agent
8. ネットワーク管理アプリケーション (Cisco netManager Unified Communications)
9. Cisco Unified Contact Center Express
10. Cisco Unified MeetingPlace Express
11. Cisco Unified Business Attendant Console

SRST を使用した集中型マルチサイト モデル

SRST を使用した集中型マルチサイト導入とは、呼処理サーバ (Unified Communications Manager Business Edition など) が同じサイトに配置され、音声ゲートウェイの任意の組み合わせと電話機が WAN リンク経由でリモートに、または中央に配置されるシナリオを指します。

SRST を使用した集中型マルチサイト導入の場合は、中央サイトを最初にインストールする必要があります。中央サイトをインストールするには、「[単一サイト モデル](#)」の項のガイドラインに従います。

リモートサイトごとに、次の順序でコンポーネントをインストールします。

1. アクセススイッチ
2. ファイアウォール
3. Cisco Wireless LAN Controller およびアクセス ポイント
4. Cisco Unified Survival Remote Site Telephony ルータ、Cisco Unified IP Phone、Cisco IP Communicator
5. Cisco Unified Videoconferencing ゲートウェイおよびマルチポイント コントロール ユニット (MCU)
6. SCCP/H.323/H.320 ビデオ エンドポイント
7. Cisco Computer Telephony Interface (CTI) OS Agent および Supervisor Desktop
8. Cisco Unified Business Attendant Console および Cisco Unified Department Attendant Console

分散型マルチサイト WAN モデル

分散型マルチサイト WAN 導入モデルでは、サイトごとに専用の Unified Communications Manager Business Edition を使用します。分散型マルチサイト モデルには、ICT トランクによって相互接続された Unified Communications Manager Business Edition サイトが含まれます。各 Unified Communications Manager Business Edition サイトには、SRST 導入におけるリモート サイトを使用する中央サイトを 1 つずつ与えます。

各サイトのインストールは、システム全体のインストールにおける独立したステージとして取り扱う必要があります。

各サイトに中央サイトをインストールするには、「[単一サイト モデル](#)」の項のガイドラインに従います。

リモートサイトごとに、次の順序でコンポーネントをインストールします。

1. アクセススイッチ
2. ファイアウォール
3. Cisco Wireless LAN Controller およびアクセス ポイント
4. Cisco Unified Survival Remote Site Telephony ルータ、Cisco Unified IP Phone、Cisco IP Communicator
5. Cisco Unified Videoconferencing ゲートウェイおよびマルチポイント コントロール ユニット (MCU)
6. SCCP/H.323/H.320 ビデオ エンドポイント
7. Cisco Computer Telephony Interface (CTI) OS Agent および Supervisor Desktop
8. Cisco Unified Business Attendant Console および Cisco Unified Department Attendant Console

コンポーネントのインストール

インストールする導入モデルの一般的なインストール シーケンスを確認したら、次のインストール方法に基づいてコンポーネントをインストールします。

- **単一ステージ インストール(エンタープライズ)** 小規模な単一サイトまたはマルチサイト エンタープライズ インストールに推奨
- **単一ステージ インストール(中間市場)** 小規模な単一サイトまたはマルチサイト 中間市場のインストールに推奨
- **マルチステージ システム インストール** 大規模な単一サイトまたはマルチサイト エンタープライズ インストールに推奨

詳細や、リリース セット内のコンポーネントのソフトウェア リリース バージョンについては、[第1章「システム インストールの計画」](#)を参照してください。



(注)

ソフトウェアおよびアプリケーションをインストールしたあとは、クライアント デスクトップへのクライアント ソフトウェア (Cisco IP Communicator など) のインストールも必要になる場合があります。ことに注意してください。

各コンポーネントをインストールする場合は、製品固有のインストール マニュアルを参照してください。インストール マニュアルのリストについては、「[関連資料](#)」の項を参照してください。

単一ステージ インストール (エンタープライズ)

単一ステージ インストール プロセスは、エンタープライズに対応する小規模の単一サイトおよびマルチサイトのインストールに推奨されるもので、単一のインストール期間に実行できます。

[表 3-1](#) に、コンポーネントをインストールするときの推奨順序を示します。各コンポーネントのソフトウェア リリース バージョンについては、[第1章「システム インストールの計画」](#)を参照してください。

表 3-1 IP テレフォニー コンポーネントの単一ステージ インストールの順序 (エンタープライズの場合)

インストール順序	コンポーネント
1	スイッチおよびルータ
2	セキュリティ コンポーネント
3	無線コンポーネント
4	ディレクトリおよびネットワーク サービス
5	呼処理コンポーネント
7	ゲートキーパーおよび音声 / データ ゲートウェイ
6	メディア リソース
8	キューイングおよびセルフサービス コンポーネント
8	メッセージ コンポーネント
10	Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント
9	ネットワーク管理コンポーネント
10	MCS サーバ上で共存するシスコ アプリケーション
11	MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボード エージェント ¹
12	他のサーバ上で運用するシスコおよびサードパーティ アプリケーション

1. Unified Communications Manager Release 7.0(1) の場合、サードパーティのオンボード エージェントは、別の MCS サーバにインストールする必要があります。

■ コンポーネントのインストール

単一ステージ インストール (中間市場)

単一ステージ インストール プロセスは、中間市場導入に対応する小規模の単一サイトおよびマルチサイトのインストールに推奨されるもので、単一のインストール期間に実行できます。

表 3-2 に、コンポーネントをインストールするときの推奨順序を示します。各コンポーネントのソフトウェア リリース バージョンについては、第 1 章「システム インストールの計画」を参照してください。

表 3-2 IP テレフォニー コンポーネントの単一ステージ インストールの順序 (中間市場の場合)

インストール順序	コンポーネント
1	スイッチおよびルータ
2	セキュリティ コンポーネント
3	無線コンポーネント
4	ネットワーク管理コンポーネント
5	呼処理コンポーネント
6	音声およびデータ ゲートウェイ
7	メディア リソース
8	キューイングおよびセルフサービス コンポーネント
9	メッセージ コンポーネント
10	Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント
11	MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボード エージェント ¹
12	他のサーバ上で運用するシスコおよびサードパーティ アプリケーション

1. Unified Communications Manager Business Edition Release 7.0(1) の場合、サードパーティのオンボード エージェントは、別の MCS サーバにインストールする必要があります。

マルチステージ システム インストール

マルチステージ システム インストールは、中規模および大規模の単一サイトと中規模マルチサイトのインストールに推奨されるアプローチです。このプロセスでは、コンポーネントは、複数のステージまたはインストール期間でのインストール用にグループ化されます。各インストール期間には、各コンポーネントをインストールするときの推奨順序があります。

ステージへのコンポーネントのグループ化は、アップグレードするネットワークの規模によって異なる場合があります。小規模ネットワークの場合は、複数のインストール期間が単一のインストール期間に短縮されることがあります。大規模サイトの場合は、追加のステージが必要になることがあります。

各インストール期間の終了後と、次のインストール ステージを開始する前には、すべての基本的および重要なコール タイプの動作が影響を受けていないかどうかの確認を推奨します。また、インストールしたコンポーネントと、まだインストールしていないコンポーネントのリストを維持することも推奨します。

表 3-3 に、コンポーネントをインストールするときの推奨順序を示します。各コンポーネントのソフトウェア リリース バージョンについては、第 1 章「システム インストールの計画」を参照してください。

表 3-3 IP テレフォニー コンポーネントのマルチステージ システム インストールの順序

ステージ	コンポーネントのグループ	各ステージでのコンポーネントのインストール順序
1	スイッチおよびルータ	<ol style="list-style-type: none"> 1. コア スイッチ 2. アクセス スイッチ
2	セキュリティ コンポーネント	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ Firewall Services Module (FWSM) 2. Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) 5540 サービス
3	無線コンポーネント	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Aironet 1240AG アクセス ポイント
4	ディレクトリおよびネットワーク サービス	<ol style="list-style-type: none"> 1. ドメイン コントローラ (Active Directory を含む) 2. LDAP ディレクトリ 3. NTP サーバ 4. DHCP サーバ 5. DNS サーバ 6. TFTP サーバ
5	呼処理コンポーネント	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Communications Manager (ATA を含む) 2. Cisco Unified IP Phone 3. Cisco IP Communicator 4. Cisco Emergency Responder 5. Cisco Catalyst 6500/6000 ゲートウェイ 6. Cisco Unified Contact Center Express¹
6	ゲートキーパーおよび音声 / データ ゲートウェイ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Communications Manager Express 2. IOS ゲートウェイ (SIP、MGCP、および H.323) 3. Cisco Unified Customer Voice Portal VXML ゲートウェイ 4. IOS ゲートキーパー
7	メディア リソース	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会議ブリッジ 2. トランスコーダ 3. 保留音サーバ 4. メディア ターミネーション ポイント 5. RSVP エージェント
8	Cisco MeetingPlace コンポーネント	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント
9	Cisco Unity コンポーネント	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unity コンポーネント 2. Cisco Unity Express 3. Cisco Unity-IBM/Lotus Domino² 4. Cisco Unity TSP 5. Microsoft Exchange Server 6. ドメイン コントローラ (Active Directory を含む) 7. Cisco Unity Connection 8. Cisco Unified Messaging Gateway
10	メッセージ コンポーネント	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Presence
12	Cisco Unified Application Environment コンポーネント	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Application Environment

■ コンポーネントのインストール

表 3-3 IP テレフォニー コンポーネントのマルチステージ システム インストールの順序 (続き)

ステージ	コンポーネントのグループ	各ステージでのコンポーネントのインストール順序
13	モビリティ コンポーネント	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Mobility Advantage 2. Cisco Unified Mobile Communicator
14	ビデオ コンポーネント	<ol style="list-style-type: none"> 1. SCCP/H.323/H.320³ ビデオ エンドポイント 2. IP/VC ゲートウェイ³ および MCU 3. Cisco VT Advantage (ビデオ PC エンドポイント)
15	ネットワーク管理コンポーネント	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Operations Manager
16	MCS サーバ上で共存するシスコ アプリケーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. アップグレードするアプリケーションによって異なる
17	MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボード エージェント	<ol style="list-style-type: none"> 1. アップグレードするアプリケーションによって異なる
18	他のサーバ上で運用するシスコおよびサードパーティ アプリケーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. アップグレードするアプリケーションによって異なる

1. Cisco Unified Contact Center Express システムはアップグレードできません。このシステムは、Cisco Unified Communications Manager のアップグレードと同じメンテナンス期間に改めてインストールする必要があります。
2. シスコユニファイド コミュニケーション システムのテストでは、EUEM (European & Emerging Markets) サイト モデルだけでテストされています。

インストール後の作業

導入フェーズの作業が完了し、シスコユニファイド コミュニケーション システムのリリース セット内の IP テレフォニー コンポーネントをインストールしたら、次に示すインストール後のフェーズおよび関連作業に注意してください。



(注) システムレベルの導入とライフサイクル モデルの詳細については、次の URL の Cisco Unified Communications System Technical Information Site を参照してください。
<http://www.cisco.com/go/unified-techinfo>

運用フェーズ

次の作業を実行して、新しくインストールした IP テレフォニー システムが完全に稼働することを確認します。

- 新しくインストールしたネットワークの管理作業を次に示します。
 - プラットフォーム レベルでの障害およびパフォーマンスの管理 クライアント アプリケーションの Real-Time Monitoring Tool (RTMT) を使用して、CPU、メモリ、ディスク スペース、プロセッサ、および重要なサービスを監視します。
 - システム レベルでのネットワーク管理 Unified Operations Manager を使用して SNMP/HTTP ポーリングを実行し、デバイスとインベントリのステータスを追跡し、ネットワーク内の論理関係と物理接続を監視します。
- 初日の運用 (お客様へのカットオーバー) 作業の一部を次に示します。
 - 管理者に対して、新しくインストールした IP テレフォニー システムを使用するエンドユーザをサポートするためのトレーニングを実施する。
 - 施工図、装置のインベントリ リスト、トポロジ ダイアグラム、および独自の設計または機能に関する注意事項などを含む資料を提供する。
 - Technical Assistance Center (TAC) のサポートを利用するためのプロセスと、TAC に連絡する前に実行すべき作業について説明する。
- 2日目の運用 (カットオーバー後) 作業の一部を次に示します。
 - 必要に応じて、適切なアンチウイルス セキュリティ ソフトウェアを使用してセキュリティを強化する。
 - システム パスワードの同期とメンテナンスについてプロビジョニングする。
 - データのバックアップと復元を実装する。詳細については、次の URL から「Backing up and Restoring Components」を参照してください。
http://www.cisco.com/iam/unified/ipt701/ENT/Backing_Up_and_Restoring_Components.htm
 - リリース セットの管理と、システムおよびセキュリティ パッチのアップデートについて計画する。

最適化フェーズ

このフェーズでは、システムの最適化作業を実行します。作業の一部を次に示します。

- ネットワークを調整およびサイズ変更して、パフォーマンスを向上させる。
- 使用されなくなったユーザ ID の削除など、設定のクリーンアップ手順を実行する。
- 最適なパフォーマンスが保証されるようにトレース ログと報告レベルを設定する。

関連資料

次の各項では、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムのコンポーネントに関する互換性ガイドとインストール マニュアルを示します。

- [互換性ガイド](#)
- [コンポーネントのリリース ノート、インストレーションおよびアップグレード マニュアル](#)

互換性ガイド

次の資料には、コンポーネントの互換性に関する情報が記載されています。

- Cisco Unified Communications Compatibility Tool
<http://tools.cisco.com/ITDIT/vtgsc>
- Cisco Unified Communications Manager Compatibility Information
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_device_support_tables_list.html
- [¶] *Cisco Unity and the Software on Subscriber Workstations* http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/compatibility/matrix/cuclientmtx.html
- [¶] *SCCP Compatibility Matrix: Cisco Unity, the Cisco Unity-CM TSP, Cisco Unified Communications Manager, and Cisco Unified Communications Manager Express* http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/compatibility/matrix/cutspmtx.html
- [¶] *SIP Trunk Compatibility Matrix: Cisco Unity, Cisco Unified Communications Manager, and Cisco Unified Communications Manager Express* http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/compatibility/matrix/cusiptrunkmtx.html
- [¶] *Cisco Unified Contact Center Express Software and Hardware Compatibility Guide* http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cust_contact/contact_center/crs/express_compatibility/matrix/crscomtx.pdf
- [¶] *Cisco Unified Communications Manager Express and Cisco IOS Software Version Compatibility Matrix* http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps4625/prod_installation_guide09186a00805acf50.html
- Cisco Computer Telephony Integration Option : CTI Compatibility Matrix
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/custcosw/ps14/prod_technical_reference_list.html
- Cisco 7800 Series Media Convergence Servers Brochures
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/voiceapp/ps378/prod_brochure_list.html
- Cisco Unified Communications Manager Server Support Matrix
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/voiceapp/ps378/prod_brochure0900aecd8062a4f9.html
- Cisco Unity Connection Supported Platforms List
http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/voicesw/ps6789/ps5745/ps6509/product_data_sheet0900aecd80372879.html
- Cisco Unified Communications System Release Summary Matrix for IP Telephony for Enterprise and Midmarket
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/unified/communications/system/versions/IPTMtrix.html
- IP Communications System Test Release
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/GB_resources/ipcmatrix.htm

コンポーネントのリリース ノート、インストールおよびアップグレード マニュアル

表 3-4 に、コンポーネントのリリース ノートとインストールおよびアップグレード マニュアルへの参照を示します。これらの URL は、各マニュアルのさまざまなリリース バージョンを示す Web ページにリンクしています。ベースおよびターゲットのリリース セットに含まれているコンポーネントのリリース バージョンに基づいて、適切なマニュアルを確認してください。

表 3-4 コンポーネント固有のリリース ノートとインストールおよびアップグレード マニュアル

コンポーネント	リリース ノート	インストールおよびアップグレード マニュアル
Cisco Unified Communications Manager	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice/sw/ps556/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice/sw/ps556/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unity	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice/sw/ps2237/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice/sw/ps2237/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unity Express	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice/sw/ps5520/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice/sw/ps5520/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unified MeetingPlace	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unified MeetingPlace Express	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/prod_installation_guides_list.html
Cisco IP/VC 3500 シリーズ Videoconferencing	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/video/ps1870/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/video/ps1870/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unified Video Advantage	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice/sw/ps5662/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice/sw/ps5662/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unity Connection	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unified Operations Manager	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6535/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6535/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unified Presence	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/tsd_products_support_install_and_upgrade.html
Cisco Unified Service Monitor	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6536/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6536/tsd_products_support_install_and_upgrade.html
Cisco IP Communicator	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice/sw/ps5475/prod_release_notes_list.html	—
Cisco Unified Contact Center Express	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/customersw/ps1846/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/customersw/ps1846/prod_installation_guides_list.html
Cisco Emergency Responder	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice/sw/ps842/prod_release_notes_list.html	—
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony	—	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice/sw/ps2169/prod_installation_guides_list.html
Cisco 3700 シリーズ音声ゲートウェイ / ゲートキーパ	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/routers/ps282/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/routers/ps282/prod_installation_guides_list.html
Cisco Catalyst 3550 シリーズ アクセス スイッチ	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps646/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps646/prod_installation_guides_list.html

表 3-4 コンポーネント固有のリリース ノートとインストールおよびアップグレード マニュアル (続き)

コンポーネント	リリース ノート	インストールおよび アップグレード マニュアル
Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps708/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps708/prod_installation_guides_list.html
Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.4(15)T3	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6441/prod_release_notes_list.html	—
Cisco Unified Communications 500 Series for Small Business	http://www.cisco.com/en/US/products/ps7293/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/ps7293/prod_installation_guides_list.html
Cisco 1861 Integrated Services Router	—	http://www.cisco.com/en/US/products/ps5853/prod_installation_guides_list.html



PART 2

IP テレフォニー システムのアップグレード (エンタープライズおよび中間市場)



システム アップグレードの計画

この章では、IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード プロセス、アップグレード プロセスに関連するソフトウェア リリース、およびネットワークの規模に応じて使用できるさまざまなアップグレード方法の概要を示します。

この章の内容は、次のとおりです。

- [シスコユニファイド コミュニケーション システムの概要](#)
- [リリース セット](#)
- [アップグレードのロードマップ](#)
- [アップグレードの概要](#)
- [システムのアップグレード パス](#)
- [システム アップグレードの方法](#)



(注)

IP テレフォニー コンポーネントの名前の多くは、シスコユニファイド コミュニケーション システムのリリースの一部として変更されています。このマニュアルでは、以前のリリースの製品を指す場合でも、最新の製品名を使用しています。

シスコユニファイドコミュニケーションシステムの概要

シスコユニファイドコミュニケーションシステムは、インテリジェントな IP ネットワークに組み込まれる多機能のビジネス コミュニケーション システムです。このシステムは、あらゆる規模の企業で音声、データ、およびビデオによる通信を実現します。シスコユニファイドコミュニケーションシステムは、北米および European and Emerging Markets (EUEM) で規定された、ごく一般的に導入される中規模市場および企業向けトポロジ モデルです。

シスコシステムズでは、顧客の多種多様なニーズを満たす統合システムを提供しています。シスコユニファイドコミュニケーションは、あらゆる呼び制御、会議、ボイスメール、ボイスメッセージ、カスタマー コンタクト、IP 電話、テレビ電話、テレビ会議、リッチ メディア クライアント、および音声アプリケーション製品を含め、各 Cisco IP Communications 製品のフルレンジを表します。これらの製品およびアプリケーションは、統合システムとして設計、開発、テスト、マニュアル作成、販売、およびサポートが行われています。エンタープライズ向けのシスコユニファイドコミュニケーションシステムは、中核の呼処理コンポーネントである Cisco Unified Communications Manager を中心にした IP テレフォニー テレフォニー製品が土台になります。中間市場向けのシスコユニファイド コミュニケーション システムは、呼処理コンポーネントである Cisco Unified Communications Manager Business Edition を中心にした IP テレフォニー製品が土台になります。

シスコユニファイドコミュニケーションシステムのテストは、企業向け音声製品の相互運用性を指定 (設計) して検証し、これらの製品が 1 つの統合システムとして連動することを保証するためのプロセスです。

このアップグレード マニュアルの適用範囲

このマニュアルで説明しているアップグレード プロセスでは、アップグレード方法、アップグレード操作の準備、操作の順序 (IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード シーケンスなど) および他の依存関係 (ソフトウェアの低位互換性など) を扱っています。

ここでは、ベース リリース セット内のコンポーネントのアップグレードに関連する情報を提供します (ベース リリース セットとは、アップグレード対象のリリース セットです)。詳細については、「[リリース セット](#)」を参照してください。

ここでは、次のインストール手順、アップグレード手順、およびバックアップ手順については説明していません。

- 既存の実稼働ネットワークに含まれておらず、新しいリリースの一部として新規に追加されるコンポーネント。この情報については、各コンポーネントのマニュアルを参照してください。
- 個々のスタンドアロン コンポーネント (Unified Communications Manager や Cisco Unity など)。シスコユニファイドコミュニケーションシステム コンポーネントのシステム レベルのアップグレード手順だけを扱っています。
- サードパーティの共存アプリケーション (ただし、アップグレード プロセスおよびバックアップ プロセス中にこのようなアプリケーションを使用する場合があります)。たとえば、次のようなものがあります。
 - アンチウイルス
 - セキュリティ
 - サーバ管理
 - リモート アクセス
- 追加のサードパーティ オフボード アプリケーション。たとえば、次のようなものがあります。
 - オペレータ コンソール
 - VoIP 録音
 - 課金

- コンポーネントのサーバ交換(ハードウェアアップグレード)。この情報については、個々のコンポーネントのマニュアルを参照してください。

リリースセット

リリースセットとは、統合された1つのシスコユニファイドコミュニケーションシステムとして連動することがテスト済みの製品、コンポーネント、およびソフトウェアバージョンの組み合わせです。システムリリースの中にも、リリースセットと呼ばれるものがあります。

ベースリリースまたはベースリリースセットとは、アップグレード対象のリリースセットです。ターゲットリリースまたはターゲットリリースセットとは、ベースリリースセットがアップグレードされる先のリリースセットです。

シスコユニファイドコミュニケーションシステム(エンタープライズ)

この文書では、アップグレードに関連するエンタープライズシステムについて説明します。

- ベースリリース 現在の環境に次のいずれかのベースリリースセットが含まれていることがあります。
 - IP Communications Systems Test Release 4.2 このリリースセットをテストするために開発された導入モデルおよびトポロジの詳細については、マニュアル『*Systems Test Architecture Reference Manual for North America IPT*』を参照してください。次の URL にあります。
http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/ip_tele/gblink/system/gbtst4x/4_2/index.htm
 - IP Communications Systems Test Release 4.4 このリリースセットをテストするために開発された導入モデルおよびトポロジの詳細については、マニュアル『*Systems Test Architecture Reference Manual for North America IPT*』を参照してください。次の URL にあります。
http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/ip_tele/gblink/system/gbtst4x/4_4/index.htm
 - Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) このリリースセットをテストするために開発された IP テレフォニー導入モデルおよびトポロジの詳細については、『*Review Tested Site Models for IP Telephony*』および『*Review Tested Site Models for Contact Center*』を参照してください。
 - Cisco Unified Communications System Release 6.0(1) このリリースセットをテストするために開発された IP テレフォニー導入モデルおよびトポロジの詳細については、『*Review Tested Site Models for IP Telephony*』および『*Review Tested Site Models for Contact Center*』を参照してください。



(注) このベースリリースの場合、Unified Communications Manager をいったん暫定バージョンの Release 6.1(2) にアップグレードしてから、ターゲットのリリースバージョンにアップグレードする必要があります。

- Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) このリリースセットをテストするために開発された IP テレフォニー導入モデルおよびトポロジの詳細については、『*Review Tested Site Models for IP Telephony*』および『*Review Tested Site Models for Contact Center*』を参照してください。
- ターゲットリリース：
 - Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) ベースリリースセットに関係なく、アップグレードプロセスのゴールとなる新しいソフトウェアリリースセット。このリリースセットをテストするために開発された IP テレフォニー導入モデルおよびトポロジの詳細については、『*Review Tested Site Models for IP Telephony*』を参照してください。



(注) IP Communications Systems Test Release 4.5 および Cisco Unified Communications System Release 5.0(2) からのアップグレードパスは、コンタクトセンタ環境でテストされています。コンタクトセンタへのインストールおよびアップグレードの詳細については、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/UC7.0.1/cc_system_inst_upg/siumc_701.pdf を参照してください。

シスコユニファイドコミュニケーションシステム (中間市場)

この文書では、アップグレードに関連する中間市場システムについて説明します。

- ベースリリース 現在の環境に次のいずれかのベースリリースセットが含まれていることがあります。
 - Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) このリリースセットをテストするために開発された IP テレフォニー導入モデルおよびトポロジの詳細については、『[Review Tested Site Models for IP Telephony](#)』を参照してください。
- ターゲットリリース：
 - Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) ベースリリースセットに関係なく、アップグレードプロセスのゴールとなる新しいソフトウェアリリースセット。このリリースセットをテストするために開発された IP テレフォニー導入モデルおよびトポロジの詳細については、『[Review Tested Site Models for IP Telephony](#)』を参照してください。

ベースリリースセットおよびターゲットリリースセットに含まれているコンポーネントのソフトウェアバージョンの詳細については、[第5章「システムアップグレードの準備」](#)を参照してください。

アップグレードのロードマップ

この項では、高レベルのアップグレード作業の概要を示します。

ステップ1 ハードウェアおよびソフトウェアの要件を確認します。

たとえば、導入されているハードウェア構成およびオペレーティングシステムが、ターゲットリリースをサポートし、アップグレードの準備ができていることを確認します。

サポートされている MCS サーバのリストについては、次のマニュアルを参照してください。

- Cisco 7800 Series Media Convergence Servers Brochures
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/voiceapp/ps378/prod_brochure_list.html
- Cisco Unified Communications Manager Server Support Matrix
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/voiceapp/ps378/prod_brochure0900aecd8062a4f9.html
- Cisco Unity Connection Supported Platforms List
http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/voicesw/ps6789/ps5745/ps6509/product_data_sheet0900aecd80372879.html

ステップ2 必要なハードウェア機器チェックをすべて実行します。

たとえば、アップグレードプロセスを開始する前に、アップグレード作業を実行するサーバの DVD ROM ドライブが動作することを確認します。

ステップ3 既存のネットワークコンポーネントをベースリリースセットからターゲットリリースセットにアップグレードします。既存のコンポーネントのリストについては、表 4-1 を参照してください。



(注) 既存のネットワークには、いずれかのベースリリースセットですでにサポートされているコンポーネントが含まれています。

「システムのアップグレードパス」の項に記載されている推奨アップグレードパス、および「システムアップグレードの方法」の項に記載されているアップグレード方法を使用して、アップグレードを実行します。どのアップグレードパスおよびアップグレード方法を選択するかは、次のようなさまざまなファクタによって決まります。

- ネットワークに現在導入されているベースリリースセット
- ネットワークの規模およびサイトの数
- ネットワークのトポロジ

ステップ4 マルチステージでアップグレードするコンポーネント間で検証および確認テストを実行し、ネットワーク内のコンポーネントが相互動作することを確認します。マルチステージアップグレードおよびコンポーネントの相互動作の検証および確認の詳細については、「システムアップグレードの実行」を参照してください。

ステップ5 ターゲットリリースでサポートされている新しいコンポーネントをインストールして設定します。

各コンポーネントのインストールおよび設定に関するマニュアル(「ターゲットリリースセット内の新しいコンポーネントおよび機能」に記載)を参照してください。

■ アップグレードのロードマップ

ステップ6 ターゲット リリースに含まれないコンポーネントや End-Of-Life (EOL; サポート終了日) または End-Of-Sale (EOS; 販売終了) になったコンポーネントを、ネットワークから削除する (取り外す) が、または置換 (交換) します。

適切な手順に従って、これらのコンポーネントをアンインストールします。これらのコンポーネントのリストについては、「[ターゲット リリース セットに含まれていないコンポーネント](#)」を参照してください。



(注) 置換 (交換) が推奨される製品のリストについては、EOS/EOL の Web サイト http://www.cisco.com/en/US/products/prod_end_of_life.html を参照してください。シスコの EOS/EOL ポリシーについては、http://www.cisco.com/en/US/products/products_end-of-life_policy.html を参照してください。

アップグレードの概要

この項では、アップグレード プロセスに関連するベース リリース セットに含まれるコンポーネント、ターゲット リリース セットで新しくインストールする必要があるコンポーネント、およびターゲット リリース セットに含まれていないためアンインストールする必要があるコンポーネントを示します。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- ベース リリース セット内の既存のコンポーネント
- ターゲット リリース セット内の新しいコンポーネントおよび機能
- ターゲット リリース セットに含まれていないコンポーネント

ベース リリース セット内の既存のコンポーネント

表 4-1 に、Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) にアップグレードするベース リリース セットに含まれているコンポーネントを示します。



(注) ダッシュ () は、使用不能であったため、またはベース リリース セットに含まれていなかったために、テストされなかった製品を示します。

表 4-1 ベース リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント

コンポーネント	IP Communications Systems Test Release		Unified Communications System Release		
	4.2	4.4	5.1(3)	6.0	6.1(1)
Cisco Unified Communications Manager	X	X	X	X	X
Cisco Unified Communication Manager Business Edition	—	—	—	X	X
Cisco Unified Contact Center Express	X	X	X	X	X
Cisco Emergency Responder	X	X	X	X	X
Cisco Unified Mobility Advantage	—	—	—	X	X
Cisco Unified Mobile Communicator	—	—	—	X	X
Cisco Unified Personal Communicator	—	—	X	X	X
Cisco Unified Presence	—	—	X	X	X
Cisco Unified Provisioning Manager	—	—	—	X	X
Cisco Unity、TSP	X	X	X	X	X
Cisco Unity、Microsoft Exchange	X	X	X	X	X
Cisco Unity、IBM Lotus Domino	X ¹	X ¹	X ¹	X ¹	X ¹
Cisco Unity Bridge	X	X	—	—	—
Cisco Unified MeetingPlace	X	X	X	X	X
Cisco Unified MeetingPlace Audio Server	X	X	X	X	X
Cisco Unified MeetingPlace IP Gateway	X	X	X	X	X
Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing	X	X	X	X	X
Cisco Unified MeetingPlace Video Integration	—	—	X	X	X

■ アップグレードの概要

表 4-1 ベースリリースセット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

コンポーネント	IP Communications Systems Test Release		Unified Communications System Release		
	4.2	4.4	5.1(3)	6.0	6.1(1)
Cisco Unified MeetingPlace for Outlook	—	—	X	X	X
Cisco Unified MeetingPlace MeetingTime	—	—	X	X	X
Cisco Unified Communications Manager Express	X	X	X	X	X
Cisco Unity Express	X	X	X	X	X
Cisco Unity Connection	X	X	X	X	X
Cisco Unified MeetingPlace Express	—	X	X	X	X
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST)	X	X	X	X	X
Cisco Unified Service Statistics Manager :	—	—	—	X	X
Cisco Unified Business Attendant Console	—	—	—	X	X
Cisco Unified Phone Proxy	—	—	—	X	X
Cisco Unified Videoconferencing 3511 Multipoint Control Unit (MCU)	X	X	—	—	—
Cisco Unified Videoconferencing 3515 Multipoint Control Unit (MCU)	—	—	X	X	X
Cisco Unified Videoconferencing 3540 MCU	X	X	X	X	X
Cisco Unified Videoconferencing 3545 MCU	—	—	X	X	X
Cisco Unified Videoconferencing Enhanced Media Processor (EMP) Module	—	—	X	X	X
Cisco Unified Videoconferencing 3521 BRI Gateway	X	X	—	—	—
Cisco Unified Videoconferencing 3522 BRI Gateway	—	X	X	X	X
Cisco Unified Videoconferencing 3526 PRI Gateway	X	X	X	X	X
Cisco Unified Videoconferencing 3527 PRI Gateway	—	—	X	X	X
Cisco 1751 (音声 / データ ゲートウェイ)	X	X	—	—	—
Cisco 1760 (音声 / データ ゲートウェイ)	X	X	X	X	X
Cisco 2610XM, 2611XM, 2620XM, 2621XM, 2650XM, 2651XM, 2691 (ルータ)	X ²	X ²	X	X	X
Cisco 2801, 2821, 2851, 3825, 3845 (ルータ、音声 / データ ゲートウェイ)	X	X	X	X	X
Cisco 3660 (音声 / データ ゲートウェイ)	X	X	—	—	—
Cisco 3725 (ゲートキーパー)	X ¹	X	—	—	—
Cisco 3745 (ゲートキーパー)	X	X	X	X	X
Cisco 3745 (IP-to-IP Gateway)	—	—	X	X	X
Cisco 3725, 3745 (音声 / データ ゲートウェイ)	X	X	X	X	X
Cisco 3725, 3745, 3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	X	X	X	X ³	X
Cisco 7206 (音声 / データ ゲートウェイ)	X	X	X	X	X
Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	X	X	X	X	X
Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	—	X	X	X	X
Cisco Catalyst 3500 XL シリーズ (アクセス スイッチ)	X	X	X	X	X
Cisco Catalyst 3750 (データセンター スイッチ)	—	—	X	X	X
Cisco Catalyst 4503 (アクセス スイッチ)	—	—	—	X	X

表 4-1 ベースリリースセット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

コンポーネント	IP Communications Systems Test Release		Unified Communications System Release		
	4.2	4.4	5.1(3)	6.0	6.1(1)
Cisco Catalyst 4506 (アクセススイッチ)	X	X	X	X ¹	X
Cisco Catalyst 6506、6509 (Supervisor Engine 2/MSFC2)	X	X	X	X	X
Cisco Catalyst 6506、6509 (Supervisor Engine 32) ⁴	X	X	—	—	—
Cisco Catalyst 6506、6509 (Supervisor Engine 720)	X	X	X	X	X
Cisco Catalyst Communications Media Module (CMM)	X	X	X	X	X
Cisco Catalyst 6500 シリーズ Firewall Services Module (FWSM)	X	X	X	X	X
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	X	X	X	X	X
Cisco VG224 (アナログ音声ゲートウェイ)	X	X	X	X	X
Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ)	X	X	X	X	X
Cisco ATA 186、188	X	X	X	X	X
Cisco Security Agent Unified Communications Manager	X	X	X	X	X
Cisco Security Agent Cisco Emergency Responder	X	X	X	X	X
Cisco Security Agent Cisco Unified Contact Center Express	X	X	X	X	X
Cisco Security Agent Cisco Unity	X	X	X	X	X
Cisco Security Agent Policy Cisco Personal Assistant	X			—	
Cisco Security Agent Management Center	X	X	—	—	—
Cisco Advance Security Appliance ASA 5500 シリーズ	—	—	—	X	X
Cisco Intrusion Prevention System Appliance IPS-4200	—	—	—	X	X
Cisco Unified Mobility Manager	X	X	—	—	—
Cisco Unified Operations Manager (旧 CiscoWorks ITEM)	X	X	X	X	X
Cisco Unified Service Monitor	X	X	X	X	X
Cisco Resource Management Essentials (RME)	—	—	X	X	X
Cisco IP Phone モデル 7902G、7905G、7910G、7912G、7920、7935、7936、7940G、7960G、7970G	X	X	X	X	X
Cisco Unified IP Phone モデル 7906G、7911G、7921G、7931G、7941G、7942G、7945G、7961G、7962G、7965G、7971G、7975G、7985G	—	—	X	X	X
Cisco Unified IP Phone 7937G および Cisco Unified SIP Phone 3911	—	—	—	—	X
Cisco Aironet 1200G アクセス ポイント (AP)	X	X	X	X	X
Cisco IP Communicator	X	X	X	X	X
Cisco Unified Personal Communicator	—	—	X	X	X
Cisco Unified Video Advantage	X	X	X	X	X
Cisco Personal Assistant	X	X	—	—	—
Cisco Unified Messaging Gateway	—	—	—	—	X
Cisco 1861 Integrated Services Router	—	—	—	—	X
Cisco Telepresence Readiness Assessment Manager	—	—	—	—	X

1. EUEM サイト モデルだけでテスト済みです。

2. Cisco 2621XM は、EUEM サイト モデルでテストされていません。

3. SRTP は、MGCP ゲートウェイだけでサポートされており、H.323 ゲートウェイおよび SIP ゲートウェイではサポートされていません。

4. Cisco Wireless Services Module (Cisco WiSM) はサポートされていません。

ターゲットリリースセット内の新しいコンポーネントおよび機能

Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) リリースセットでは、いくつかのコンポーネントが新しく導入されています。これらの新しいコンポーネントは、ネットワーク上で（アップグレードするのではなく）インストールして設定する必要があります。新しいコンポーネントは、次のとおりです。

- Cisco Unified Readiness Assessment Manager
- Cisco 881 Integrated Services Router

IP Communications Systems Test からアップグレードする場合の新しいコンポーネント Release 4.2

この項では、Release 4.2 からアップグレードする場合に Release 7.0(1) リリースセットで新規となるコンポーネントを示します。これらのコンポーネントのインストールおよび設定については、記載されている URL で各コンポーネントのマニュアルを参照してください。

- Cisco Unified Videoconferencing 3540 MCU
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/video/ps1870/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Videoconferencing 3545 MCU
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/video/ps1870/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Personal Communicator
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Communications Manager Business Edition
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7273/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Provisioning Manager
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7125/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Service Statistics Manager
<http://www.cisco.com/en/US/products/ps7285/index.html>
- Cisco netManager Unified Communications
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7243/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco Unified Phone Proxy
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7057/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified IP Phone 3911/7906G/7911G/7921G/7931G/7937G/7941G/7942G/7945G/7961G/7962G/7965G/7971G/7975G/7985G
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Application Environment
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7058/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco Adaptive Security Appliance
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6120/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Security Monitoring, Analysis, and Response System
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6241/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Mobility Advantage
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7270/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Mobile Communicator
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7271/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco Unified Communications 500 Series for Small Business
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7293/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Presence
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified MeetingPlace Audio Server
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html

- Cisco Unified MeetingPlace IP Gateway
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified MeetingPlace Video Integration
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified MeetingPlace for Microsoft Outlook
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified MeetingPlace Express
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Business Attendant Console
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7282/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Catalyst 3560 Series Switches
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps5528/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Catalyst 4503 Switch
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps4324/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Intrusion Prevention System Appliance IPS-4200
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/vpndevc/ps4077/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Resource Management Essentials
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/cscowork/ps2073/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Video Advantage
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/prod_installation_guides_list.html
- Cisco 1861 Integrated Services Router
http://www.cisco.com/en/US/products/ps5853/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Messaging Gateway
http://www.cisco.com/en/US/products/ps8605/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Readiness Assessment Manager
http://www.cisco.com/en/US/products/ps8542/prod_installation_guides_list.html

IP Communications Systems Test Release 4.4 からアップグレードする場合の新しいコンポーネント

- Cisco Unified Presence
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Personal Communicator
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Provisioning Manager
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7125/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Service Statistics Manager
<http://www.cisco.com/en/US/products/ps7285/index.html>
- Cisco Resource Management Essentials
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/cscowork/ps2073/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Videoconferencing 3545 MCU
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/video/ps1870/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified IP Phone 3911/7931G/7937G/7942G/7945G/7962G/7965G/7975G/7985G
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Application Environment
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7058/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco Unified Phone Application Suite
- Cisco Unified Border Element
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5640/tsd_products_support_series_home.html

■ アップグレードの概要

- Cisco Unified Video Conferencing
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/video/ps1870/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco Unified Voice Messaging Gateway
http://www.cisco.com/en/US/products/ps8605/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Adaptive Security Appliance
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6120/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Security Monitoring, Analysis, and Response System
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6241/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Communications Manager Business Edition
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7273/prod_installation_guides_list.html

Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) からアップグレードする場合の新しいコンポーネント

- Cisco 1700 Series Modular Access Routers
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/routers/ps221/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Provisioning Manager
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7125/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Service Statistics Manager
<http://www.cisco.com/en/US/products/ps7285/index.html>
- Cisco netManager Unified Communications
- Cisco Unified Phone Proxy
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7057/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified IP Phone 3911/7931G/7937G/7942G/7945G/7962G/7965G/7975G/7985G
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Application Environment
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7058/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco Phone Suite
- Cisco Adaptive Security Appliance
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6120/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Security Monitoring, Analysis, and Response System
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6241/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Conferencing for TelePresence
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7266/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco 1861 Integrated Services Router
http://www.cisco.com/en/US/products/ps5853/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Communications Manager Business Edition
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7273/prod_installation_guides_list.html

Cisco Unified Communications System Release 6.0(1) からアップグレードする場合の新しいコンポーネント

この項では、Release 6.0(1) からアップグレードする場合に Release 7.0(1) リリース セットで新規となるコンポーネントを示します。これらのコンポーネントのインストールおよび設定については、記載されている URL で各コンポーネントのマニュアルを参照してください。

- Cisco 1861 Integrated Services Router
http://www.cisco.com/en/US/products/ps5853/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Messaging Gateway
http://www.cisco.com/en/US/products/ps8605/prod_installation_guides_list.html

- Cisco Unified IP Phone 7937G
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified SIP Phone 3911
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7193/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified Readiness Assessment Manager
http://www.cisco.com/en/US/products/ps8542/prod_installation_guides_list.html

Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) からアップグレードする場合の新しいコンポーネント

この項では、Release 6.1(1) からアップグレードする場合に Release 7.0(1) リリース セットで新規となるコンポーネントを示します。これらのコンポーネントのインストールおよび設定については、記載されている URL で各コンポーネントのマニュアルを参照してください。

- Cisco Unified Readiness Assessment Manager

ターゲット リリース セットに含まれていないコンポーネント

次のコンポーネントは、ターゲット リリースではサポートされなくなったため、削除する（取り外す）か、または適切な新しいコンポーネントに置換（交換）する必要があります。

- Cisco Unified Mobility Manager Cisco Unified Communications Manager 7.0(1) の一部として含まれる
- Cisco Unified Videoconferencing 3511 MCU
- Cisco Unified Videoconferencing 3540 MCU
- Cisco Unified Videoconferencing 3521 BRI Gateway Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3522 (ISDN BRI)
- Cisco Unified Videoconferencing 3526 PRI Gateway Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3527 (ISDN PRI)
- Cisco Fax Server
- Cisco SIP Proxy Server
- Cisco Personal Assistant Cisco Unity で置換
- Tandberg 990 MXP (H.323 ビデオ エンドポイント)



(注)

上記コンポーネントのうち置換（交換）が推奨されるもののリストについては、EOS/EOL の Web サイト http://www.cisco.com/en/US/products/prod_end_of_life.html を参照してください。シスコの EOS/EOL ポリシーについては、http://www.cisco.com/en/US/products/products_end-of-life_policy.html を参照してください。

システムのアップグレードパス

この項では、一般的な始点から最新のシスコユニファイドコミュニケーションシステムリリースに移行するときに必要な概要情報を示します。システムリリースには、次のタイプのリリースがあります。

- **メジャーリリース** 主要な新しいリリースバージョンの始まりを示します。このリリースタイプは一般に、Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unity、Cisco Unified MeetingPlace、Cisco Unified Contact Center Express ソリューションのうち少なくとも1つのコンポーネントのメジャーリリースをベースにしています。
- **マイナーリリース** 既存のメジャーリリースに機能および修正を追加します。このリリースタイプは、既存のコンポーネントに対する修正と、コンポーネントの新しいバージョンで構成できます。
- **メンテナンスリリース** 1つまたは複数のコンポーネントのバグフィックスを含みます。このリリースタイプは、既存のメジャーリリースまたはマイナーリリースに基づきます。

IPC Systems Test リリース セットからのアップグレード

IPC Systems Test リリース セットからシスコユニファイドコミュニケーションシステムリリースセットにアップグレードする場合は、次のアップグレードパスを使用できることに注意してください。



(注)

すべての IPC Systems Test リリースのリストには、

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/GB_resources/ipcmatrix.htm からアクセスできます。

- メジャー IPC Systems Test からメジャー IPC Systems Test へ。たとえば、Systems Test 3.0 から 4.0 へ ([図 4-1](#) を参照)。
- メジャー IPC Systems Test からマイナー IPC Systems Test へ。たとえば、Systems Test 4.0 から 4.1 へ ([図 4-1](#) を参照)。
- マイナー IPC Systems Test からマイナー IPC Systems Test へ。たとえば、Systems Test 4.1 から 4.2 へ。
- マイナー IPC Systems Test からメジャー シスコユニファイドコミュニケーションシステムへ。たとえば、Systems Test 4.2 から Unified Communications 7.0(1) へ。
- マイナー IPC Systems Test からマイナー シスコユニファイドコミュニケーションシステムへ。たとえば、Systems Test 4.2 から Unified Communications 6.1(1) へ。

上記のアップグレードパスについては、[図 4-1](#) を参照してください。



(注)

横向き矢印は、個々のリリース内のアップグレードパスを示します。縦向き矢印は、あるリリースから次のリリースへのアップグレードパスを示します。

シスコユニファイド コミュニケーション システム リリース セットからのアップグレード

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム リリース セットからアップグレードする場合は、次のアップグレード パスを使用できることに注意してください。

- メジャー シスコ ユニファイド コミュニケーション システムからマイナー シスコ ユニファイド コミュニケーション システムへ。たとえば、Cisco Unified Communications System Release 6.0(1) から Release 6.1(1) へ。
- メジャー シスコ ユニファイド コミュニケーション システムまたはマイナー シスコ ユニファイド コミュニケーション システムからシスコ ユニファイド コミュニケーション システム メンテナンス リリースへ。たとえば、Cisco Unified Communications System Release 5.0(1) から Release 5.0(2) へ、および Release 5.1(1) から Release 5.1(2) へ。
- マイナー シスコ ユニファイド コミュニケーション システムからメジャー シスコ ユニファイド コミュニケーション システムへ。たとえば、Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) から Release 7.0(1) へ。
- シスコ ユニファイド コミュニケーション システム メンテナンス リリースからマイナー シスコ ユニファイド コミュニケーション システムへ。たとえば、Cisco Unified Communications System Release 5.0(2) から Release 6.0(1) へ。

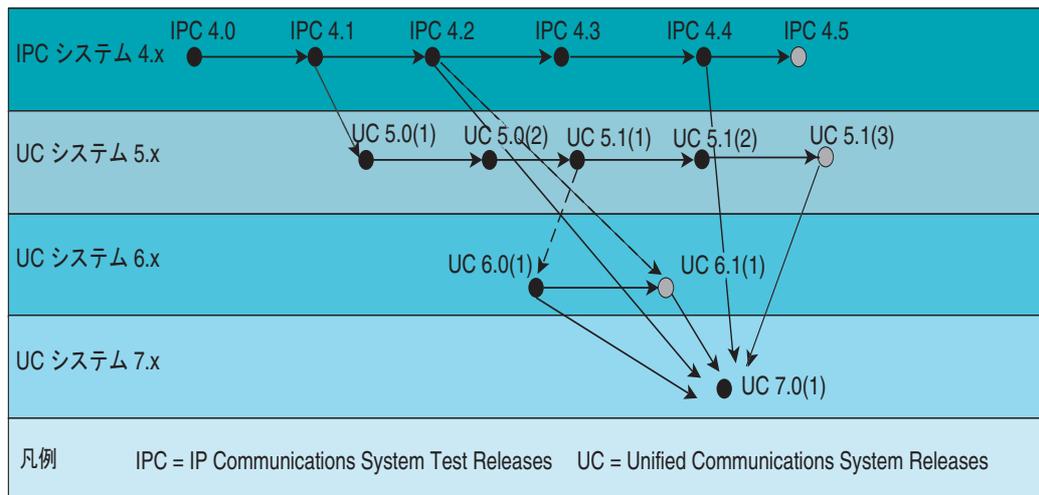


(注)

IP テレフォニー コンポーネントのすべてのシスコ ユニファイド コミュニケーション システム リリースのリストは、
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/unified/communications/system/versions/IPTMtrix.html の Cisco Unified Communications System Release Summary Matrix for IP Telephony for Enterprise and Midmarket にあります。

図 4-1 に、これらのアップグレード パスの一部を示します。

図 4-1 Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) へのアップグレード パス



187780

Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) へのアップグレードパス

IP テレフォニー環境では、Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) へのアップグレードパスとして、次のパスを使用できます。

- マイナー IP Communications Systems Release 4.2 からメジャー Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) へ。
- マイナー IP Communications Systems Release 4.4 からメジャー Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) へ。
- マイナー Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) からメジャー Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) へ。
- メジャー Cisco IP Communications Systems Release 6.0(1) からメジャー Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) へ。



(注) このベース リリースの場合、Unified Communications Manager をいったん暫定バージョンの Release 6.1(2) にアップグレードしてから、ターゲットのリリース バージョンにアップグレードする必要があります。

- マイナー Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) からメジャー Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) へ。

システムアップグレードの方法

この項では、さまざまなターゲット リリース導入シナリオにおける、すべてのコンポーネントのアップグレード方法について説明します。追加情報や解説が必要である場合を除き、各コンポーネントのアップグレードに関する詳細は記載していません。

ターゲットリリースにアップグレードする場合は、次のアップグレード方法を使用できます。

- 既存のハードウェアを使用した単一ステージアップグレード (flash-cut) ネットワーク上のすべてのコンポーネントを、単一のメンテナンス期間内に、ベース リリース セットからターゲット リリース セットにアップグレードできます。
- 新しいハードウェアを使用した単一ステージアップグレード (flash-cut または shrink-and-grow) 新しいハードウェアを使用してパラレル ネットワークを構築し、プレステージ設定を行って既存の実稼働ネットワークをサポートするようにする必要があります。その後、次のいずれかの方法で、すべてのユーザを既存の実稼働ネットワークから新しいネットワークに移動できます。
 - flash-cut アップグレード プロセスを使用して、一度のメンテナンス期間で
 - shrink-and-grow アップグレード プロセスを使用して複数のメンテナンス期間で (新しいハードウェアに新しいリリース バージョンを実装するときには単一のメンテナンス期間が使用されるが、ユーザを移行するときに複数の期間が使用される)



(注) パラレル ネットワーク上でプレステージ設定を行う場合は、バックアップと復元の手順を使用しないことをお勧めします。多くのアプリケーションでは、バックアップと復元のプロセスで、同じホスト名と IP アドレスを使用するように要求されます。この方法では、真のパラレル ネットワークを作成できません。なぜなら 2 つのシステムが同じホスト名と IP アドレスで同じネットワーク上に存在できないためです。ただし、例外があります。たとえば、Unified Communications Manager システムを IP Communications Systems Test 4.x リリース セットから Cisco Unified Communications System 7.0(1) にアップグレードする場合は、Data Migration Assistant (DMA) を使用すると、パラレル ネットワーク上にプレステージ設定を行うときに、別のホスト名と IP アドレスを使用できます。

単一ステージアップグレードによるアップグレード方法は、ネットワーク上に少数のコンポーネントしかない小規模なサイト (300 席以下) に適切です。

- 既存のハードウェアを使用したマルチステージ システム アップグレード (ハイブリッド システム) 各サイト内のコンポーネントを、別のメンテナンス期間中に、ベース リリース セットのソフトウェアからターゲット リリース セットのソフトウェアに段階的にアップグレードできます。各中間段階の完了時、各サイト内のネットワークはハイブリッド システムとして存在します。このハイブリッド システムは、次のような混合状態になっています。
 - 一部のコンポーネントは、ベース リリース セットで動作しています。
 - 他のアップグレード済みコンポーネントは、ターゲット リリース セットで動作しています。



(注) ハイブリッド システムとは、製品間のバージョンのことを指し、同じ製品でバージョンが異なることを意味するものではありません。たとえば、同じクラスタ内のすべての Unified Communications Manager サーバは、同じソフトウェア リリース バージョンのままとなります。

マルチステージ システム アップグレード方法は、ネットワーク上に多くのコンポーネントが存在する中規模から大規模のサイト (中規模は 301 ~ 1,499 席、大規模は 1,500 ~ 4,999 席) にお勧めします。

■ システムアップグレードの方法

- マルチサイト移行（リリースセットのインターワーキングを含むハイブリッドネットワークを介して）コンポーネントを、別のメンテナンス期間中に、サイトごとにベースリリースセットのソフトウェアからターゲットリリースセットのソフトウェアにアップグレードします。

各メンテナンス期間の完了時、複数のサイトにまたがるハイブリッドネットワークが存在します。このハイブリッドネットワークでは、次のようなサイトが混合された状態です。

- コンポーネントがベースリリースセットで動作しているサイト
- コンポーネントがターゲットリリースセットで動作しているサイト
- コンポーネントがハイブリッドシステムであるサイト（「[既存のハードウェアを使用したマルチステージシステムアップグレード（ハイブリッドシステム）](#)」を参照）

このモデルは、各サイトが別個にアップグレードされることを想定しています。ただし、マルチサイト移行方法では、サイト間で共有されるコンポーネントを持つ分散アプリケーションのことを考慮する必要があります。たとえば、複数の Unified Communications Manager クラスタ、中央集中型 TFTP クラスタ、または Clustering-over-WAN (CoW; WAN 経由のクラスタリング) を使用する Unified Communications Manager クラスタをサポートする Cisco Emergency Responder を導入している場合は、これらのサイトを同時にアップグレードする必要があります。

ユーザを既存の実稼働ネットワークから、ターゲットリリースセットのソフトウェアで動作する新しいネットワークに段階的に移動できます。

マルチサイト移行方法は、ネットワーク上に非常に多くのコンポーネントが存在する大規模なマルチサイト環境（5,000 席以上）にお勧めします。

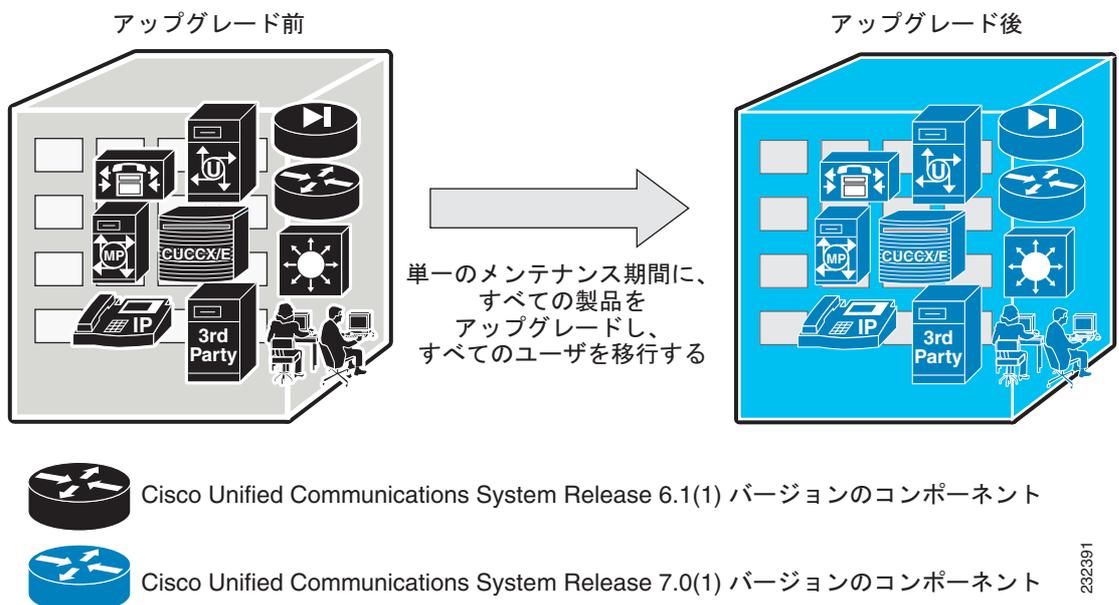
既存のハードウェアを使用した単一ステージアップグレード

ネットワーク上のすべてのコンポーネントを、単一のメンテナンス期間内に、ベースリリースセットからターゲットリリースセットのソフトウェアにアップグレードします。すべてのコンポーネントが単一のメンテナンス期間内にアップグレードされるため、ベースリリースセットとターゲットリリースセット間の相互運用性は不要です。

既存のハードウェア上の単一ステージアップグレード方法は、単一のメンテナンス期間内に実行する必要があるため、通常、大規模なサイトおよびネットワークではお勧めできません。

図 4-2 に、既存のハードウェア上の単一ステージアップグレード方法に関連する単一のメンテナンス期間の例を示します。

図 4-2 既存のハードウェアを使用した単一ステージアップグレード



232391

新しいハードウェアを使用した単一ステージアップグレード

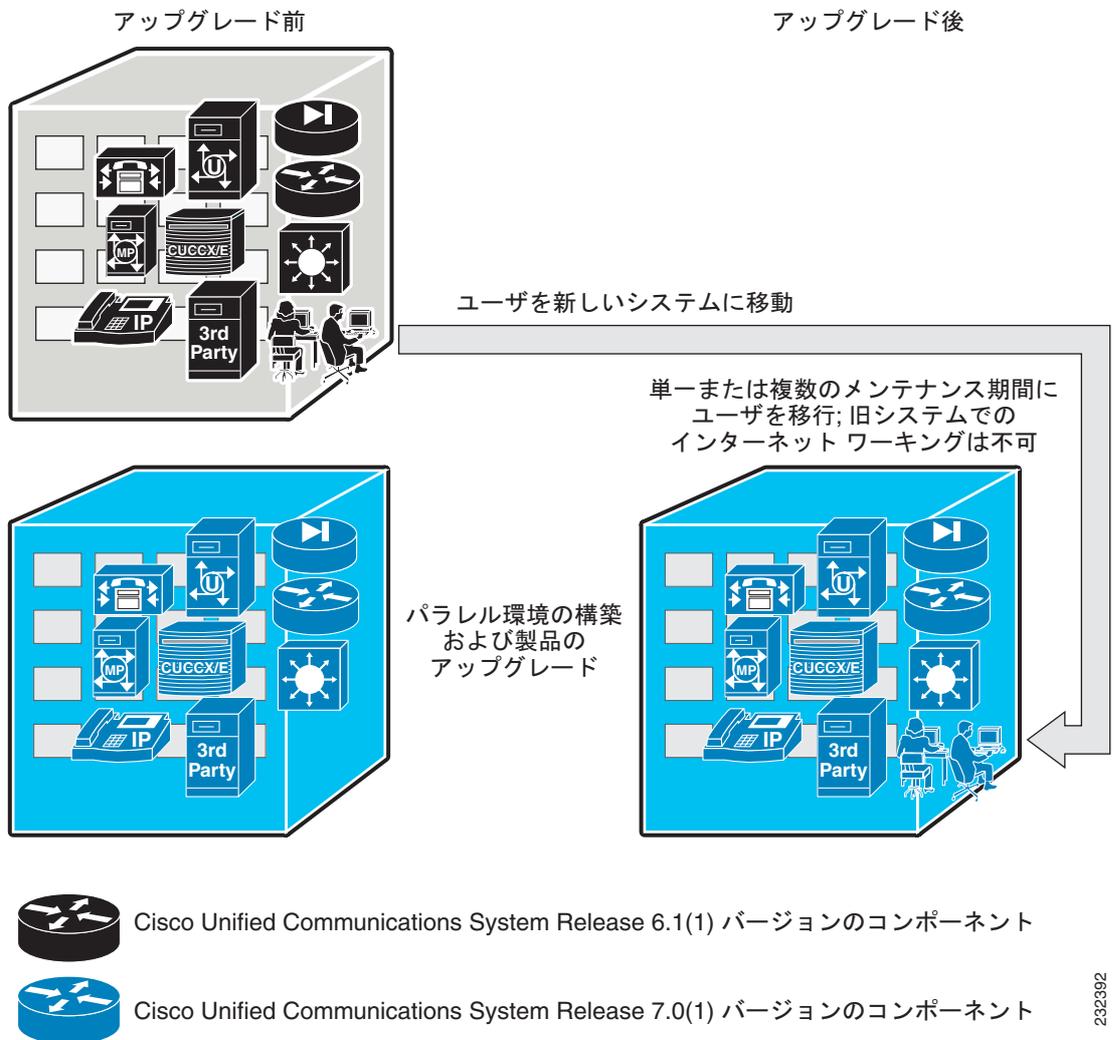
新しいハードウェアを使用してシスコユニファイドコミュニケーションシステムの平行ネットワークを構築し、プレステージ設定を行って既存の実稼働ネットワークをサポートする必要があります。その後、単一のメンテナンス期間 (flash-cut を使用) または複数のメンテナンス期間 (shrink-and-grow を使用) のいずれかで、すべてのユーザを既存の実稼働ネットワークから、ターゲットリリースセットのソフトウェアで動作する新しいネットワークに移動できます。

新しいハードウェア上の単一ステージアップグレード方法は、次の理由から、大規模なサイトおよびネットワークではお勧めできません。

- 単一のメンテナンス期間内にアップグレードを実行できない。
- 新しい完全な平行ネットワークの費用が膨大になる。

図 4-3 に、新しいハードウェア上の単一ステージアップグレード方法に関連するメンテナンス期間の例を示します。

図 4-3 新しいハードウェアを使用した単一ステージアップグレード



232392

既存のハードウェアを使用したマルチステージシステムアップグレード（ハイブリッドシステム）

各コンポーネントまたはサイトを、別のメンテナンス期間中に、ベースリリースセットのソフトウェアからターゲットリリースセットのソフトウェアに段階的にアップグレードできます。各中間段階の完了時、各サイトはハイブリッドシステムとして存在します。このハイブリッドシステムは、次のような混合状態になっています。

- 一部のコンポーネントは、ベースリリースセットのソフトウェアで動作しています。
- 他のアップグレード済みコンポーネントは、ターゲットリリースセットのソフトウェアで動作しています。

既存のハードウェア上のマルチステージシステムアップグレードは、中規模から大規模なネットワークにお勧めの方法です。この場合、単一サイト内の個々のコンポーネントまたはマルチサイト環境内の個々のサイトが、数日または数週間の期間で徐々にアップグレードされます。

このタイプのステージングは、次のような理由で必要となります。

- 関連するすべてのコンポーネントを完全にアップグレードするためにシステムをアウトオブサービス状態にする時間（メンテナンス期間）を十分に確保できない。
- アップグレード後に既存の機能をテストする必要がある。
- アップグレード後に新しい機能をテストする必要がある。

段階的なアップグレードは、メンテナンス休止期間を挟んだ、一連のメンテナンス期間であるとみなすことができます。各メンテナンス期間中に、1つまたは複数のシステムコンポーネント、またはコンポーネントのサブセットがアップグレードされます。

企業では、通常、サービスの中断による混乱が最小限で、少数のユーザにしか影響が及ばないときに（たとえば、夜間や週末に）メンテナンス期間を確保します。

段階的なアップグレードが完了するまでは、ネットワーク全体が部分的にアップグレードされた状態で存在します。つまり、一部のコンポーネントはターゲットリリースセットのソフトウェアにアップグレードされており、残りのコンポーネントはベースリリースセットのソフトウェアで動作しています。

段階的なアップグレードの実行中は、ターゲットリリースセットのコンポーネントをベースリリースセットのコンポーネントと相互運用するために、コンポーネントの下位互換性が重要となります。下位互換性を持たないコンポーネントがある場合は、複数のメンテナンス期間にまたがる長期の（場合によっては数週間の）サービス停止が発生することがあります。

したがって、マルチステージアップグレードの実行中は、ベースリリースセットとターゲットリリースセットのソフトウェアバージョン間の相互運用性を確保する必要があります。ソフトウェアおよび下位互換性に関する考慮事項の詳細については、[第5章「システムアップグレードの準備」](#)を参照してください。

[図4-4](#)に、既存のハードウェア上のマルチステージシステムアップグレード方法に関連するメンテナンス期間の例を示します。

図 4-4 既存のハードウェアを使用したマルチステージ システム アップグレード(ハイブリッド システム)



各段階/メンテナンス期間で一部の製品をアップグレードし、すべてのユーザをハイブリッドシステムに移行する。ここで定義されたハイブリッドシステムのみ許可される。



Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) バージョンのコンポーネント



Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) バージョンのコンポーネント

292393

マルチサイト移行 (ハイブリッド ネットワーク)

コンポーネントを、別のメンテナンス期間中に、サイトごとにベース リリース セットからターゲット リリース セットにアップグレードします。

各メンテナンス期間の完了時、複数のサイトにまたがるハイブリッド ネットワークが存在します。各サイト内で、単一ステージまたはマルチステージのアップグレード方法を使用して、特定のサイトのコンポーネントをベース リリース セットからターゲット リリース セットにアップグレードできます。

純粋なベース リリース セットのバージョンを持つサイトと、純粋なターゲット リリース セットのバージョンを持つサイトとの間のインターワーキングを期待できます。図 4-5 を参照してください。ただし、これらの純粋なサイトとハイブリッド システム サイト間のインターワーキングは実現できません。ソフトウェアおよび下位互換性に関する考慮事項の詳細については、第 5 章「システムアップグレードの準備」を参照してください。



(注)

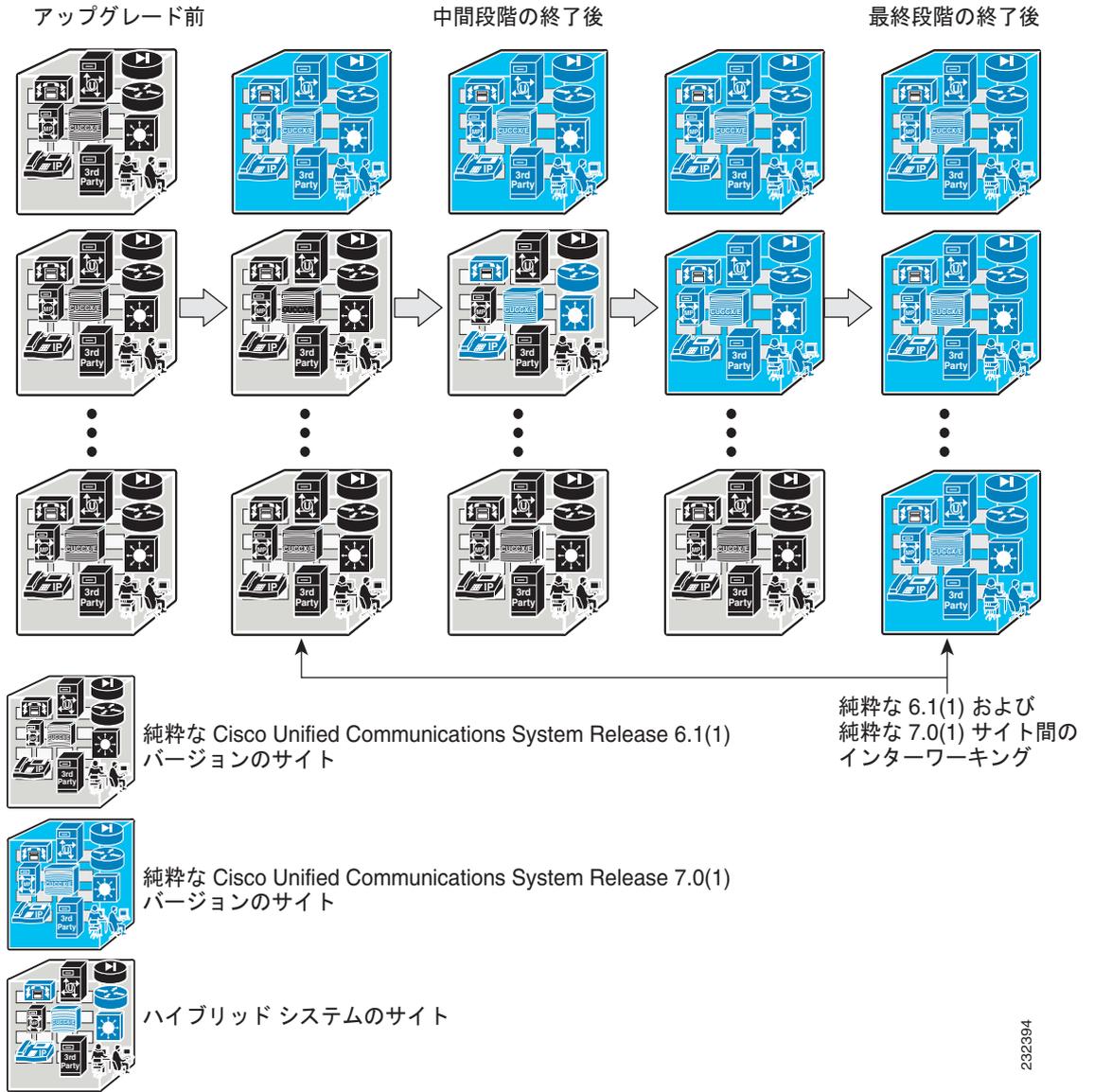
複数のサイトに共通のコンポーネント (共有されている Cisco Emergency Responder など) が、相互運用性、サイトのアップグレード順序、または同時にアップグレードするサイトの選択に影響を及ぼすことがあります。

ユーザを既存の実稼働ネットワークから、ターゲット リリース セットのソフトウェアで動作する新しいネットワークに段階的に移動できます。既存のベース ネットワーク上のユーザ数が減り、それに応じてターゲット ネットワーク上のユーザ数が増えます。

この移行プロセスは、必要に応じて、数週間、ときには数か月にわたることがあります。このアップグレード方法を使用している間は、2 つのネットワーク (既存と新規) が相互に通信できなければなりません。

図 4-5 に、マルチサイト移行方法に関連するメンテナンス期間の例を示します。

図 4-5 マルチサイト移行



232394

表 4-2 に、アップグレード方法の概要を示します。

表 4-2 アップグレード方法の概要

	単一ステージアップグレード	マルチステージシステムアップグレード	マルチサイト移行アップグレード
導入のタイプ	<ul style="list-style-type: none"> 小規模な単一サイト 小規模なマルチサイト (300 席以下) 	<ul style="list-style-type: none"> 中規模な単一サイト 中規模なマルチサイト (301 ~ 1,499 席) 大規模な単一サイト (1,500 ~ 4,999 席) 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模なマルチサイト (5,000 席以上)
メンテナンス期間 (MW)	1	複数	複数
コンポーネントレベルでのリリース間の相互運用性	不要	必須	必須
サイトレベルでのリリース間の相互運用性	不要	<ul style="list-style-type: none"> 中規模な単一サイト 不要 大規模な単一サイト 不要 中規模なマルチサイト 必須 	必須
ユーザの移行	1 つの段階で完了	最終段階まで部分的	最終段階まで部分的
アップグレード期間	1 つのタイムスロット (たとえば、週末のメンテナンス期間中)	数日から数週間	数週間から数か月

■ システムアップグレードの方法



システム アップグレードの準備

この章では、実際のアップグレード プロセスを実行する前に注意する必要がある情報を示します。たとえば、さまざまなコンポーネントの一般的なアップグレード方法、アップグレードに関連するコンポーネントのアップグレード リリース バージョン、およびリリース バージョンの互換性について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- システム アップグレードのアプローチ
- システム アップグレードの依存関係
- アップグレード リリース バージョン



(注) IPT コンポーネントの名前の多くは、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムのリリースの一部として変更されています。このマニュアルでは、以前のリリースの製品を指す場合でも、最新の製品名を使用しています。

システムアップグレードのアプローチ

一般的な方法としては、各 Cisco Unified Communications Manager クラスタ（およびそれに関連付けられているすべての IP テレフォニー コンポーネント）を一度に 1 つアップグレードしてから、次のクラスタをアップグレードします。



(注) 次の URL から、該当するソフトウェアのアップグレード（または新規インストール）および運用に必要なライセンス ファイルにアクセスし、ダウンロードする。<http://www.cisco.com/go/license>

クラスタごとに、次の順序でシスコ ユニファイド コミュニケーション システム ソリューションのコンポーネントをアップグレードします。

1. インフラストラクチャ コンポーネント。たとえば、Catalyst 6500/6000 スイッチ、ルータ、セキュリティ コンポーネントなど。これらのコンポーネントを最初にアップグレードして、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムのコンポーネントが必要とするサービスをインフラストラクチャがサポートできるようにする必要があります。
2. Cisco Unified Communications Manager Express、PSTN ゲートウェイ、およびシスコ ゲートキーパー



(注) これらのコンポーネントを最初にアップグレードして、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムのコンポーネントが必要とするサービスをインフラストラクチャがサポートできるようにする必要があります。

3. ネットワーク管理コンポーネント
4. Unified Communications Manager などの呼処理コンポーネント
5. Cisco Unified Contact Center Express
6. Cisco Unity コンポーネントなどのアプリケーション サーバ（セキュリティ アプリケーションは含まれていません）
7. Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント
8. Cisco Unified Video Advantage などのアプリケーション クライアント
9. MCS サーバ上で共存するシスコのアプリケーション

コンポーネントのアップグレード順序の詳細については、第 6 章「システムアップグレードの実行」を参照してください。

IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード シーケンスは、次の点を考慮して決定する必要があります。

- これらのコンポーネントが提供するサービスの重要性。たとえば、基本的な電話サービスは、補足サービスやボイス メッセージ サービスよりも重要であるとみなされます。
- これらのコンポーネントのソフトウェア リリースの下位互換性。詳細については、「[下位互換性の問題](#)」を参照してください。
- 「[アップグレードリリースバージョン](#)」を参照します。各コンポーネントを Unified Communications Manager のアップグレードの前後どちらでアップグレードする必要があるか、またはそのようなアップグレード順序が重要でないかについて、ベース リリース セットごとに説明します。

システムアップグレードの依存関係

各リリースセット内のコンポーネントは、互いに互換性があり、正常に相互運用できます。たとえば、特定のベースリリースセット内のコンポーネントは相互に互換性があり、相互運用できます。また、ターゲットリリースセット内のコンポーネントは相互に互換性があり、相互運用できます。

マルチステージシステムアップグレードおよびマルチサイト移行アップグレードでは、各段階(メンテナンス期間)でリリースセット内の一部のコンポーネントだけをアップグレードします。そのため、これらのアップグレードでは特に、下位の互換性や非互換性の影響も考慮に入れて操作の順序を決める必要があります。下位互換性の詳細については、この項の後半で説明します。

統合システムの各コンポーネントをアップグレードする場合、一部のコンポーネントを次のリリースレベルにアップグレードしたあと、それらのコンポーネントを以前のリリースレベルのままのコンポーネントと相互運用できないと、システム全体がサービス低下状態で動作する可能性があります。

先にアップグレードするコンポーネントは、以前のリリースレベルのままである他のコンポーネントと相互運用できる必要があります。たとえば、Unified Communications Manager はゲートウェイの前にアップグレードします。そのため、Unified Communications Manager は、次のリリースレベルになっても、アップグレードされておらず以前のリリースレベルのままのゲートウェイと相互運用できる必要があります。

互換性の詳細については、「[アップグレードリリースバージョン](#)」の項を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager のアップグレードと互換性に関する考慮事項

Cisco Unified Communications Manager は、アップグレードシーケンスの初期にアップグレードされるため、シスコユニファイドコミュニケーションソフトウェアリリースバージョンを実行する他のコンポーネントとの互換性を備えている必要があります。

移行に関する一般的な注意事項

アップグレード前/再インストール移行

次の場合、Unified Communications Manager をアップグレードする前に、シスコユニファイドコミュニケーションシステムの再インストールまたは移行が可能です。

- 既存のアプリケーションバージョンと既存の Unified Communications Manager バージョン間に互換性がある。
- 既存のアプリケーションバージョンと Unified Communications Manager の新しいバージョン間に互換性がない。
- 新しいアプリケーションバージョンと Unified Communications Manager の新旧バージョンの両方の間に互換性がある。

アップグレード後/再インストール移行

次の場合、Unified Communications Manager をアップグレードしたあとで、シスコユニファイドコミュニケーションシステムの再インストールまたは移行を行う必要があります。

- 既存のアプリケーションバージョンと既存の Unified Communications Manager バージョン間に互換性がある。
- 既存のアプリケーションバージョンと Unified Communications Manager の新しいバージョン間に互換性がない。

- 新しいアプリケーションバージョンと Unified Communications Manager の新しいバージョン間に互換性はあるが、既存のバージョンとの間には互換性がない。

Unified Communications Manager の互換性および相互運用性については、次のサイトを参照してください。

Cisco Unified Communications Manager Compatibility Information

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_device_support_tables_list.html

Unified Communications Manager Release 4.x から Unified Communications Manager Release 7.0(1) へのアップグレード

IPC Systems Test Release 4.x から Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) にアップグレードする場合は、Cisco Unified Communications Manager に関する次の制約事項に注意してください。

- Cisco Unified Communications Manager のクラスタが 1 対 1 の冗長モデルで構成されている場合は、アップグレード中のダウンタイムを最小限に抑えることができます。これを行うには、プライマリ サブスクリバとバックアップ サブスクリバの間でデバイス登録の負荷を分散させます。この方法により、いずれかのサブスクリバサーバで障害が発生したり、メンテナンスのための停止が行われたりした場合、残りのサブスクリバにフェールオーバーしなければならないのは、半分のデバイスだけであり、すべてのデバイスが引き続き動作できることが保証されます。
- シスコシステムズによって認定されているソフトウェアに限り、システム インストーラでアップロードして処理できます。以前の Unified Communications Manager 4.x バージョンで使用していたサードパーティまたは Windows ベースのソフトウェア アプリケーションを、現在の Unified Communications Manager 7.0(1) リリース バージョンでインストールしたり使用したりすることはできません。
- アップグレードを実行する前に、Backup and Restore System (BARS) を使用して、Unified Communications Manager データを外部ネットワーク ディレクトリにバックアップすることを推奨します。この方法により、アップグレードが失敗した場合のデータ損失を防止できます。
- Cisco Unified Communications Manager Upgrade Utility を使用して、Cisco Unified Communications Manager クラスタに含まれるサーバの状態を検出してから、Cisco Unified Communications Manager へのアップグレードを実行します。このユーティリティによって、Cisco Unified Communications Manager のアップグレードが失敗する原因になりかねない問題を特定できます。クラスタ内のすべてのサーバが検証に合格してから、サーバをアップグレードすることを推奨します。
- Cisco CDR Analysis and Reporting (CAR) データを Unified Communications Manager 7.x に移行させる場合は、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ サーバに CAR プラグインがインストールされていることを確認してから、Data Migration Assistant (DMA) をインストールして実行します。CDR レコードを Unified Communications Manager 7.x に持ち込む必要がない場合は、CDR レコードを削除してから DMA を実行することを推奨します。
- Data Migration Assistant (DMA) を使用して、Unified Communications Manager 4.x バージョンから 7.x バージョンへ、Cisco Unified Communications Manager データを移行させます。アップグレードを実行する前に、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ サーバに DMA をインストールして実行する必要があります。
- DMA は次のファイルについてはエクスポートしません。
 - カスタム MoH (Music on Hold; 保留音) ファイル
 - カスタム電話のファームウェア (シスコのオプション パッケージ ファイル)
 - カスタム バックグラウンド ピクチャ

アップグレードの前に、これらのファイルを外部ネットワーク ディレクトリに移します。さらに、アップグレードのあとで、これらのファイルを再びシステムにアップロードします。

- DMA は、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ サーバ上のファイルを移行させません。DMA の実行前に、サブスクリバからパブリッシャにこれらのファイルを移動させる必要があります。

- Cisco Unified Communications Manager と Unified Communications Manager の混在環境で、Cisco Emergency Responder クラスタ化を使用している場合、Cisco Emergency Responder 1.3(x) は Cisco Emergency Responder 2.0(3) または Cisco Emergency Responder 7.0 が動作している Cisco Emergency Responder クラスタに参加できません。Cisco Emergency Responder 1.3 は、Cisco Emergency Responder 1.2(x) または Cisco Emergency Responder 1.1(x) が動作している Cisco Emergency Responder クラスタには参加できません。Cisco Emergency Responder をアップグレードする前に、新しい Cisco Emergency Responder リリース バージョンをサポートする 4.1 以降のリリースに、Cisco Communications Manager クラスタをアップグレードすることも必要になる場合があります。
- Unified Contact Center Express (従来の Cisco Customer Response Solutions) 4.0(2)SR1 は Unified Communications Manager 7.0(1) をサポートしません。また、Unified Contact Center Express 7.0(1) は Unified Communications Manager 4.x をサポートしません。長期間にわたるサービス停止を避けるには、Unified Communications Manager とそのコンポーネントをアップグレードした後、同じメンテナンス期間中に Cisco Unified Contact Center Express システムのフレッシュインストールを実行する必要があります。
- Cisco Unity Express をアップグレードする場合は、ターゲット リリース セットに含まれているバージョン 2.3.x への暫定アップグレードを実行してから、バージョン 3.1 にアップグレードします。
- Cisco IP Communicator 2.1(x) では、次の機能がサポートされます。
 - SIP 機能
 - Unified IP Phone 5.0(3) 電話機能
- Cisco Emergency Responder をアップグレードする場合は、最初にバージョン 1.3(x) にアップグレードする必要があります。その後、リリース セット バージョン 2.0(3) またはリリース セット バージョン 7.0 にアップグレードできます。
- Unified IP Phone の電話ライセンスが Unified Communications 4.x データベースに設定されていない場合は、Data Migration Assistant を実行する前にライセンスを設定し、ツールがこれらのライセンスを検出して取得できるようにします。
- Unified Communications Manager サーバをアップグレードする場合は、Unified IP Phone のソフトウェアが、Unified Communications Manager に付属のバージョンに自動的にアップグレードされることに注意してください。

Cisco Unified Communications Manager Release 5.x から Cisco Unified Communications Manager Release 7.0(1) へのアップグレード

Cisco Unified Communications System Release 5.x から Release 7.0(1) にアップグレードする場合は、Cisco Unified Communications Manager に関する次の制約事項を考慮してください。

- Unified Communications Manager では、ソフトウェアのインストールおよびアップグレードはすべて、Software Upgrade メニュー オプションを使用して実行する必要があります。シスコシステムズによって認定されているソフトウェアに限り、システム インストーラでアップロードして処理できます。
- アップグレードを実行する前に、Disaster Recovery Framework を使用して、Unified Communications Manager および CDR Analysis and Reporting (CAR) のデータベースを外部ネットワーク ディレクトリにバックアップすることを推奨します。この方法により、アップグレードが失敗した場合のデータ損失を防止できます。
- Unified Communications Manager のクラスタが 1 対 1 の冗長モデルで構成されている場合は、アップグレード中のダウンタイムを最小限に抑えることができます。これを実現するには、最初のノード (プライマリ) と後続バックアップ ノード (サブスクリバ) の間でデバイス登録の負荷を分散させます。この方法により、いずれかの後続ノード サーバで障害が発生したり、メンテナンスのための停止が行われたりした場合、残りのサブスクリバにフェールオーバーしなければならないのは、半分のデバイスだけであり、すべてのデバイスが引き続き動作できることが保証されます。

- Cisco Unified Contact Center Express 7.0(1) と Windows 2003 オペレーティングシステムの両方を新しくインストールする必要がありますが、データ移行用の移行パスがあります。Cisco Unified Contact Center Express システムは、Unified Communications およびそのコンポーネントをアップグレードしたあとでインストールする必要があります。
- 1対1の冗長モデルで構成された Unified Communications Manager クラスタをアップグレードする場合は、最初のノードを必ず最初にアップグレードする必要があります。アップグレードした最初のノードをリブートする前に、すべての後続ノードを同時にアップグレードします。これらの後続ノードもリブートしません。クラスタのすべてのノードをアップグレードしたあとで、次の作業を順番どおりに行います。
 - 最初のノードでリブートして、バージョンを Unified Communications Manager 7.0(1) に切り替え、最初のノードが初期化されて完全に機能するようになるまで待ちます。
 - アップグレードライセンス、および必要な他のライセンスをインストールします。
 - TFTP サーバおよび MoH サーバから先にリブートし、Unified Communications Manager 7.0(1) に切り替えます。
 - TFTP サーバが完全に設定ファイルを構築するまで待ちます。
 - 後続のバックアップおよび呼処理ノードでリブートし、バージョンを Unified Communications Manager 7.0(1) に切り替えて、これらのサーバが完全に初期化されるまで待ちます。
 - クラスタ内の残りのアクティブな後続呼処理ノードでリブートし、バージョンを Unified Communications Manager 7.0(1) に切り替えて、アップグレードを完了します。
- Cisco Unified Communications Manager 5.1(3) リリースを Cisco Unified Communications Manager 7.0(1) にアップグレードしたあとで、Cisco Unified Communications Manager 7.0 のソフトウェア機能ライセンス ファイルをアップロードし、Cisco Unified Communications Manager サービスを再起動します。これらの作業を実行するまで、Cisco Unified Communications Manager サービスはアクティブになりません。ライセンスの詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』のライセンスの章を参照してください。
- Cisco Emergency Responder 1.3(2) を Cisco Emergency Responder 7.0(1) にアップグレードしたあとで、Cisco Emergency Responder 7.0(1) のソフトウェア機能ライセンス ファイルをアップロードし、Cisco Emergency Responder サービスを再起動します。これらの作業を実行するまで、Cisco Emergency Responder サービスはアクティブになりません。
- Cisco IP Communicator 2.0(x) では、次の機能がサポートされます。SIP 機能および Unified IP Phones 5.0(3) 電話機能
- Cisco Unified MobilityManager は移行パスがないので、Unified MobilityManager のすべてのユーザを Unified Communications Manager の組み込み機能に手動で移行させる必要があります。
- Cisco Unified MeetingPlace Video Integration は、次のものをサポートしています。
 - Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540 4.x リリース。これは現在、単一の会議で複数の EMP を使用できるようにするカスケード MCU (仮想) 機能を提供しません。
 - Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545 5.x リリース。これは、仮想 MCU 機能を提供します。

仮想 MCU 機能が不要な場合は、ハードウェアおよびソフトウェアを Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545 5.x リリースにアップグレードする必要はありません。
- Unified Communications Manager サーバをアップグレードする場合は、Unified IP Phone のソフトウェアが、Unified Communications Manager に付属のバージョンに自動的にアップグレードされることに注意してください。

Cisco Unified Communications Manager Release 6.x から Cisco Unified Communications Manager Release 7.0(1) へのアップグレード

Cisco Unified Communications System Release 6.0(1) から Release 7.0(1) にアップグレードする場合は、Cisco Unified Communications Manager に関する次の制約事項に注意してください。

- Unified Communications Manager では、Unified OS Administrator GUI または CLI インターフェイスのどちらかから Software Upgrade メニュー オプションを使用して、すべてのソフトウェアインストールとアップグレードを行う必要があります。シスコシステムズによって認定されているソフトウェアに限り、システム インストーラでアップロードして処理できます。
- アップグレードを実行する前に、Disaster Recovery Framework を使用して、Unified Communications Manager および CDR Analysis and Reporting (CAR) のデータベースを外部ネットワーク ディレクトリにバックアップすることを推奨します。この方法により、アップグレードが失敗した場合のデータ損失を防止できます。
- Unified Communications Manager のクラスタが 1 対 1 の冗長モデルで構成されている場合は、アップグレード中のダウンタイムを最小限に抑えることができます。これを行うには、最初のノード (プライマリ) と後続のバックアップ ノード (サブスクライバ) の間でデバイス登録の負荷を分散させます。この方法により、いずれかの後続ノード サーバで障害が発生したり、メンテナンスのための停止が行われたりした場合、残りの後続ノードにフェールオーバーするのは、半分のデバイスだけであり、すべてのデバイスが引き続き動作できます。
- Cisco Unified Communications Manager 6.x リリースを Cisco Unified Communications Manager 7.0(1) にアップグレードしたあとで、Cisco Unified Communications Manager 7.0 のソフトウェア機能ライセンス ファイルをアップロードし、Cisco Unified Communications Manager サービスを再起動します。これらの作業を実行するまで、Cisco Unified Communications Manager サービスはアクティブになりません。ライセンスの詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』のライセンスの章を参照してください。
- Cisco Emergency Responder 2.0(x) を Cisco Emergency Responder 7.0(1) にアップグレードしたあとで、Cisco Emergency Responder 7.0(1) のソフトウェア機能ライセンス ファイルをアップロードし、Cisco Emergency Responder サービスを再起動します。これらの作業を実行するまで、Cisco Emergency Responder サービスはアクティブになりません。
- Unified Communications Manager のクラスタをアップグレードする場合は、最初のノードを必ず最初にアップグレードする必要があります。最初のノードをアップグレード後にリポートする前に、すべての後続ノードを同時にアップグレードします。これらの後続ノードもリポートしません。

クラスタ内のすべてのノードをアップグレードしたあと、次の作業を順序どおりに実行します。

1. 最初のノードでリポートして、バージョンを Unified Communications Manager 7.0(1) に切り替え、そのノードが初期化されて完全に機能するようになるまで待ちます。
2. アップグレードライセンス、および必要な他のライセンスをすべてインストールします。
3. リポートし、バージョンを Unified Communications Manager 7.0(1) に切り替えます。この手順は、まず TFTP および Music-On-Hold (MOH; 保留音) サーバで実行します。
4. TFTP サーバが完全に設定ファイルを構築するまで待ちます。
5. 後続のバックアップおよび呼処理サーバでリポートし、バージョンを Unified Communications Manager 7.0(1) に切り替えて、これらのサーバが完全に初期化されるまで待ちます。
6. クラスタ内の残りのアクティブな呼処理サーバでリポートし、バージョンを Unified Communications Manager 6.1(1a) に切り替えて、アップグレードを完了します。



(注) 推奨アップグレード手順の詳細については、次の URL から『*Cisco Unified Communications SRND based on Cisco Unified Communications Manager 7.x*』の「Call Processing」の章を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/netsol/ns656/networking_solutions_program_home.html

■ システムアップグレードの依存関係

- Unified Communications Manager サーバをアップグレードする場合は、Unified IP Phone のソフトウェアも、Unified Communications Manager に付属のバージョンに自動的にアップグレードされることに注意してください。

Cisco Unified Presence に関する考慮事項

Unified Presence をアップグレードする場合の考慮事項は、次のとおりです。

- Unified Presence のアップグレードは Unified Communications Manager をアップグレードする前に行います。Unified Communications Manager Release 7.0(1) は Unified Presence Release 1.x との間に下位互換性がないからです。
- Unified Communications Manager のアップグレード後、Unified Presence の Serviceability Page を使用して、Intercluster Sync Agent をいったん停止してから再起動します。この手順によって、Unified Communications Manager 5.x と 6.x 間でデータベーススキーマが異なるために必要にな、再初期化と再同期が完了します。
- Unified Communications Manager 上で SIP Trunk Destination Port を 5060 に変更します。これは、Unified Presence Release 7.0(1) の SIP トランク リスニング ポートが 5060 に変更されたからです。
- Unified Presence クラスターの両方のノードをアップグレードします。順序は最初のノードが先で、そのあとで後続ノードです。

Unified Presence Release 7.0(1) では、プロキシ プロファイルの設定が不要です。Unified Presence Release 6.0(1) から 7.0(1) にアップグレードする場合は、設定されているプロキシ プロファイルを削除します。Release 7.0(1) ではこれらのプロキシ プロファイルにアクセスできません。また、使用されることもありません。

Cisco Unified IP Phone に関する考慮事項

Unified IP Phone をアップグレードする場合の考慮事項は、次のとおりです。

- Unified IP Phone の電話ライセンスが Unified Communications 4.x データベースに設定されていない場合は、Data Migration Assistant を実行する前にライセンスを設定し、ツールがこれらのライセンスを検出して取得できるようにします。
- Unified Communications Manager サーバをアップグレードする場合は、Unified IP Phone のファームウェアも、Unified Communications Manager にバンドルされているバージョンに自動的にアップグレードされることに注意してください。

SIP Unified IP Phone の詳細、および SCCP 電話機と SIP 電話機の機能の違いについては、次のマニュアルを参照してください。

- 『Cisco 7900 Series IP Phones Maintain and Operate Guides』
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_maintenance_guides_list.html
- 『Cisco 7900 Series IP Phones End-User Guides』
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html
- 『Cisco Unified Communications SRND based on Cisco Unified Communications Manager 6.x』の「IP Telephony Endpoints」の章
www.cisco.com/go/srnd

下位互換性の問題

マルチステージシステムアップグレードのシナリオでは、コンポーネント間の下位互換性など、追加の考慮事項があります。

1つのコンポーネントの特定のバージョンに、別のコンポーネントの以前のバージョンとの下位互換性があると、それら2つのコンポーネントバージョン間でサービスの機能および動作が保持されます。2つのコンポーネントまたはアプリケーション間の下位互換性が原因で、コンポーネントのアップグレード順序が制限されたり、アップグレード中にサービス停止が発生したりすることがあります。

マルチステージシステムアップグレードまたはマルチサイト移行アップグレードのシナリオのように、2つのコンポーネントが別個のメンテナンス期間中にアップグレードされる場合、2つのメンテナンス期間に挟まれた期間中は、システム全体が部分的にアップグレードされた状態で存在します。

この項で説明するように、メンテナンス期間に挟まれた期間中は、2つのコンポーネント間に下位互換性があるかどうかによって、サービス機能が保持されるかが決まります。2つのコンポーネント間に下位互換性がない場合、2つのメンテナンス期間に挟まれた期間中は、サービス停止が発生します。

アップグレードプロセス中に、下位互換性に関連するいくつかの状況（「[下位互換性のシナリオ](#)」を参照）が発生する可能性があります。詳細については、「[互換性ガイド](#)」に示されているコンポーネント互換性マトリクスを参照してください。

下位互換性のシナリオ

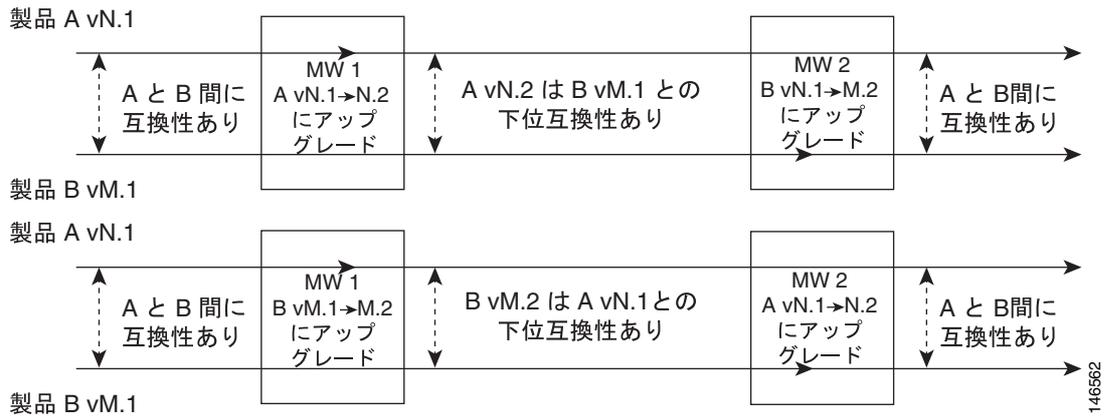
この項では、下位互換性のさまざまなシナリオを示します。

両方の新しいバージョンに下位互換性がある場合

2つのコンポーネントのバージョンが、互いに他のコンポーネントの以前のバージョンとの下位互換性を持っている場合があります。たとえば、Unified MeetingPlace と Unified Communications Manager などです。この場合、アップグレードの順序は、下位互換性による制限を受けません。どちらのコンポーネントを先にアップグレードしてもよく、どちらのコンポーネントも他方のコンポーネントと相互運用できます。[図 5-1](#) を参照してください。

これらのコンポーネントのアップグレードは、複数のメンテナンス期間にわたって実行できます。このタイプのアップグレードについては、[第4章「システムアップグレードの計画」](#)のマルチステージシステムアップグレード方法およびマルチサイト移行アップグレード方法で説明しています。

図 5-1 両方の新しいリリースバージョンに下位互換性がある場合



片方の新しいバージョンだけに下位互換性がある場合

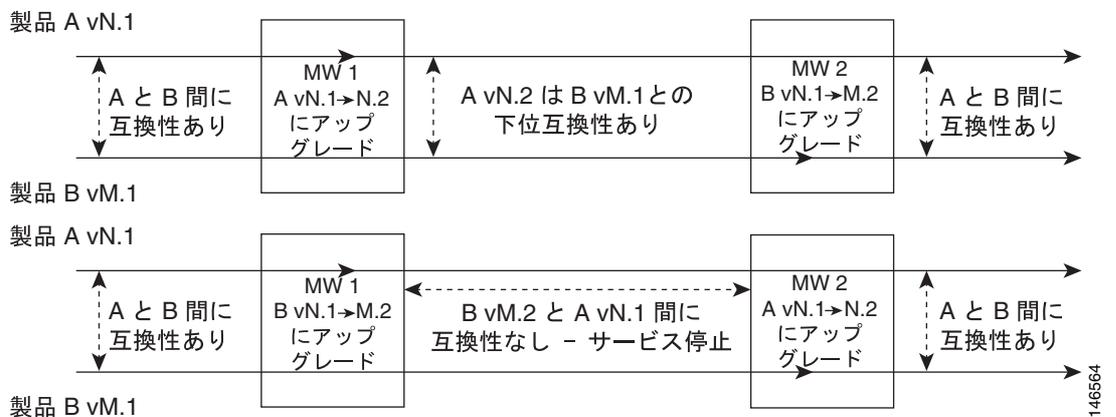
片方の新しいバージョンだけが、他方のコンポーネントの以前のバージョンとの下位互換性を持っている場合があります。このモデルに適合するコンポーネントはありません。

この場合は、アップグレード中のサービス停止を避けるため、下位互換性を持つコンポーネントを先にアップグレードする必要があります。図 5-2 を参照してください。

たとえば、Unified MobilityManager 1.1(1) は Unified Communications Manager 6.0(1) をサポートしないため、Unified MobilityManager 1.1(1) から 1.2(3) へのアップグレードは、Unified Communications Manager 4.1(3)SR2 から Unified Communications Manager 6.0(1) へのアップグレード後に実行する必要があります。

これらのコンポーネントのアップグレードは、2 つの別個のメンテナンス期間にわたって実行できます。このタイプのアップグレードについては、第 4 章「システムアップグレードの計画」のマルチステージ システム アップグレード方法およびマルチサイト移行アップグレード方法で説明しています。

図 5-2 片方の新しいリリースバージョンに下位互換性がある場合



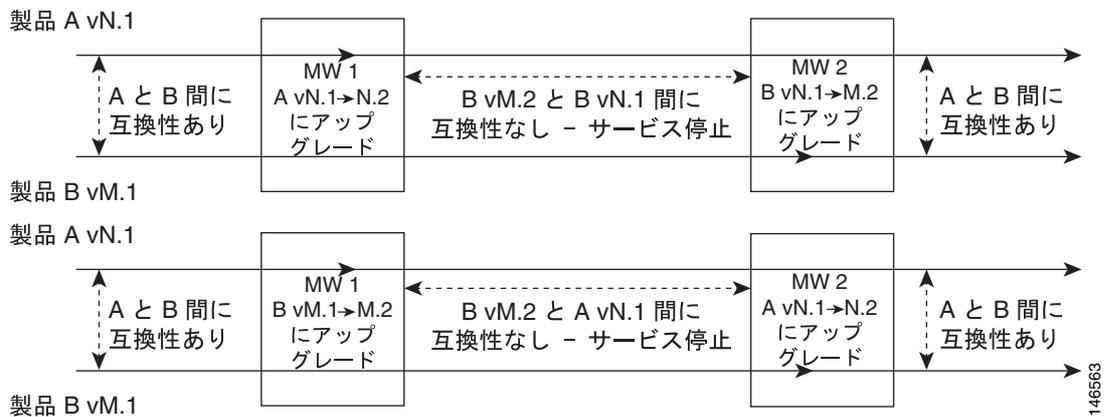
どちらの新しいバージョンにも下位互換性がない場合

どちらの新しいバージョンにも、他方のコンポーネントの以前のバージョンとの下位互換性がない場合があります。たとえば、Unified Contact Center Express と Unified Communications Manager などです。

この場合は、最初の製品がアップグレードされてから 2 番目のコンポーネントがアップグレードされるまでの間、サービス停止状態になります。図 5-3 を参照してください。

たとえば、Unified Contact Center Express (従来の Cisco Customer Response Solutions) 4.0(2) は Unified Communications Manager 6.0(1) をサポートしません。また、Unified Contact Center Express (従来の Cisco Customer Response Solutions) 5.0(1) は Cisco Unified Communications Manager 4.x をサポートしません。どちらのコンポーネントも互いに下位互換性を持たないため、サービス停止を防ぐには、両方のコンポーネントを同じメンテナンス期間中にアップグレードする必要があります。このアップグレードについては、第 4 章「システムアップグレードの計画」の単一ステージアップグレード方法で説明しています。

図 5-3 どちらの新しいリリースバージョンにも下位互換性がない場合



146563

■ アップグレードリリースバージョン

アップグレードリリースバージョン

この項の各表では、ベース リリース セットおよびターゲット リリースセット内のコンポーネントのリリースバージョンを示し、Unified Communications Manager 7.0(1) に関連する追加の互換性情報およびアップグレードシーケンス情報を提供します。

各表には、次の情報が含まれています。

- カラム 1 アップグレード プロセスに関連する IP テレフォニー コンポーネント
- カラム 2 ベース リリース セット内のコンポーネントのリリースバージョン
- カラム 3 ターゲット リリース セット内のコンポーネントのリリースバージョン
- カラム 4 ベース リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネントが、ターゲット リリース内の Unified Communications Manager のバージョンとの互換性を持っているかどうか。
- カラム 5 Unified Communications Manager に対する IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード順序。「任意」は、Unified Communications Manager のアップグレードの前後どちらでも、そのコンポーネントをアップグレードできることを意味します。

Release 4.2 と Release 7.0(1) のソフトウェア リリース セット

表 5-1 に、IPC Systems Test Release 4.2 および Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) の各リリース セット内に存在する IP テレフォニー コンポーネントのソフトウェアバージョンを示します。

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.2 および Release 7.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.2 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Communications Manager	4.1(3)SR2	7.0(1)	あり	—
Cisco Unified Communications Manager Cisco IP Telephony Operating System	2000.2.7SR8	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Contact Center Express	4.0(2)	7.0(1) SR1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後、Unified Communications Manager と同じメンテナンス期間中に Cisco Unified Contact Center Express のフレッシュインストールを実行
Cisco Unified Contact Center Express Cisco IP Telephony Operating System	2000.2.7SR8	2003.1.2a SR9	—	—
Cisco Emergency Responder	1.2(3)SR2	7.0(1)	あり	Unified Communications Manager のあと

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.2 および Release 7.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.2 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Presence	未使用	7.0	—	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unity、 Unity CM-TSP	4.1.1 / 8.0(2)	7.0(2), 8.3(1)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード Unified Communications Manager のあとで Unity をアップグレード
Cisco Unity、 Microsoft Exchange	Microsoft Exchange 2003 SP3	Microsoft Exchange 2003 SP2 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上) および Microsoft Exchange 2000SP1 または Exchange 2003SP2 (他のメッセージストアサーバ上)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity、 IBM/Lotus Domino ¹	6.0.5 (DUCS 1.2.3 を併用)	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	あり	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity Bridge	3.0(6)	未使用 ²	—	—
Cisco Unity Bridge のオペレーティング システム	Win2003	未使用	—	—
Cisco Unity Express	2.1.2	3.2	あり	After Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express のあと
Cisco Unity Connection	1.1(1)	7.0 ³	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified Messaging Gateway	未使用	1.0.2	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace Express	未使用	2.0(3)	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace	5.3	7.0	あり	任意

■ アップグレードリリースバージョン

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.2 および Release 7.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.2 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Video Conferencing	4.0	6.0	あり	Unified Communications Manager のアップグレード後にフレッシュインストール
Cisco Unified Communications Manager Express	3.3 / 12.4(3b)	7.0/12.4(20)T ⁴	あり	任意
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (Unified SRST)	3.3 / 12.4(3b)	7.0/12.4(20)T ⁴	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Multipoint Control Unit (MCU) 3511 および統合された Enhanced Media Processor (EMP) ¹	MCU 4.1.9 / EMP 3.1.2	未使用	—	—
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3521 (ISDN BRI)	4.0.0.40	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3526 (ISDN PRI)	4.0.0.40	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540	4.0.31	4.2.10	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545	未使用	5.1.0.0.54	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco 2610XM、2611XM、2620XM、2621XM、2650XM、2651XM、2691 (ルータ)	12.4(3b)	未使用	—	—
Cisco 2801、2811、2821、2851、3825、3845 (ルータ、音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	12.4(20)T	あり	任意
Cisco IOS Mainline Release	—	12.4(18c) ⁵		
Cisco IOS Firewall	12.4(3b)	12.4(20)T1	あり	任意
Cisco 3660 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	—	—	—
Cisco 3725 (ゲートキーパー)	12.4(7b)	—	—	—
Cisco 3745 (ゲートキーパー)	12.4(3b)	12.4(15)T ⁷ ⁶	あり	任意
Cisco 3725、3745 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	12.4(15)T ⁷ ⁶	あり	任意
Cisco 3725、3745 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(3b) / Advanced Enterprise Services パッケージ	12.4(15)T ⁷ ⁶	あり	任意

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.2 および Release 7.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.2 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco 3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	2.4(3b) / Advanced Enterprise Services パッケージ	12.4(20)T		
Cisco 7206VXR (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	12.4(20)T	あり	任意
Cisco Catalyst 3500XL (アクセス スイッチ)	12.0(5)WC12	12.0(5)WC17	あり	任意
Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.1(25)SEC2	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	未使用	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3750 (データセンター スイッチ)	12.2(25)SEE1	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(25)EWA5	12.2(25)EWA8	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (音声アクセス スイッチ、Supervisor 2 / MSFC2)	CatOS 8.5(4) / 12.2(18)SXE4	Cat OS 8.6.3 / 12.2.(18)SXF9	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (コア スイッチ、Supervisor 720)	12.2(18)SXE4	12.2(18)SXF9 (ネイティブモード)	あり	任意
Cisco Catalyst Communication Media Module	12.4(3b)	12.4(15)T ⁶	あり	任意
Cisco Catalyst 6500 シリーズ Firewall Service Module	未使用	4.0(3) ⁷	—	任意
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	Cisco Unified Communications Manager に付属	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	任意
Cisco Catalyst Express 500	12.2.25FY	未使用	—	—
Cisco VG224 アナログ電話ゲートウェイ	12.4(3b)	12.4(20)T	あり	任意
Cisco VG248 アナログ電話ゲートウェイ	1.3(1)	1.3(2)	あり	任意
Cisco ATA 186、188 (アナログ電話アダプタ)	3.2(1)	未使用	—	—
Cisco Security Agent Unified Communications Manager	4.5.1.639 / 2.0(3)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Security Agent Cisco Emergency Responder	4.5.1.639/2.0(3)	Cisco Emergency Responder にバンドル	—	—
Cisco Security Agent Cisco Unified Contact Center Express	4.5.1.639 / 2.0(3)	5.0.0.216-3.0.4	—	—

■ アップグレードリリースバージョン

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.2 および Release 7.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.2 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Security Agent Cisco Unity	4.0.1.539 / 1.1.3 以降	4.5.1.639-2.0.3	—	—
Cisco Adaptive Security Appliance (ASA)	未使用	8.0(4)	—	—
Cisco Unified Mobility	1.1(1)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Operations Manager	未使用	2.1 ⁸	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Service Monitor	未使用	2.1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Provisioning Manager	未使用	1.3	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Service Statistic Manager	未使用	1.1	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco netManager Unified Communications	未使用	1.1	—	
Cisco Resource Management Essentials (RME)	未使用	4.0.5	—	任意
Cisco Unified IP Phone	Cisco Unified Communications Manager に付属	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Application Environment	未使用	2.5(1)	あり	新規インストール
Cisco Aironet 1200G アクセスポイント (AP)	12.3(4)JA	12.3(8)JA	あり	任意
Cisco IP Communicator	1.1(4)	2.2	あり	任意
Cisco Unified Personal Communicator	未使用	7.0	—	任意
Cisco Unified Video Advantage	1.0(2)	2.1.1	あり	任意

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.2 および Release 7.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.2 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
McAfee Antivirus	Enterprise 7.1.0 Engine 4.4.00	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン : 11	—	—

1. EUEM サイト モデルだけでテスト済みです。
2. 「未使用」とは、可用性が欠如している、サポート終了日が過ぎている、そのリリース セットのテスト要件ではないなどのさまざまな理由で、その特定のテスト環境でテストされなかったコンポーネントを示します。
3. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる Engineering Special または Service Release で、CSCsr83757 の障害に対処できます。
4. Cisco IOS Firewall のバージョンは 12.4(20)T1 です。
5. IOS Mainline Release 12.4(18b) は、IP テレフォニー環境で実行するロールバック テストに含まれる、追加の基本 PSTN 機能および負荷テストに使用されていました。
6. Cisco IOS Release 12.4(15)Tx は、Cisco 37xx シリーズおよび Communications Media Module プラットフォームでサポートされる最終リリースです。これらのコンポーネントは Release 12.4(20)T ではサポートされません。
7. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる予定です。
8. CSCsh72308 の障害を修正するパッチが使用可能です。パッチの入手方法については、この障害の回避策を参照してください。

Release 4.4 と Release 7.0(1) のソフトウェア リリース セット

表 5-2 に、IPC Systems Test Release 4.4 および Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) の各リリース セット内に存在する IP テレフォニー コンポーネントのソフトウェア バージョンを示します。

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 4.4 および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Communications Manager	4.2(3)	7.0(1)	あり	—
Cisco Unified Communications Manager Cisco IP Telephony Operating System	2000.4.3 SR2	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Contact Center Express	4.0(4) SR1	7.0(1) SR1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後、Unified Communications Manager と同じメンテナンス期間中に Cisco Unified Contact Center Express のフレッシュ インストールを実行
Cisco Unified Contact Center Express Cisco IP Telephony Operating System	2000.2.7SR8	OS 2003.1.2a SR9	—	—

■ アップグレードリリースバージョン

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 4.4 および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Emergency Responder	1.3(1a)	7.0(1)	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified Presence	未使用	7.0(1)	—	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unity、Unity CM-TSP	4.2(1)/8.1(3)	7.0(2), 8.3(1)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード Unified Communications Manager のあとで Unity をアップグレード
Cisco Unity、Microsoft Exchange	Microsoft Exchange 2003 SP3	Microsoft Exchange 2003 SP2 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上) および Microsoft Exchange 2000SP1 または Exchange 2003SP2 (他のメッセージストアサーバ上)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity、IBM/Lotus Domino ¹	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	あり	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity Bridge	3.1(1)	未使用 ²	—	—
Cisco Unity Bridge のオペレーティング システム	Win2003	未使用	—	—
Cisco Unity Express	2.3(1)	3.2	あり	After Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express のあと
Cisco Unity Connection	1.2(1)	7.0 ³	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified Messaging Gateway	未使用	1.0.2	あり	任意

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 4.4 および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified MeetingPlace Express	1.1(2)	2.0(3)	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace	5.3	7.0(x)	あり	任意
Cisco Unified Video Conferencing	4.2.10	6.0	あり	Unified Communications Manager のアップグレード後にフレッシュ インストール
Cisco Unified Communications Manager Express	3.3/IOS 12.4(3b)	7.0/12.4(20)T ⁴	あり	任意
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (Unified SRST)	3.3/IOS12.4(3b)	7.0/12.4(20)T ⁴	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Multipoint Control Unit (MCU) 3511 および統合された Enhanced Media Processor (EMP) ¹	MCU 4.2.10 / EMP 4.2.8.1	未使用	—	—
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3521 (ISDN BRI) ¹	4.0.0.40	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3526 (ISDN PRI) ¹	4.0.0.40	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540	4.2.10	4.2.10	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545	未使用	5.1.0.0.54	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco 2610XM、2611XM、2620XM、2621XM、2650XM、2651XM、2691 (ルータ)	12.4(3b)	未使用	—	—
Cisco 2801、2811、2821、2851、3825、3845 (ルータ、音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	12.4(20)T ⁴	あり	任意
Cisco IOS Mainline Release	—	12.4(18c) ⁵		
Cisco 3660 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	未使用	—	—
Cisco 3725 (ゲートキーパー)	12.4(7b)	未使用	—	—
Cisco 3745 (ゲートキーパー)	12.4(3b)	12.4(15)T ⁷ ⁶	あり	任意
Cisco 3725、3745 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	12.4(15)T ⁷ ⁶	あり	任意

■ アップグレードリリースバージョン

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 4.4 および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco 3725、3745 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(3b) / Advanced Enterprise Services パッケージ	12.4(15)T7 ⁶	あり	任意
Cisco 3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(3b) / Advanced Enterprise Services パッケージ	12.4(20)T		
Cisco 7206VXR (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	12.4(20)T	あり	任意
Cisco Catalyst 3500XL (アクセス スイッチ)	12.0(5)WC12	12.0(5)WC17	あり	任意
Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.1(25)SEC2	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	未使用	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3750 (データセンター スイッチ)	12.2(25)SEE1	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(25)EWA5	12.2(25)EWA8	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (音声アクセス スイッチ、Supervisor 2 / MSFC2)	CatOS 8.5(4) / 12.2(18)SXE4	Cat OS 8.6.3 /12.2.(18)SXF9	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (コア スイッチ、Supervisor 720)	12.2(18)SXE4	12.2(18)SXF9 (ネイティブモード)	あり	任意
Cisco Catalyst Communication Media Module	12.4(3b)	12.4(15)T7 ⁶	あり	任意
Cisco Catalyst 6500 シリーズ Firewall Service Module	未使用	4.0(3) ⁷	—	任意
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	Cisco Unified Communications Manager に付属	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	任意
Cisco Catalyst Express 500	12.2.25FY	未使用	—	—
Cisco VG224 (アナログ音声ゲートウェイ)	12.4(7b)	12.4(20)T	あり	任意
Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ)	1.3(1) ES8.2	1.3(2)	あり	任意
Cisco ATA 186、188 (アナログ電話アダプタ)	3.2(3)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Security Agent Unified Communications Manager	4.5.1.655/2.0(5) 以降	Unified Communications Manager にバンドル	—	—

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 4.4 および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Security Agent Cisco Emergency Responder	4.5.1.655/2.0(5)	Cisco Emergency Responder にバンドル	—	—
Cisco Security Agent Cisco Unified Contact Center Express	4.5.1.655/2.0(5)	5.2	—	—
Cisco Security Agent Cisco Unity	4.5.1.639 / 2.0(3)	5.2	—	—
Cisco Adaptive Security Appliance (ASA)	未使用	8.0(4)	—	—
Cisco Unified Mobility	1.2(2)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Operations Manager	未使用	2.1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Service Monitor	未使用	2.1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Provisioning Manager	未使用	1.3 ⁸	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Service Statistic Manager	未使用	1.1	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco netManager Unified Communications	未使用	1.1	—	
Cisco Resource Management Essentials (RME)	未使用	4.0.5	—	任意
Cisco Unified IP Phone	Cisco Unified Communications Manager に付属	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Application Environment	未使用	2.5(1)	あり	新規インストール
Cisco Aironet 1200G アクセス ポイント (AP)	12.3(8)JA2	12.3(8)JA	あり	任意

■ アップグレードリリースバージョン

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 4.4 および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco IP Communicator	2.0(1a)	2.1.3	あり	任意
Cisco Unified Personal Communicator	未使用	7.0	—	任意
Cisco Unified Video Advantage	2.0(2)	2.1.1	あり	任意
McAfee Antivirus	Enterprise 7.1.0 Engine 4.4.00	Enterprise 8.0.0 パッチ バージョン : 11	—	—

1. EUEM サイト モデルだけでテスト済みです。
2. 「未使用」とは、可用性が欠如している、サポート終了日が過ぎている、そのリリース セットのテスト要件ではないなどのさまざまな理由で、その特定のテスト環境でテストされなかったコンポーネントを示します。
3. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる Engineering Special または Service Release で、[CSCsr83757](#) の障害に対処できます。
4. Cisco IOS Firewall のバージョンは 12.4(20)T1 です。
5. IOS Mainline Release 12.4(18b) は、IP テレフォニー環境で実行するロールバック テストに含まれる、追加の基本 PSTN 機能および負荷テストに使用されていました。
6. Cisco IOS Release 12.4(15)Tx は、Cisco 37xx シリーズおよび Communications Media Module プラットフォームでサポートされる最終リリースです。これらのコンポーネントは Release 12.4(20)T ではサポートされません。
7. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる予定です。
8. [CSCsh72308](#) の障害を修正するパッチが使用可能です。パッチの入手方法については、この障害の回避策を参照してください。

Release 5.1(3) と Release 7.0(1) のソフトウェア リリース セット

表 5-3 に、Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) および Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) の各リリース セット内に存在する IP テレフォニー コンポーネントのソフトウェア バージョンを示します。

表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(3) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Communications Manager	5.1(3)	7.0(1)	あり	—
Cisco Unified Communications Manager Cisco IP Telephony Operating System	2000.4.3 SR2	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Contact Center Express	4.5(2)	7.0(1) SR1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後、Unified Communications Manager と同じメンテナンス期間中に Cisco Unified Contact Center Express のフレッシュインストールを実行
Cisco Unified Contact Center Express Cisco IP Telephony Operating System	2000.4.3aSR5	OS 2003.1.2a SR9	—	—
Cisco Emergency Responder	1.3(2)	7.0(1)	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified Presence	1.0(3)	7.0(1)	—	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unity、Unity CM-TSP	4.2(1)/8.1(2)	7.0(2), 8.3(1)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード Unified Communications Manager のあとで Unity をアップグレード

■ アップグレードリリースバージョン

表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(3) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unity、 Microsoft Exchange	Microsoft Exchange 2003 SP3 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上)、 Microsoft Exchange 2003 (他のメッセージストア サーバ上)	Microsoft Exchange 2003 SP2 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上) および Microsoft Exchange 2000SP1 または Exchange 2003SP2 (他のメッセージストア サーバ上)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity、 IBM/Lotus Domino ¹	6.5 (DUC 1.2.3 を併用)	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	あり	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity Express	2.3(3)	3.2	あり	After Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express のあと
Cisco Unity Connection	1.2(1)SR2	7.0 ²	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified Messaging Gateway	未使用	1.0.2	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace Express	1.2	2.0(3)	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace	5.4	7.0(x)	あり	任意
Cisco Unified Video Conferencing	5.0	6.0	あり	Unified Communications Manager のアップグレード後にフレッシュ インストール
Cisco Unified Communications Manager Express	4.0(2)/IOS 12.4(11)T3	7.0/12.4(20)T ³	あり	任意
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (Unified SRST)	4.0(2)/IOS 12.4(11)T3	7.0/12.4(20)T ³	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Multipoint Control Unit (MCU) 3511 および統合された Enhanced Media Processor (EMP) ¹	5.0.64	未使用	—	—
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3521 (ISDN BRI) ¹	5.0.0.0.22	5.0.0.0.22	あり	任意

表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(3) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3526 (ISDN PRI) ¹	5.0.0.0.22	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540	5.1.0.0.24	5.1.0.0.24	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545	4.2.10	5.5.0.0.54	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco 2610XM、 2611XM、 2620XM、 2621XM、 2650XM、 2651XM、 2691 (ルータ)	12.4(11)T3	未使用	—	—
Cisco 2801、 2811、 2821、 2851、 3825、 3845 (ルータ、 音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(11)T3	12.4(20)T ³	あり	任意
Cisco IOS Mainline Release	—	12.4(18c) ⁴	—	—
Cisco 3660 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(11)T3	未使用	—	—
Cisco 3725 (ゲートキーパー)	12.4(11)T3	未使用	—	—
Cisco 3745 (ゲートキーパー)	12.4(11)T3	12.4(15)T ⁷ ⁵	あり	任意
Cisco 3725、 3745 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(11)T3	12.4(15)T ⁷ ⁵	あり	任意
Cisco 3725、 3745 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(11)T3 / Advanced Enterprise Services パッケージ	12.4(15)T ⁷ ⁵	あり	任意
Cisco 3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(11)T3 / Advanced Enterprise Services パッケージ	12.4(20)T ³	あり	任意
Cisco 7206VXR (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(11)T3	12.4(20)T	あり	任意
Cisco Catalyst 3500XL (アクセス スイッチ)	12.0(5)WC17	12.0(5)WC17	あり	任意
Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.2(35)SE1	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	未使用	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3750 (データ センター スイッチ)	12.2(35)SE1	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(31)SGA3	12.2(25)EWA8	あり	任意

■ アップグレードリリースバージョン

表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(3) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Catalyst 6506、6509 (音声アクセス スイッチ、Supervisor 2 / MSFC2)	CatOS 8.5(8) / 12.2(18)SXF6	CatOS 8.6.3 / 12.2.(18) SXF9	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (コア スイッチ、Supervisor 720)	12.2(18)SXF9 (ネイティブモード)	12.2(18)SXF9 (ネイティブモード)	あり	任意
Cisco Catalyst Communication Media Module	12.4(11)T3	12.4(15)T ⁵	あり	任意
Cisco Catalyst 6500 シリーズ Firewall Service Module	3.1.6	4.0(3) ⁶	—	任意
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	Cisco Unified Communications Manager に付属	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	任意
Cisco VG224 (アナログ音声ゲートウェイ)	12.4(11)T3	12.4(20)T	あり	任意
Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ)	1.3(2)	1.3(2)	あり	任意
Cisco ATA 186、188 (アナログ電話アダプタ)	Unified Communications Manager にバンドル	未使用	—	—
Cisco Security Agent Unified Communications Manager	Unified Communications Manager にバンドル	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Security Agent Cisco Emergency Responder	5.0.0.194-3.0.2	Cisco Emergency Responder にバンドル	—	—
Cisco Security Agent Cisco Unified Contact Center Express	5.0.0.194-3.0.2	5.2	—	—
Cisco Security Agent Cisco Unity	4.5.1.639-2.0.3	5.2	—	—
Cisco Adaptive Security Appliance (ASA)	未使用	8.0(4)	—	—
Cisco Unified Mobility	1.2(5)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Operations Manager	2.0(1)	2.1 ⁷	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール

表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(3) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Service Monitor	2.0	2.1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Provisioning Manager	未使用	1.3	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Service Statistic Manager	未使用	1.1	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco netManager Unified Communications	未使用	1.1	—	
Cisco Resource Management Essentials (RME)	4.0.3	4.0.5	—	任意
Cisco Unified IP Phone	Cisco Unified Communications Manager に付属	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Application Environment	未使用	2.5	あり	新規インストール
Cisco Aironet 1200G アクセス ポイント (AP)	12.3.11-JX1	12.3(8)JA	あり	任意
Cisco IP Communicator	2.0(1)	2.1(3)	あり	任意
Cisco Unified Personal Communicator	1.1(3)	7.0(1)	—	任意
Cisco Unified Video Advantage	2.0(3)	2.1(1)	あり	任意
McAfee Antivirus	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン : 11	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン : 11	—	—

1. EUEM サイト モデルだけでテスト済みです。
2. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる Engineering Special または Service Release で、[CSCsr83757](#) の障害に対処できます。
3. Cisco IOS Firewall のバージョンは 12.4(20)T1 です。
4. IOS Mainline Release 12.4(18b) は、IP テレフォニー環境で実行するロールバック テストに含まれる、追加の基本 PSTN 機能および負荷テストに使用されていました。
5. Cisco IOS Release 12.4(15)Tx は、Cisco 37xx シリーズおよび Communication Media Module プラットフォームでサポートされる最終リリースです。これらのコンポーネントは Release 12.4(20)T ではサポートされません。
6. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる予定です。
7. [CSCsh72308](#) の障害を修正するパッチが使用可能です。パッチの入手方法については、この障害の回避策を参照してください。

■ アップグレードリリースバージョン

Release 5.1(1) と Release 7.0(1) のソフトウェアリリースセット

表 5-4 に、Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) および Release 7.0(1) の各リリースセット内に存在する IP テレフォニー コンポーネントのソフトウェアバージョンを示します。

表 5-4 Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) および Release 7.0(1) リリースセット内の IP テレフォニー コンポーネント

シスコユニファイドコミュニケーションシステムコンポーネント名	Release 5.1(1) リリースセット	Release 7.0(1) リリースセット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Communications Manager	6.0(1) ¹	7.0(1)	あり ²	—
Cisco Unified Communications Manager、Cisco IP Telephony Operating System	Unified Communications Manager にバンドル	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Contact Center Express	5.0(1) SR1	7.0(1) SR1	あり	任意
Cisco Unified Contact Center Express、Cisco IP Telephony Operating System	OS 2003.1.1SR4	OS 2003.1.2a SR9	—	—
Cisco Emergency Responder	2.0(1)	7.0(1)	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified Presence	6.0	7.0(1)	あり	任意
Cisco Unity、Unity CM-TSP	5.0, 8.1(3)	7.0(2), 8.3(1)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード Unified Communications Manager のあとで Unity をアップグレード
Cisco Unity、Microsoft Exchange	Microsoft Exchange 2003 SP2 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上) および Microsoft Exchange 2000SP1 または Exchange 2003SP2 (他のメッセージストアサーバ上)	Microsoft Exchange 2003 SP2 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上) および Microsoft Exchange 2000SP1 または Exchange 2003SP2 (他のメッセージストアサーバ上)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity、IBM/Lotus Domino ³	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity Express	3.0(1)	3.2	—	—

表 5-4 Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) および Release 7.0(1) リリースセット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unity Connection ⁴	2.0(1)	7.0	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified MeetingPlace Express	2.0	2.0(3)	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace	6.0	7.0(x)	あり	任意
Cisco Unified Video Conferencing	5.5	6.0	あり	Unified Communications Manager のアップグレード後にフレッシュインストール
Cisco Unified Communications Manager Express	4.1/ IOS 12.4(15)T	7.0/ IOS 12.4(20)T ⁵	あり	任意
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST)	4.1/ IOS 12.4(15)T	7.0/12.4(20)T ⁵	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Multipoint Control Unit (MCU) 3511 および Enhanced Media Processor (EMP) ³	MCU 4.2.10 / EMP 4.2.8 および 4.2.8.1	未使用 ⁶	—	—
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3521 (ISDN BRI) ³	5.0.0.0.22	5.5.0.0.54	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3526 (ISDN PRI) ³	5.0.0.0.22	5.5.0.0.54	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540	4.2.10	4.2.10	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545	5.1.0.0.24 / EMP 5.1.0.0.27	5.1.0.0.24	あり	任意
Cisco 2610XM、2611XM、2620XM、2621XM、2650XM、2651XM、2691 (ルータ)	12.4(15)T	未使用	—	—
Cisco 2801、2811、2821、2851、3825、3845 (ルータ、音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(15)T	12.4(20)T ⁵	あり	任意
Cisco IOS Mainline Release ⁷	—	12.4(18c)		
Cisco 3745 (ゲートキーパー)	12.4(15)T	12.4(15)T ⁷ ⁸	あり	任意
Cisco 3725、3745 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(15)T	12.4(15)T ⁷ ⁸	あり	任意
Cisco 3725、3745 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(15)T	12.4(15)T ⁷ ⁸	あり	任意
Cisco 3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(15)T	12.4(20)T ⁵		

■ アップグレードリリースバージョン

表 5-4 Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) および Release 7.0(1) リリースセット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco 7206 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(15)T	12.4(20)T ⁵	あり	任意
Cisco Catalyst 3500XL (アクセス スイッチ)	12.0(5)WC17	12.0(5)WC17	あり	任意
Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.2(25)SEE3	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	12.2(254)SEE2	12.2(254)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3750 (データ センター スイッチ)	12.2(25)SEE3	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(25)EWA8	12.2(25)EWA8	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (音声アクセス スイッチ、Supervisor 2 / MSFC2)	CatOS 8.5(8) / 12.2(18)SXF8	Cat OS 8.6.3 /12.2.(18)SXF9	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (コア スイッチ、Supervisor 720)	12.2(18)SXF8 (ネイティブモード)	12.2(18)SXF9 (ネイティブモード)	あり	任意
Cisco Catalyst Communication Media Module (CMM)	12.4(15)T	12.4(15)T ⁷	あり	任意
Cisco Integrated Services Router 1861	未使用	12.4(20)T ⁵	あり	任意
Cisco Catalyst 6500 シリーズ Firewall Service Module	3.2	4.0(3) ⁹	あり	任意
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	あり	任意
Cisco VG224 アナログ電話 ゲートウェイ	12.4(15)T	12.4(20)T	あり	任意
Cisco VG248 アナログ電話 ゲートウェイ	1.3(1) ES8.2	1.3(1) ES8.2	あり	任意
Cisco ATA 186、188 (アナログ電話アダプタ)	Unified Communications Manager にバンドル	未使用	—	—
Cisco Security Agent Unified Communications Manager	Unified Communications Manager にバンドル	Unified Communications Manager にバンドル		
Cisco Security Agent Cisco Emergency Responder	Cisco Emergency Responder にバンドル	Cisco Emergency Responder にバンドル	—	—
Cisco Security Agent Cisco Unified Contact Center Express	5.0.0.205-3.0.4	5.2	—	—
Cisco Security Agent Cisco Unity	4.5.1.639-2.0.3	4.5.1.639-2.0.3	—	—

表 5-4 Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) および Release 7.0(1) リリースセット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Adaptive Security Appliance	8.0(2)	8.0(4)	あり	任意
Cisco Unified Mobility	Unified Communications Manager と統合	Unified Communications Manager と統合	—	—
Cisco Unified Operations Manager	2.0(1)	2.1 ¹⁰	あり	任意
Cisco Unified Service Monitor	2.0.1	2.1	あり	任意
Cisco Unified Provisioning Manager	1.1	1.3	—	Unified Communications Manager をアップグレードする前にインストール
Cisco Unified Service Statistics Manager	1.0	1.0	—	—
Cisco Resource Management Essentials (RME)	4.0.5	4.0.5	—	—
Cisco Unified IP Phone	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Aironet 1200G アクセスポイント (AP)	12.3(8)JA	12.3(8)JA	あり	任意
Cisco IP Communicator	2.1	2.1.3	あり	任意
Cisco Unified Personal Communicator	1.2(1)	7.0(1)	あり	任意
Cisco Unified Application Environment	2.4	2.5(1)	あり	任意
Cisco Unified Video Advantage	2.0(2)	2.1(1)	あり	任意
McAfee Antivirus	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン : 11	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン : 11	あり	任意
Berbee Informacast Overhead Paging System (OHPS)	5.0(2)	5.0(2)	あり	任意

- このベース リリースの場合、Unified Communications Manager をいったん暫定バージョンの Release 6.1(2) にアップグレードしてから、ターゲットのリリースバージョンにアップグレードする必要があります。
- マルチサイト分散に適用されます。
- EUEM サイト モデルだけでテスト済みです。
- 2008 年第 4 四半期に利用可能になる Engineering Special または Service Release で、[CSCsr83757](#) の障害に対処できます。
- Cisco IOS Firewall のバージョンは 12.4(20)T1 です。
- 「未使用」とは、可用性が欠如している、サポート終了日が過ぎている、そのリリース セットのテスト要件ではないなどのさまざまな理由で、その特定のテスト環境でテストされなかったコンポーネントを示します。
- IOS Mainline Release 12.4(18b) は、IP テレフォニー環境で実行するロールバック テストに含まれる、追加の基本 PSTN 機能および負荷テストに使用されていました。
- Cisco IOS Release 12.4(15)Tx は、Cisco 37xx シリーズおよび Communication Media Module プラットフォームでサポートされる最終リリースです。これらのコンポーネントは Release 12.4(20)T ではサポートされません。
- 2008 年第 4 四半期に利用可能になる予定です。
- [CSCsh72308](#) の障害を修正するパッチが使用可能です。パッチの入手方法については、この障害の回避策を参照してください。

■ アップグレードリリースバージョン

Release 6.1(1) と Release 7.0(1) のソフトウェア リリース セット

表 5-5 に、Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) および Release 7.0(1) の各リリース セット内に存在する IP テレフォニー コンポーネントのソフトウェア バージョンを示します。

表 5-5 Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 6.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Communications Manager	6.1(1a)	7.0(1)	あり ¹	—
Cisco Unified Communications Manager Business Edition ²	6.1(1)	7.0(1)	—	—
Cisco Unified Communications Manager、Cisco IP Telephony Operating System	Unified Communications Manager にバンドル	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Contact Center Express	5.0(2)	7.0(1) SR1	あり	任意
Cisco Unified Contact Center Express、Cisco IP Telephony Operating System	OS 2003.1.1SR4	2003.1.2a SR9	—	—
Cisco Emergency Responder	2.0(3)	7.0(1)	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified Presence	6.0(2)	7.0(1)	あり	任意
Cisco Unity、Unity CM-TSP	5.0, 8.1(3)	7.0(2), 8.3(1)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード Unified Communications Manager のあとで Unity をアップグレード
Cisco Unity、Microsoft Exchange	Microsoft Exchange 2000 SP4 および Microsoft Exchange 2003 SP2	Microsoft Exchange 2000 SP4 および Microsoft Exchange 2003 SP2	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity、IBM/Lotus Domino ³	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity Express	3.1(1)	3.2	—	—
Cisco Unity Connection	2.1(1)	7.0 ⁴	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified MeetingPlace Express	2.0(2)	2.0(3)	あり	任意

表 5-5 Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 6.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified MeetingPlace	6.0	7.0(x)	あり	任意
Cisco Unified Video Conferencing	5.1	6.0	あり	Unified Communications Manager のアップグレード後にフレッシュインストール
Cisco Unified Communications Manager Express	4.1 / 12.4(15)T3 4.2 / 12.4(11)XW5	7.0/IOS 12/4(20)T	あり	任意
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST)	4.1 / IOS 12.4(15)T 4.2/IOS 12.4(11)XW5	7.0/IOS 12/4(20)T	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3521 (ISDN BRI) ³	5.0.0.0.22	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3526 (ISDN PRI) ³	5.0.0.0.22	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540	4.2.10	4.2.10	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545	5.1.0.0.24 / EMP 5.1.0.0.27	5.1.0.0.24	あり	任意
Cisco 2610XM、2611XM、2620XM、2621XM、2650XM、2651XM、2691 (ルータ)	12.4(15)T3	未使用	—	—
Cisco 2801、2811、2821、2851、3825、3845 (ルータ、音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(15)T3	12/4(20)T ⁵	あり	任意
Cisco IOS Mainline Release	—	12.4(18c) ⁶		
Cisco 3745 (ゲートキーパー)	12.4(15)T3	12.4(15)T ⁷	あり	任意
Cisco 3725、3745 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(15)T3	12/4(15)T ⁷	あり	任意
Cisco 3725、3745 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(15)T3	12/4(15)T ⁷	あり	任意
Cisco 3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(15)T3	12/4(20)T ⁵	あり	任意
Cisco 7206 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(15)T3	12/4(20)T	あり	任意
Cisco Catalyst 3500XL (アクセス スイッチ)	12.0(5)WC16	12.0(5)WC17	あり	任意
Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.2(25)SEE3	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	12.2(254)SEE2	12.2(25)SEE4	あり	任意

■ アップグレードリリースバージョン

表 5-5 Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 6.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Catalyst 3750 (データセンター スイッチ)	12.2(25)SEE3	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(25)EWA7	12.2(25)EWA8	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (音声アクセス スイッチ、Supervisor 2 / MSFC2)	CatOS 8.5(8) / 12.2(18)SXF8	Cat OS 8.6.3 /12.2.(18)SXF9	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (コア スイッチ、Supervisor 720)	12.2(18)SXF8 (ネイティブモード)	12.2(18)SXF9 (ネイティブモード)	あり	任意
Cisco Catalyst Communication Media Module	12.4(15)T3	12/4(15)T7 ⁷	あり	任意
Cisco Integrated Services Router 1861	12.4(11)XW4	12/4(20)T ⁵	あり	任意
Cisco IOS Firewall	12.4(11)XW4	12.4(20)T1	あり	任意
Cisco Catalyst 6500 シリーズ Firewall Service Module	3.2.2	4.0(3) ⁸	あり	任意
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	あり	任意
Cisco VG224 アナログ電話ゲートウェイ	12.4(15)T3	12.4(20)T	あり	任意
Cisco VG248 アナログ電話ゲートウェイ	1.3(1) ES8.2	1.3(1) ES8.2	あり	任意
Cisco ATA 186、188 (アナログ電話アダプタ)	Unified Communications Manager にバンドル	未使用	—	—
Cisco Security Agent Unified Communications Manager	Unified Communications Manager にバンドル	Unified Communications Manager にバンドル		
Cisco Security Agent Cisco Emergency Responder	Cisco Emergency Responder にバンドル	Cisco Emergency Responder にバンドル	—	—
Cisco Security Agent Cisco Unified Contact Center Express	5.0.0.205-3.0.4	5.2	—	—
Cisco Security Agent Cisco Unity	4.5.1.639-2.0.3	4.5.1.639-2.0.3	—	—
Adaptive Security Appliance	8.0(2)	8.0(4)	あり	任意
Cisco Unified Mobility	Unified Communications Manager と統合	Unified Communications Manager と統合	—	—
Cisco Unified Operations Manager	2.0.2	2.1 ⁹	あり	任意

表 5-5 Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 6.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Service Monitor	2.0.1	2.1	あり	任意
Cisco Unified Provisioning Manager	1.2	1.3	—	Unified Communications Manager をアップグレードする前にインストール
Cisco Unified Service Statistics Manager	1.0	1.0	—	—
Cisco Resource Management Essentials (RME)	4.0.5	4.0.5	—	—
Cisco Unified IP Phone	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Aironet 1200G アクセス ポイント (AP)	12.3(8)JA2	12.3(8)JA2	あり	任意
Cisco IP Communicator	2.1	2.1(3)	あり	任意
Cisco Unified Personal Communicator	1.2(1)	7.0(1)	あり	任意
Cisco Unified Application Environment	2.4	2.5(1)	あり	任意
Cisco Unified Video Advantage	2.0(3)	2.1.1	あり	任意
McAfee Antivirus	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン : 11	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン : 11	あり	任意
Berbee Informacast Overhead Paging System (OHPS)	5.0(2)	5.0(2)	あり	任意

1. マルチサイト分散に適用されます。
2. 中間市場ビジネス モデル専用
3. EUEM サイト モデルだけでテスト済みです。
4. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる Engineering Special または Service Release で、[CSCsr83757](#) の障害に対処できます。
5. Cisco IOS Firewall のバージョンは 12.4(20)T1 です。
6. IOS Mainline Release 12.4(18b) は、IP テレフォニー環境で実行するロールバック テストに含まれる、追加の基本 PSTN 機能および負荷テストに使用されていました。
7. Cisco IOS Release 12.4(15)Tx は、Cisco 37xx シリーズおよび Communication Media Module プラットフォームでサポートされる最終リリースです。これらのコンポーネントは Release 12.4(20)T ではサポートされません。
8. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる予定です。
9. [CSCsh72308](#) の障害を修正するパッチが使用可能です。パッチの入手方法については、この障害の回避策を参照してください。

■ アップグレードリリースバージョン



システム アップグレードの実行

このトピックでは、Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) のさまざまな導入モデルで設定されたすべての IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード シーケンスについて詳しく説明します。

個別の IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード手順は、各コンポーネントのアップグレード マニュアルに記載されているため、このマニュアルでは説明していません。適切なアップグレード マニュアルとその URL については、「[関連資料](#)」の項のトピックを参照してください。

この章の内容は、次のとおりです。

- [IP テレフォニー 導入モデル](#)
- [IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード](#)
- [関連資料](#)



(注)

IP テレフォニー コンポーネントの名前の多くは、シスコユニファイド コミュニケーション システムのリリースの一部として変更されています。このマニュアルでは、以前のリリースの製品を指す場合でも、最新の製品名を使用しています。

IP テレフォニー導入モデル

このマニュアル内のアップグレード手順は、IP テレフォニー テスト環境の導入モデルごとにカスタマイズされています。これは、各サイトに含まれているコンポーネントが異なるためです。

シスコ ユニファイド コミュニケーション システムのテスト環境では、次の IP テレフォニー サイトモデルがテストされています。

- IP テレフォニー エンタープライズ向けモデル
- IP テレフォニー 中間市場向けモデル

IP テレフォニー エンタープライズ向けモデル

ここでは、エンタープライズ向け導入モデルにおける各種 IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード手順について説明します。

ターゲット リリース用にテストされた IP テレフォニー 導入およびサイト モデルの詳細には、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/iam/unified/ipt701/ENT/Review_Testing_Site_Models.htm

シスコ ユニファイド コミュニケーション システムの IP テレフォニー テスト環境では、次の導入モデルがテストされています。

- 単一サイト モデル
- SRST を使用した集中型マルチサイト モデル
- 分散型マルチサイト WAN モデル
- WAN を介したクラスタ化モデル

当該の導入に最も適合する導入モデルを選択し、導入に適用されるアップグレード プロセスを判断します。次の各項では、各導入モデル内のコンポーネントの一般的なアップグレード シーケンスと、その他のアップグレード手順の詳細について説明します。

一般的なアップグレード シーケンスを確認したら、「IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード」に記載されているアップグレード方法のいずれかを使用して、コンポーネントをアップグレードします。

単一サイト モデル

IP テレフォニー 単一サイト 導入モデルでは、次の順序でコンポーネントをアップグレードします。

1. Catalyst 6500/6000 スイッチ、ルータ、セキュリティ コンポーネント (Cisco Adaptive Security Appliance や Cisco Catalyst Firewall Service Module (FWSM) など) を含むインフラストラクチャ コンポーネント
2. Cisco Unified Communication Manager Express
3. PSTN ゲートウェイ (IOS、Communications Media Module)
4. ゲートキーパー



(注) 3800 シリーズ サービス統合型ルータには、ゲートキーパー ライセンスが必要です。

5. IP-to-IP Gateway
6. アナログ電話ゲートウェイ (VG224、VG248)
7. Cisco Aironet アクセス ポイント

8. Cisco Unified Operations Manager や Cisco Unified Service Monitor などのネットワーク管理ツール



(注) IP Communications Systems Test 4.x からアップデートする場合は適用されません。

9. Cisco Unified Communications Manager (Cisco Unified IP Phone、 Cisco IP Communicator、 Cisco Catalyst 6500/6000 ゲートウェイ、 および Cisco ATA186/188 アナログ テレフォニー アダプタが同時にアップグレードされます)

10. Cisco Unified Presence
11. Cisco Emergency Responder および保留音
12. Cisco Unified Personal Communicator



(注) IP Communications Systems Release 4.x からアップデートする場合は適用されません。

13. Cisco Unified Video Advantage
14. Cisco Unified Contact Center Express



(注) IP Communications Systems Release 4.x からアップデートする場合は適用されません。

15. Cisco Unity コンポーネントおよび Cisco Unity Connection
16. Cisco Unity-IBM/Lotus Domino



(注) EUEM (European and Emerging Markets) への導入にのみ適用されます。

17. Windows Exchange 2000
18. ドメイン コントローラ (Active Directory を含む)
19. Cisco MeetingPlace コンポーネントおよび Cisco Unified MeetingPlace Express



(注) IP Communications Systems Test Release 4.x からアップデートする場合、 Cisco Unified MeetingPlace Express は適用されません。

20. ビデオ エンドポイント SCCP/H.323/H.320
21. Cisco Unified Videoconferencing ゲートウェイ および Cisco Unified Videoconferencing Multipoint Control Units (MCU)
22. Media Convergence Server (MCS) 上で共存するシスコ アプリケーション (Cisco Security Agent、 JTAPI ソフトウェアなど)
23. MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボード エージェント (アンチウイルス、 パックアップ エージェント、 管理エージェント [SNMP] など)
24. 他のサーバ上で運用するシスコおよびサードパーティの付加アプリケーションまたはエンドポイント (MIND CTI、 SCCP ビデオ エンドポイントなど)

SRST を使用した集中型マルチサイト モデル

集中型マルチサイト モデルでは、中央サイトをアップグレードしてから、リモート SRST サイトをアップグレードする必要があります。

中央サイトごとに、次の順序でコンポーネントをアップグレードします。

1. Catalyst 6500/6000 スイッチ、ルータ、セキュリティ コンポーネント (Cisco Adaptive Security Appliance や Cisco Catalyst Firewall Service Module [FWSM] など) を含むインフラストラクチャ コンポーネント
2. Cisco Unified Communication Manager Express
3. PSTN ゲートウェイ (IOS、Communications Media Module)
4. ゲートキーパー



(注) 3800 シリーズ サービス統合型ルータには、ゲートキーパー ライセンスが必要です。

5. アナログ電話ゲートウェイ (VG224、VG248)
6. Cisco Aironet アクセス ポイント
7. Cisco Unified Operations Manager や Cisco Unified Service Monitor などのネットワーク管理ツール



(注) IP Communications Systems Release 4.x からアップデートする場合は適用されません。

8. Cisco Unified Communications Manager (Cisco Unified IP Phone と Cisco IP Communicator は同時にアップグレードされます)
9. Cisco Unified Presence



(注) IP Communications Systems Release 4.x からアップデートする場合は適用されません。

10. Cisco Emergency Responder および保留音
11. Cisco Unified Personal Communicator



(注) IP Communications Systems Release 4.x からアップデートする場合は適用されません。

12. Unified Contact Center Express
13. Cisco Unity コンポーネントおよび Cisco Unity Connection
14. Cisco Unified MeetingPlace コンポーネントおよび Cisco Unified MeetingPlace Express



(注) IP Communications Systems Test Release 4.x からアップデートする場合、Cisco Unified MeetingPlace Express は適用されません。

15. ビデオおよび無線コンポーネント

16. Media Convergence Server (MCS) 上で共存するシスコアプリケーション (Cisco Security Agent、JTAPI ソフトウェアなど)
17. MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボード エージェント (アンチウイルス、バックアップ エージェント、管理エージェント [SNMP] など)



(注) Unified Communications Manager Release 7.0(1) の場合、サードパーティのオンボード エージェントは、別の MCS サーバにインストールする必要があります。

18. 他のサーバ上で運用するシスコおよびサードパーティの付加アプリケーションまたはエンドポイント (MIND CTI、Tandberg SCCP ビデオ エンドポイントなど)

リモート サイトごとに、次の順序でコンポーネントをアップグレードします。

1. Catalyst 6500/6000 スイッチ、ルータ、セキュリティ コンポーネント (Cisco Adaptive Security Appliance や Cisco Catalyst Firewall Service Module [FWSM] など) を含むインフラストラクチャ コンポーネント
2. アナログ音声ゲートウェイ (VG224、VG248)
3. PSTN ゲートウェイ (IOS、Communications Media Module)
4. Cisco Unified Operations Manager や Cisco Unified Service Monitor などのネットワーク管理ツール



(注) IP Communications Systems Release 4.x からアップデートする場合は適用されません。

5. Cisco Unified IP Phone (Cisco Unified Communications Manager クラスタを使用して中央サイトでアップグレードされます)
6. MCS 上で共存するシスコアプリケーション (Cisco Security Agent、JTAPI ソフトウェアなど)
7. MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボード エージェント (アンチウイルス、バックアップ エージェント、管理エージェント [SNMP] など)



(注) Unified Communications Manager Release 7.0(1) の場合、サードパーティのオンボード エージェントは、別の MCS サーバにインストールする必要があります。

8. 他のサーバ上で運用する Cisco およびサードパーティの付加アプリケーションまたはエンドポイント (MIND CTI、SCCP ビデオ エンドポイントなど)

分散型マルチサイト WAN モデル

分散型マルチサイト モデルには、ICT または H.323 トランクによって相互接続された複数の Cisco Unified Communications Manager クラスタ サイトが含まれます。

各サイトのアップグレードは、アップグレード全体のプロセスにおける独立したステージとして取り扱う必要があります。

各サイト内のコンポーネントを次の順序でアップグレードします。

1. Catalyst 6500/6000 スイッチ、ルータ、セキュリティ コンポーネント (Cisco Adaptive Security Appliance、Cisco Catalyst Firewall Service Module および Cisco Unified Communications Manager Express など) を含むインフラストラクチャ コンポーネント

2. ゲートキーパ



(注) 3800 シリーズ サービス統合型ルータには、ゲートキーパライセンスが必要です。

3. PSTN ゲートウェイ (IOS、Communications Media Module)

4. アナログ電話ゲートウェイ (VG224、VG248)

5. Cisco Unified Operations Manager や Cisco Unified Service Monitor などのネットワーク管理ツール



(注) System IP Communications Systems Release 4.x からアップデートする場合は適用されません。

6. Cisco Unified Communications Manager (Cisco Unified IP Phone と Cisco IP Communicator は同時にアップグレードされます)

7. Cisco Unified Presence



(注) System IP Communications Systems Release 4.x からアップデートする場合は適用されません。

8. Cisco Emergency Responder および保留音

9. Cisco Unified Personal Communicator



(注) System IP Communications Systems Release 4.x からアップデートする場合は適用されません。

10. Unified Contact Center Express

11. Cisco Messaging Gateway、Cisco Unity コンポーネント、Cisco Unity Connection および Cisco Unity Express コンポーネント

12. Cisco Unified MeetingPlace コンポーネントおよび Cisco Unified MeetingPlace Express



(注) IP Communications Systems Test Release 4.x からアップデートする場合、Cisco Unified MeetingPlace Express は適用されません。

13. ビデオおよび無線コンポーネント

14. MCS 上で共存するシスコアプリケーション (Cisco Security Agent、JTAPI ソフトウェアなど)

15. MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボード エージェント (アンチウイルス、バックアップ エージェント、管理エージェント [SNMP] など)



(注) Unified Communications Manager Release 7.0(1) の場合、サードパーティのオンボード エージェントは、別の MCS サーバにインストールする必要があります。

16. 他のサーバ上で運用するシスコおよびサードパーティの付加アプリケーションまたはエンドポイント (MIND CTI、SCCP ビデオ エンドポイントなど)

リモートサイトごとに、次の順序でコンポーネントをアップグレードします。

1. Catalyst 6500/6000 スイッチ、ルータ、セキュリティ コンポーネント (Cisco Adaptive Security Appliance、Cisco Catalyst Firewall Service Module および Analog Voice Gateways(VG224、VG248) など) を含むインフラストラクチャ コンポーネント
2. PSTN ゲートウェイ (IOS、Communications Media Module)
3. Cisco Unified Operations Manager や Cisco Unified Service Monitor などのネットワーク管理ツール



(注) IP Communications Systems Release 4.x からアップデートする場合は適用されません。

4. Cisco Unified IP Phone(Cisco Unified Communications Manager クラスタを使用して中央サイトでアップグレードされます)
5. MCS 上で共存するシスコ アプリケーション (Cisco Security Agent、JTAPI ソフトウェアなど)
6. MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボード エージェント (アンチウイルス、バックアップ エージェント、管理エージェント [SNMP] など)



(注) Unified Communications Manager Release 7.0(1) の場合、サードパーティのオンボード エージェントは、別の MCS サーバにインストールする必要があります。

7. 他のサーバ上で運用するシスコおよびサードパーティの付加アプリケーションまたはエンドポイント (MIND CTI、SCCP ビデオ エンドポイントなど)

WAN を介したクラスタ化モデル

WAN を介した IP テレフォニー クラスタ化モデルでは、次の順序でコンポーネントをアップグレードします。

1. Cisco Catalyst 6500/6000 スイッチ、ルータ、セキュリティ コンポーネント(Cisco Adaptive Security Appliance や Cisco Catalyst Firewall Service Module など) を含むインフラストラクチャ コンポーネント
2. Cisco Unified Communications Manager Express
3. ゲートキーパー



(注) 3800 シリーズ サービス統合型ルータには、ゲートキーパー ライセンスが必要です。

4. PSTN ゲートウェイ (IOS、Communications Media Module)
5. アナログ電話ゲートウェイ (VG224、VG248)
6. Cisco Unified Operations Manager や Cisco Unified Service Monitor などのネットワーク管理ツール



(注) IP Communications Systems Release 4.x からアップデートする場合は適用されません。

7. Cisco Unified Communications Manager(Cisco Unified IP Phone と Cisco IP Communicator は同時にアップグレードされます)

8. Cisco Unified Presence



(注) IP Communications Systems Release 4.x からアップデートする場合は適用されません。

9. Cisco Emergency Responder および保留音

10. Cisco Unified Personal Communicator



(注) IP Communications Systems Release 4.x からアップデートする場合は適用されません。

11. Unified Contact Center Express

12. Cisco Messaging Gateway、Unity コンポーネント、Cisco Unity Connection および Cisco Unity Express コンポーネント

13. Cisco Unified MeetingPlace コンポーネントおよび Cisco Unified MeetingPlace Express



(注) IP Communications Systems Test Release 4.x からアップデートする場合、Cisco Unified MeetingPlace Express は適用されません。

14. ビデオおよび無線コンポーネント

15. Media Convergence Server (MCS) 上で共存するシスコアプリケーション (Cisco Security Agent、JTAPI ソフトウェアなど)

16. MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボード エージェント (アンチウイルス、バックアップ エージェント、管理エージェント [SNMP] など)



(注) Unified Communications Manager Release 7.0(1) の場合、共存するサードパーティ アプリケーションはサポートされないため、別の MCS サーバにインストールする必要があります。

17. 他のサーバ上で運用するシスコおよびサードパーティの付加アプリケーションまたはエンドポイント (MIND CTI、SCCP ビデオ エンドポイントなど)

リモート サイトがある場合は、そのサイト内のコンポーネントを次の順序でアップグレードします。

1. Catalyst 6500/6000 スイッチ、ルータ、セキュリティ コンポーネント (Cisco Adaptive Security Appliance や Cisco Catalyst Firewall Service Module [FWSM] など) を含むインフラストラクチャ コンポーネント
2. アナログ電話ゲートウェイ (VG224、VG248)
3. PSTN ゲートウェイ (IOS、Communications Media Module)
4. Cisco Unified Operations Manager や Cisco Unified Service Monitor などのネットワーク管理ツール



(注) IP Communications Systems Release 4.x からアップデートする場合は適用されません。

5. Cisco Unified IP Phone (Cisco Unified Communications Manager クラスタを使用して中央サイトでアップグレードされます)
6. Media Convergence Server (MCS) 上で共存するシスコ アプリケーション (Cisco Security Agent、JTAPI ソフトウェア など)
7. MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボード エージェント (アンチウイルス、バックアップ エージェント、管理エージェント [SNMP] など)



(注) Unified Communications Manager Release 7.0(1) の場合、共存するサードパーティ アプリケーションはサポートされないため、別の MCS サーバにインストールする必要があります。

8. 他のサーバ上で運用するシスコおよびサードパーティの付加アプリケーションまたはエンドポイント (MIND CTI、SCCP ビデオ エンドポイント など)

IP テレフォニー中間市場向けモデル

ここでは、中規模市場向けビジネス導入モデルにおける、各種 IP テレフォニー コンポーネントの一般的なインストールシーケンスについて説明します。

- [単一サイト モデル](#)
- [SRST を使用した集中型マルチサイト モデル](#)
- [分散型マルチサイト WAN モデル](#)

これらの IP テレフォニー導入モデルの詳細については、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/iam/unified/ipt701/ENT/Review_Testing_Site_Models.htm

単一サイト モデル

単一サイト導入とは、音声ゲートウェイ、電話機、および呼処理サーバ (Cisco Unified Communications Manager) が同じサイトに配置され、それらがソフトウェア モジュール間で WAN 接続されないシナリオを指します。

1. コア スイッチ
2. アクセス スイッチ
3. ファイアウォール
4. Cisco Wireless LAN Controller および Aironet Wireless アクセス ポイント
5. ネットワーク管理アプリケーション (Cisco netManager Unified Communications)
6. Cisco Unified Communications Manager Business Edition、Cisco Unified IP Phone
7. Cisco Unified IP Phone Agent
8. Cisco IP Communicator
9. メディア リソース (保留音と会議ブリッジを含む)
10. Cisco Unified Contact Center Express
11. Cisco Unified MeetingPlace Express、Cisco Unified Video Conferencing
12. Cisco Unified Business Attendant Console

SRST を使用した集中型マルチサイト モデル

SRST を使用した集中型マルチサイト導入とは、呼処理サーバ (Unified Communications Manager Business Edition など) が同じサイトに配置され、音声ゲートウェイの任意の組み合わせと電話機が WAN リンク経由でリモートに、または中央に配置されるシナリオを指します。

集中型マルチサイト モデルでは、中央サイトをアップグレードしてから、リモート SRST サイトをアップグレードする必要があります。

中央サイトごとに、次の順序でコンポーネントをアップグレードします。

1. コア スイッチ
2. アクセス スイッチ
3. ファイアウォール
4. Cisco Wireless LAN Controller および Aironet Wireless アクセス ポイント
5. ネットワーク管理アプリケーション (Cisco netManager Unified Communications)
6. Cisco Unified Communications Manager Business Edition、Cisco Unified IP Phone
7. Cisco Unified IP Phone Agent
8. Cisco IP Communicator
9. メディア リソース (保留音と会議ブリッジを含む)
10. Cisco Unified Contact Center Express
11. Cisco Unified MeetingPlace Express、Cisco Unified Video Conferencing
12. Cisco Unified Business Attendant Console

リモートサイトごとに、次の順序でコンポーネントをインストールします。

1. アクセス スイッチ
2. ファイアウォール
3. Cisco Wireless LAN Controller およびアクセス ポイント
4. Cisco Unified Survival Remote Site Telephony (SRST) ルータ、Cisco Unified IP Phone、Cisco IP Communicator
5. Cisco Unified Videoconferencing ゲートウェイおよびマルチポイント コントロール ユニット (MCU)
6. SCCP/H.323/H.320 ビデオ エンドポイント
7. Cisco Computer Telephony Interface (CTI) OS Agent および Supervisor Desktop
8. Cisco Unified Business Attendant Console および Cisco Unified Department Attendant Console

分散型マルチサイト WAN モデル

分散型マルチサイト モデルには、ICT トランクによって相互接続された複数の Cisco Unified Communications Manager Business Edition サイトが含まれます。

各サイトのアップグレードは、アップグレード全体のプロセスにおける独立したステージとして取り扱う必要があります。

各サイト内のコンポーネントを次の順序でアップグレードします。

1. コア スイッチ
2. アクセス スイッチ
3. ファイアウォール
4. Cisco Wireless LAN Controller および Aironet Wireless アクセス ポイント

5. ネットワーク管理アプリケーション (Cisco netManager Unified Communications)
6. Cisco Unified Communications Manager Business Edition、Cisco Unified IP Phone
7. Cisco Unified IP Phone Agent
8. Cisco IP Communicator
9. メディア リソース (保留音と会議ブリッジを含む)
10. Cisco Unified Contact Center Express
11. Cisco Unified MeetingPlace Express、Cisco Unified Video Conferencing
12. Cisco Unified Business Attendant Console

リモート サイトがある場合は、そのサイト内のコンポーネントを次の順序でアップグレードします。

1. アクセス スイッチ
2. ファイアウォール
3. Cisco Wireless LAN Controller およびアクセス ポイント
4. Cisco Unified Survival Remote Site Telephony (Unified SRST) ルータ、Cisco Unified IP Phones、Cisco IP Communicator
5. Cisco Unified Videoconferencing ゲートウェイおよびマルチポイント コントロール ユニット (MCU)
6. SCCP/H.323/H.320 ビデオ エンドポイント
7. Cisco Computer Telephony Interface (CTI) OS Agent および Supervisor Desktop
8. Cisco Unified Business Attendant Console および Cisco Unified Department Attendant Console

IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード

ここでは、IP テレフォニー コンポーネントの次のアップグレード方法について説明します。

- **単一ステージアップグレード** 小規模の単一サイトまたはマルチサイトのインストールに推奨されます。
- **マルチステージシステムアップグレード** 中規模または大規模の単一サイトまたは中規模マルチサイトのインストールに推奨されます。
- **マルチサイトの移行** マルチサイトの移行アップグレード方法を使用して、大規模マルチサイトの IP テレフォニー インストールをシスコ ユニファイド コミュニケーション システムのリリース セットにアップグレードするには、この項に記載されている単一ステージまたはマルチステージシステムアップグレードの手順を使用します。

これらのアップグレード方法の詳細については、[第4章「システムアップグレードの計画」](#)を参照してください。また、アップグレードに関するコンポーネントのソフトウェア リリース バージョンについては、[第5章「システムアップグレードの準備」](#)を参照してください。これら各種サイトの席数の詳細については、[第4章「システムアップグレードの計画」](#)の表 4-2 を参照してください。

IP テレフォニー コンポーネントのアップグレードに使用できるアップグレード パスは、[第4章「システムアップグレードの計画」](#)の「[システムのアップグレードパス](#)」で定義されています。

各コンポーネントをアップグレードする場合は、製品固有のアップグレード マニュアルを参照してください。コンポーネント固有のリリース ノートとインストールおよびアップグレード マニュアルの URL リストについては、「[関連資料](#)」の項を参照してください。

単一ステージアップグレード

単一ステージアップグレード プロセスは、小規模の単一サイトと小規模マルチサイトのインストールに推奨されます。このアップグレード プロセスは、単一のメンテナンス期間に実行できます。この方法により、機能を維持したまま、比較的短時間でコンポーネントをアップグレードできます。

アップグレードに関するコンポーネントのソフトウェア リリース バージョンについては、[第5章「システムアップグレードの準備」](#)を参照してください。環境や、ネットワークに導入されている基本的なリリース セットに基づいて、[表 6-1](#) に示されている順序でコンポーネントをアップグレードします。

表 6-1 IP テレフォニー コンポーネントの単一ステージアップグレードの順序

アップグレードするコンポーネント	リリースのリリース セット					
	4.2	4.4	5.1(3)	6.0(1)	6.1(1)	7.0(1)
Cisco Catalyst 6506 (コア スイッチ)	1	1	1	1	1	1
Cisco Catalyst 6509/3524 ¹ (アクセス スイッチ)	2	2	2	2	2	2
Cisco Adaptive Security Appliance および Cisco Catalyst Firewall Service Module (FWSM)	3	3	3	3	3	3
Cisco Resource Management Essentials	—	—	4	4	4	4
Cisco Unified Operations Manager および Cisco Unified Service Monitor	—	—	5	5	5	5
Cisco Unified Service Statistics Monitor および Cisco Unified Provisioning Manager	—	—	6	6	6	6
Cisco Unified Communications Manager クラスタ (Cisco Unified IP Phone、Cisco Catalyst 6500/6000 ゲートウェイ、Cisco IP Communicator、および Cisco ATA186/188 アナログ テレフォニー アダプタは、クラスタを使用してアップグレードされます)	4	4	7	7	7	7
Unified Contact Center Express	5	5	8	8	8	8
Cisco Unified Presence	—	—	9	9	9	9
Cisco Emergency Responder	6	6	10	10	10	10
Cisco Unified Communications Manager Express	7	7	11	11	11	11
Cisco IOS ゲートウェイ	8	8	12	12	12	12
Cisco Communications Media Module	9	9	13	13	13	13
Cisco VG248 (アナログ電話ゲートウェイ)	10	10	14	14	14	14
Cisco VG244 (アナログ電話ゲートウェイ)	11	11	15	15	15	15
Cisco IOS ゲートキーパ	12	12	16	16	16	16
Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント	13	13	17	17	17	17
Cisco Unified MeetingPlace Express	—	—	18	18	18	18
Cisco Unity コンポーネントおよび Cisco Unity Connection	14	14	19	19	19	19
Cisco Unity-IBM/Lotus Domino ¹	15	15	20	20	20	20
Windows Exchange 2000	16	15	21	21	21	21
ドメイン コントローラ (Active Directory を含む)	17	17	22	22	22	22
SCCP/H.323/H.320 ¹ ビデオ エンドポイント	18	18	23	23	23	23
Cisco Unified Videoconferencing ゲートウェイ ¹ および Cisco Unified Videoconferencing System MCU	19	19	24	24	24	24
Cisco Unified VideoAdvantage (ビデオ PC エンドポイント)	20	20	25	25	25	25
Cisco Aironet 1200 アクセス ポイント	21	21	26	26	26	26
Cisco Unified Personal Communicator	—	—	27	27	27	27
MCS サーバ上で共存するシスコ アプリケーション	22	22	28	28	28	28
MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボード エージェント	23	23	29	29	29	29
他のサーバ上で運用する Cisco およびサードパーティ アプリケーション	24	24	30	30	30	30

1. シスコユニファイド コミュニケーション システムのテストでは、EUEM (European & Emerging Markets) サイト モデルだけでテストされています。

マルチステージ システム アップグレード

マルチステージ システム アップグレードとは、中規模および大規模の単一サイトと中規模マルチサイトのインストールに推奨されるアプローチです。このアップグレード プロセスでは、コンポーネントは、複数のステージまたはメンテナンス期間でのアップグレード用にグループ化されます。各メンテナンス期間には、各コンポーネントをアップグレードするときの推奨順序があります。

ステージへのコンポーネントのグループ化は、アップグレードするネットワークの規模によって異なる場合があります。小規模ネットワークの場合は、複数のメンテナンス期間が単一のメンテナンス期間に短縮されることがあります。大規模サイトの場合は、追加のステージが必要になることがあります。

各メンテナンス期間の終了後と、次のアップグレード ステージを開始する前には、すべての基本および重要なコール タイプの動作が影響を受けていないことを確認するようお勧めします。また、アップグレードしたコンポーネントと、まだアップグレードしていないコンポーネントのリストを保持することもお勧めします。

アップグレードに関するコンポーネントのソフトウェア リリース バージョンについては、第5章「システムアップグレードの準備」を参照してください。お使いの環境や、ネットワークに導入されているベース リリース セットに基づいて、4.x から 7.0(1) へのアップグレードの場合は表 6-2、5.x から 7.0(1) へのアップグレードの場合は表 6-3、6.x から 7.0(1) へのアップグレードの場合は表 6-4 に表示されている順序でコンポーネントをアップグレードします。

表 6-2 Release 4.x から 7.0(1) への IP テレフォニー コンポーネントのマルチステージ システム アップグレードの順序

ステージ	IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード順序			ステージの終了条件
	Release 4.2	Release 4.4	Release 7.0(1)	
1	<ol style="list-style-type: none"> 1. コア スイッチ 2. アクセス スイッチ 3. Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ Firewall Services Module 4. Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) 5540 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コア スイッチ 2. アクセス スイッチ 3. Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ Firewall Services Module 4. Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) 5540 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コア スイッチ 2. アクセス スイッチ 3. Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ Firewall Services Module 4. Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) 5540 	<p>ステージ 1 では、次の終了条件を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スイッチおよびルータのアップグレード終了条件 2. セキュリティ コンポーネントのアップグレード終了条件 3. ゲートキーパーと音声およびデータ ゲートウェイのアップグレード終了条件 4. Unified Communications Manager アップグレード終了条件 5. Unified Contact Center Express アップグレード終了条件 6. Cisco Unity のアップグレード終了条件 7. Cisco Unity Connection のアップグレード終了条件 8. Cisco Unity Express のアップグレード終了条件

表 6-2 Release 4.x から 7.0(1) への IP テレフォニー コンポーネントのマルチステージ システム アップグレードの順序 (続き)

IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード順序				
ステージ	Release 4.2	Release 4.4	Release 7.0(1)	ステージの終了条件
2	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Communications Manager Express 2. IOS ゲートウェイ (MGCP) 3. IOS ゲートウェイ (H.323) 4. Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ) 5. Cisco VG244 (アナログ音声ゲートウェイ) 6. PSTN ゲートウェイ (Communications Media Module) 7. IOS ゲートキーパー 8. Cisco Aironet 1200 アクセス ポイント 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Communications Manager Express 2. IOS ゲートウェイ (MGCP) 3. IOS ゲートウェイ (H.323) 4. Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ) 5. Cisco VG244 (アナログ音声ゲートウェイ) 6. PSTN ゲートウェイ (Communications Media Module) 7. IOS ゲートキーパー 8. Cisco Aironet 1200 アクセス ポイント 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Communications Manager Express 2. IOS ゲートウェイ (MGCP、H.3231 および SIP) 3. Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ) 4. Cisco VG244 (アナログ音声ゲートウェイ) 5. IOS ベースのトランスコーダおよび会議ブリッジ 6. Catalyst 6500 Communications Media Module (CMM) 7. IOS ゲートキーパー 8. Cisco Aironet 1200 アクセス ポイント 	<p>ステージ 2 では、次の終了条件を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゲートキーパーと音声およびデータゲートウェイのアップグレード終了条件 2. Unified Contact Center Express アップグレード終了条件 3. Unified Communications Manager Express アップグレード終了条件 4. Cisco IOS ゲートキーパーおよび IPIPGW のアップグレード終了条件 5. Cisco VG248 および Cisco VG244 のアップグレード終了条件 6. Cisco Aironet アクセス ポイント 1200 のアップグレード終了条件
3	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク管理 コンポーネント 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク管理 コンポーネント 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Operations Manager 2. Cisco Unified Service Monitor 3. Cisco Unified Service Statistics Monitor 4. Cisco Unified Provisioning Manager 	<p>ステージ 3 では、次の終了条件を確認します。</p> <p>ネットワーク管理コンポーネントのアップグレード終了条件</p>

■ IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード

表 6-2 Release 4.x から 7.0(1) への IP テレフォニー コンポーネントのマルチステージ システム アップグレードの順序 (続き)

IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード順序				
ステージ	Release 4.2	Release 4.4	Release 7.0(1)	ステージの終了条件
4	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Communications Manager (ATA と Unified MobilityManager を含む) 2. Cisco Unified IP Phone 3. Cisco IP Communicator 4. Cisco Emergency Responder 5. 保留音 6. Cisco Catalyst 6500/6000 ゲートウェイ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Communications Manager (ATA と Unified MobilityManager を含む) 2. Cisco Unified IP Phone 3. Cisco IP Communicator 4. Cisco Emergency Responder 5. 保留音 6. Cisco Catalyst 6500/6000 ゲートウェイ 	<p>最初にアップグレードするコンポーネントおよびその順序：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Presence1 2. Cisco Unified Communications Manager 3. 必要に応じてクライアント アプリケーションで JTAPI をアップグレード 4. CSA およびウィルススキャンソフトウェア 5. Cisco Unified IP Phone ファームウェア (必要な場合)(ATA と 6608 を含む) <p>上記コンポーネントの後に、任意の順序でアップグレードできるコンポーネント：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Emergency Responder 2. Cisco IP Communicator 3. Cisco Unified Personal Communicator1 4. Cisco VT Advantage (ビデオ PC エンドポイント) 	<p>ステージ 4 では、次の終了条件を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゲートキーパーと音声およびデータ ゲートウェイのアップグレード終了条件 2. Unified Communications Manager アップグレード終了条件 3. Cisco Unified Presence のアップグレード終了条件 4. Cisco Security Agent (CSA) 管理コンソールのアップグレード終了条件 5. Cisco Unified Personal Communicator のアップグレード終了条件 6. Cisco Unified Mobility Advantage のアップグレード終了条件 7. Cisco Emergency Responder のアップグレード終了条件 8. Cisco Unified IP Phone のアップグレード終了条件 9. Cisco IP Communicator のアップグレード終了条件 10. Cisco Unified Video Advantage のアップグレード終了条件
5	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Contact Center Express 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Contact Center Express 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Contact Center Express 	<p>ステージ 5 では、次の終了条件を確認します。</p> <p>Unified Contact Center Express アップグレード終了条件</p>

表 6-2 Release 4.x から 7.0(1) への IP テレフォニー コンポーネントのマルチステージ システム アップグレードの順序 (続き)

IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード順序				
ステージ	Release 4.2	Release 4.4	Release 7.0(1)	ステージの終了条件
6	<ol style="list-style-type: none"> Cisco Unity コンポーネント Cisco Unity Express Cisco Unity、IBM/Lotus Domino¹ Cisco Unity TSP Windows Exchange 2000 ドメイン コントローラ (Active Directory を含む) Cisco Unity Connection 	<ol style="list-style-type: none"> Cisco Unity コンポーネント Cisco Unity Express Cisco Unity、IBM/Lotus Domino² Cisco Unity TSP Windows Exchange 2000 ドメイン コントローラ (Active Directory を含む) Cisco Unity Connection 	<ol style="list-style-type: none"> Cisco Unity Cisco Unity TSP (必要な場合) Cisco Unity Express Windows Exchange 2000 または IBM/Lotus Domino (Unity バックエンドメッセージストアに 応じて) ドメイン コントローラ (Active Directory を含む) Cisco Unity Connection 	ステージ 6 では、次の終了条件を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> Cisco Unity のアップグレード終了条件 Cisco Unity Connection のアップグレード終了条件 Cisco Unity Express のアップグレード終了条件
7	<ol style="list-style-type: none"> Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント 	<ol style="list-style-type: none"> Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント 	<ol style="list-style-type: none"> Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント Cisco Unified Meetingplace Express 	ステージ 7 では、次の終了条件を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> Unified MeetingPlace 7.x のアップグレード終了条件 Cisco Unified MeetingPlace 6.x 以前のバージョンのアップグレード終了条件 Cisco Unified MeetingPlace Express のアップグレード終了条件
8	<ol style="list-style-type: none"> SCCP/H.323/H.320³ ビデオ エンドポイント IP/VC ゲートウェイ³ および MCU Cisco VT Advantage (ビデオ PC エンドポイント) 	<ol style="list-style-type: none"> SCCP/H.323/H.320³ ビデオ エンドポイント IP/VC ゲートウェイ³ および MCU Cisco VT Advantage (ビデオ PC エンドポイント) 	<ol style="list-style-type: none"> SCCP/H.323/H.320³ ビデオ エンドポイント IP/VC ゲートウェイ および MCU 	ステージ 8 では、次の終了条件を確認します。 Cisco IP Videoconferencing および MCU のアップグレード終了条件
9	MCS サーバ上で共存するシスコのアプリケーション: アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	MCS サーバ上で共存するシスコのアプリケーション: アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	MCS サーバ上で共存するシスコのアプリケーション: アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	
10	MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボードエージェント: アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボードエージェント: アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボードエージェント: アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	

1. シスコユニファイド コミュニケーション システムのテストでは、EUEM (European & Emerging Markets) サイト モデルだけでテストされています。

■ IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード

表 6-3 Release 5.x から 7.0(1) への IP テレフォニー コンポーネントのマルチステージ システム アップグレードの順序

ステージ	IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード順序		ステージの終了条件
	Release 5.1(3)	Release 7.0(1)	
1	<ol style="list-style-type: none"> 1. コア スイッチ 2. アクセス スイッチ 3. Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ Firewall Services Module (FWSM) 4. Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) 5540 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コア スイッチ 2. アクセス スイッチ 3. Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ Firewall Services Module (FWSM) 4. Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) 5540 	<p>ステージ 1 では、次の終了条件を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スイッチおよびルータのアップグレード終了条件 2. セキュリティ コンポーネントのアップグレード終了条件 3. ゲートキーパーと音声およびデータ ゲートウェイのアップグレード終了条件 4. Unified Communications Manager アップグレード終了条件 5. Unified Contact Center Express アップグレード終了条件 6. Cisco Unity のアップグレード終了条件 7. Cisco Unity Connection のアップグレード終了条件 8. Cisco Unity Express のアップグレード終了条件
2	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Communications Manager Express 2. IOS ゲートウェイ (MGCP) 3. IOS ゲートウェイ (H.323) 4. Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ) 5. Cisco VG244 (アナログ音声ゲートウェイ) 6. PSTN ゲートウェイ (Communications Media Module) 7. IOS ゲートキーパー 8. Cisco Aironet 1200 アクセス ポイント 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Communications Manager Express 2. IOS ゲートウェイ (MGCP、H.3231 および SIP) 3. Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ) 4. Cisco VG244 (アナログ音声ゲートウェイ) 5. IOS ベースのトランスコーダおよび会議ブリッジ 6. Catalyst 6500 Communications Media Module (CMM) 7. IOS ゲートキーパー 8. Cisco Aironet 1200 アクセス ポイント 	<p>ステージ 2 では、次の終了条件を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゲートキーパーと音声およびデータ ゲートウェイのアップグレード終了条件 2. Unified Contact Center Express アップグレード終了条件 3. Unified Communications Manager Express アップグレード終了条件 4. Cisco IOS ゲートキーパーおよび IPIGW のアップグレード終了条件 5. Cisco VG248 および Cisco VG244 のアップグレード終了条件 6. Cisco Aironet アクセス ポイント 1200 のアップグレード終了条件
3	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Operations Manager 2. Cisco Unified Service Monitor 3. Cisco Unified Service Statistics Monitor 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Operations Manager 2. Cisco Unified Service Monitor 3. Cisco Unified Service Statistics Monitor 4. Cisco Unified Provisioning Manager 	<p>ステージ 3 では、次の終了条件を確認します。</p> <p>ネットワーク管理コンポーネントのアップグレード終了条件</p>

表 6-3 Release 5.x から 7.0(1) への IP テレフォニー コンポーネントのマルチステージ システム アップグレードの順序 (続き)

IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード順序			
ステージ	Release 5.1(3)	Release 7.0(1)	ステージの終了条件
4	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Presence1 2. Cisco Unified Communications Manager 3. 必要に応じてクライアント アプリケーションで JTAPI をアップグレード 4. CSA およびウィルス スキャン ソフトウェア 5. Cisco Unified IP Phone ファームウェア (必要な場合)(ATA と 6608 を含む) <p>上記コンポーネントの後に、任意の順序でアップグレードできるコンポーネント:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Emergency Responder 2. Cisco IP Communicator 3. Cisco Unified Personal Communicator1 4. Cisco VT Advantage (ビデオ PC エンドポイント) 	<p>最初にアップグレードするコンポーネントおよびその順序:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Presence1 2. Cisco Unified Communications Manager 3. 必要に応じてクライアント アプリケーションで JTAPI をアップグレード 4. CSA およびウィルス スキャン ソフトウェア 5. Cisco Unified IP Phone ファームウェア (必要な場合)(ATA と 6608 を含む) <p>上記コンポーネントの後に、任意の順序でアップグレードできるコンポーネント:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Emergency Responder 2. Cisco IP Communicator 3. Cisco Unified Personal Communicator1 4. Cisco VT Advantage (ビデオ PC エンドポイント) 	<p>ステージ 4 では、次の終了条件を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゲートキーパーと音声およびデータ ゲートウェイのアップグレード終了条件 2. Unified Communications Manager アップグレード終了条件 3. Cisco Unified Presence のアップグレード終了条件 4. Cisco Security Agent (CSA) 管理コンソールのアップグレード終了条件 5. Cisco Unified Personal Communicator のアップグレード終了条件 6. Cisco Unified Mobility Advantage のアップグレード終了条件 7. Cisco Emergency Responder のアップグレード終了条件 8. Cisco Unified IP Phone のアップグレード終了条件 9. Cisco IP Communicator のアップグレード終了条件 10. Cisco Unified Video Advantage のアップグレード終了条件
5	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Contact Center Express 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Contact Center Express 	<p>ステージ 5 では、次の終了条件を確認します。</p> <p>Unified Contact Center Express アップグレード終了条件</p>
6	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unity 2. Cisco Unity TSP (必要な場合) 3. Cisco Unity Express 4. Windows Exchange 2000 または IBM/Lotus Domino (Unity バックエンド メッセージ ストアに応じて) 5. ドメイン コントローラ (Active Directory を含む) 6. Cisco Unity Connection 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unity 2. Cisco Unity TSP (必要な場合) 3. Cisco Unity Express 4. Windows Exchange 2000 または IBM/Lotus Domino (Unity バックエンド メッセージ ストアに応じて) 5. ドメイン コントローラ (Active Directory を含む) 6. Cisco Unity Connection 	<p>ステージ 6 では、次の終了条件を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unity のアップグレード終了条件 2. Cisco Unity Connection のアップグレード終了条件 3. Cisco Unity Express のアップグレード終了条件

■ IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード

表 6-3 Release 5.x から 7.0(1) への IP テレフォニー コンポーネントのマルチステージ システム アップグレードの順序 (続き)

ステージ	IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード順序		ステージの終了条件
	Release 5.1(3)	Release 7.0(1)	
7	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント 2. Cisco Unified Meetingplace Express 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント 2. Cisco Unified Meetingplace Express 	<p>ステージ 7 では、次の終了条件を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Unified MeetingPlace 7.x のアップグレード終了条件 2. Cisco Unified MeetingPlace 6.x 以前のバージョンのアップグレード終了条件 3. Cisco Unified MeetingPlace Express のアップグレード終了条件
8	<ol style="list-style-type: none"> 1. SCCP/H.323/H.3203 ビデオ エンドポイント 2. IP/VC ゲートウェイ および MCU 	<ol style="list-style-type: none"> 1. SCCP/H.323/H.3203 ビデオ エンドポイント 2. IP/VC ゲートウェイ および MCU 	<p>ステージ 8 では、次の終了条件を確認します。</p> <p>Cisco IP Videoconferencing および MCU のアップグレード終了条件</p>
9	MCS サーバ上で共存するシスコのアプリケーション：アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	MCS サーバ上で共存するシスコのアプリケーション：アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	
10	MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボード エージェント：アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボード エージェント：アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	

表 6-4 Release 6.x から 7.0(1) への IP テレフォニー コンポーネントのマルチステージ システム アップグレードの順序

ステージ	IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード順序			ステージの終了条件
	Release 6.0(1)	Release 6.1(1)	Release 7.0(1)	
1	<ol style="list-style-type: none"> 1. コア スイッチ 2. アクセス スイッチ 3. Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ Firewall Services Module (FWSM) 4. Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) 5540 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コア スイッチ 2. アクセス スイッチ 3. Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ Firewall Services Module (FWSM) 4. Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) 5540 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コア スイッチ 2. アクセス スイッチ 3. Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ Firewall Services Module (FWSM) 4. Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) 5540 	<p>ステージ 1 では、次の終了条件を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スイッチおよびルータのアップグレード終了条件 2. セキュリティ コンポーネントのアップグレード終了条件 3. ゲートキーパーと音声およびデータ ゲートウェイのアップグレード終了条件 4. Unified Communications Manager アップグレード終了条件 5. Unified Contact Center Express アップグレード終了条件 6. Cisco Unity のアップグレード終了条件 7. Cisco Unity Connection のアップグレード終了条件 8. Cisco Unity Express のアップグレード終了条件
2	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Communications Manager Express 2. IOS ゲートウェイ (MGCP) 3. IOS ゲートウェイ (H.323) 4. Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ) 5. Cisco VG244 (アナログ音声ゲートウェイ) 6. PSTN ゲートウェイ (Communications Media Module) 7. IOS ゲートキーパー 8. Cisco Aironet 1200 アクセス ポイント 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Communications Manager Express 2. IOS ゲートウェイ (MGCP、H.3231 および SIP) 3. Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ) 4. Cisco VG244 (アナログ音声ゲートウェイ) 5. IOS ベースのトランスコーダおよび会議ブリッジ 6. Catalyst 6500 Communications Media Module (CMM) 7. IOS ゲートキーパー 8. Cisco Aironet 1200 アクセス ポイント 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified Communications Manager Express 2. IOS ゲートウェイ (MGCP、H.3231 および SIP) 3. Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ) 4. Cisco VG244 (アナログ音声ゲートウェイ) 5. IOS ベースのトランスコーダおよび会議ブリッジ 6. Catalyst 6500 Communications Media Module (CMM) 7. IOS ゲートキーパー 8. Cisco Aironet 1200 アクセス ポイント 	<p>ステージ 2 では、次の終了条件を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゲートキーパーと音声およびデータ ゲートウェイのアップグレード終了条件 2. Unified Contact Center Express アップグレード終了条件 3. Unified Communications Manager Express アップグレード終了条件 4. Cisco IOS ゲートキーパーおよび IPIGW のアップグレード終了条件 5. Cisco VG248 および Cisco VG244 のアップグレード終了条件 6. Cisco Aironet アクセス ポイント 1200 のアップグレード終了条件

■ IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード

表 6-4 Release 6.x から 7.0(1) への IP テレフォニー コンポーネントのマルチステージ システム アップグレードの順序 (続き)

IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード順序				
ステージ	Release 6.0(1)	Release 6.1(1)	Release 7.0(1)	ステージの終了条件
3	1. ネットワーク管理製品	1. ネットワーク管理製品	1. Cisco Unified Operations Manager 2. Cisco Unified Service Monitor 3. Cisco Unified Service Statistics Monitor 4. Cisco Unified Provisioning Manager	ステージ 3 では、次の終了条件を確認します。 ネットワーク管理コンポーネントのアップグレード終了条件
4	最初にアップグレードするコンポーネントおよびその順序： 1. Cisco Unified Presence1 2. Cisco Unified Communications Manager 3. 必要に応じてクライアント アプリケーションで JTAPI をアップグレード 4. CSA およびウィルススキャン ソフトウェア 5. Cisco Unified IP Phone ファームウェア (必要な場合)(ATA と 6608 を含む) 上記コンポーネントの後に、任意の順序でアップグレードできるコンポーネント： 1. Cisco Emergency Responder 2. Cisco IP Communicator 3. Cisco Unified Personal Communicator1 4. Cisco VT Advantage (ビデオ PC エンドポイント)	最初にアップグレードするコンポーネントおよびその順序： 1. Cisco Unified Presence1 2. Cisco Unified Communications Manager 3. 必要に応じてクライアント アプリケーションで JTAPI をアップグレード 4. CSA およびウィルススキャン ソフトウェア 5. Cisco Unified IP Phone ファームウェア (必要な場合)(ATA と 6608 を含む) 上記コンポーネントの後に、任意の順序でアップグレードできるコンポーネント： 1. Cisco Emergency Responder 2. Cisco IP Communicator 3. Cisco Unified Personal Communicator1 4. Cisco VT Advantage (ビデオ PC エンドポイント)	最初にアップグレードするコンポーネントおよびその順序： 1. Cisco Unified Presence1 2. Cisco Unified Communications Manager 3. 必要に応じてクライアント アプリケーションで JTAPI をアップグレード 4. CSA およびウィルススキャン ソフトウェア 5. Cisco Unified IP Phone ファームウェア (必要な場合)(ATA と 6608 を含む) 上記コンポーネントの後に、任意の順序でアップグレードできるコンポーネント： 1. Cisco Emergency Responder 2. Cisco IP Communicator 3. Cisco Unified Personal Communicator1 4. Cisco VT Advantage (ビデオ PC エンドポイント)	ステージ 4 では、次の終了条件を確認します。 1. ゲートキーパーと音声およびデータ ゲートウェイのアップグレード終了条件 2. Unified Communications Manager アップグレード終了条件 3. Cisco Unified Presence のアップグレード終了条件 4. Cisco Security Agent (CSA) 管理コンソールのアップグレード終了条件 5. Cisco Unified Personal Communicator のアップグレード終了条件 6. Cisco Unified Mobility Advantage のアップグレード終了条件 7. Cisco Emergency Responder のアップグレード終了条件 8. Cisco Unified IP Phone のアップグレード終了条件 9. Cisco IP Communicator のアップグレード終了条件 10. Cisco Unified Video Advantage のアップグレード終了条件
5	1. Cisco Unified Contact Center Express	1. Cisco Unified Contact Center Express	1. Cisco Unified Contact Center Express	ステージ 5 では、次の終了条件を確認します。 Unified Contact Center Express アップグレード終了条件

表 6-4 Release 6.x から 7.0(1) への IP テレフォニー コンポーネントのマルチステージ システム アップグレードの順序 (続き)

IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード順序				
ステージ	Release 6.0(1)	Release 6.1(1)	Release 7.0(1)	ステージの終了条件
6	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unity 2. Cisco Unity Express 3. Cisco Unity、IBM/Lotus Domino¹ 4. Cisco Unity TSP 5. Windows Exchange 2000 6. ドメイン コントローラ (Active Directory を含む) 7. Cisco Unity Connection 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unity 2. Cisco Unity TSP (必要な場合) 3. Cisco Unity Express 4. Windows Exchange 2000 または IBM/Lotus Domino (Unity バックエンド メッセージストアに 応じて) 5. ドメイン コントローラ (Active Directory を含む) 6. Cisco Unity Connection 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unity 2. Cisco Unity TSP (必要な場合) 3. Cisco Unity Express 4. Windows Exchange 2000 または IBM/Lotus Domino (Unity バックエンド メッセージストアに 応じて) 5. ドメイン コントローラ (Active Directory を含む) 6. Cisco Unity Connection 	ステージ 6 では、次の終了条件を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unity のアップグレード終了条件 2. Cisco Unity Connection のアップグレード終了条件 3. Cisco Unity Express のアップグレード終了条件
7	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント 2. Cisco Unified Meetingplace Express 	ステージ 7 では、次の終了条件を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Unified MeetingPlace 7.x のアップグレード終了条件 2. Cisco Unified MeetingPlace 6.x 以前のバージョンのアップグレード終了条件 3. Cisco Unified MeetingPlace Express のアップグレード終了条件
8	<ol style="list-style-type: none"> 1. SCCP/H.323/H.320³ ビデオ エンドポイント 2. IP/VC ゲートウェイ³ および MCU 3. Cisco VT Advantage (ビデオ PC エンドポイント) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. SCCP/H.323/H.3203 ビデオ エンドポイント 2. IP/VC ゲートウェイ および MCU 	<ol style="list-style-type: none"> 1. SCCP/H.323/H.3203 ビデオ エンドポイント 2. IP/VC ゲートウェイ および MCU 	ステージ 8 では、次の終了条件を確認します。 Cisco IP Videoconferencing および MCU のアップグレード終了条件
9	MCS サーバ上で共存するシスコのアプリケーション: アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	MCS サーバ上で共存するシスコのアプリケーション: アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	MCS サーバ上で共存するシスコのアプリケーション: アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	
10	MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボードエージェント: アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボードエージェント: アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	MCS サーバ上で運用するサードパーティのオンボードエージェント: アップグレード順序はアップグレードするアプリケーションによって異なる	

1. シスコユニファイド コミュニケーション システムのテストでは、EUEM (European & Emerging Markets) サイト モデルだけでテストされています。

■ IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード

マルチステージ システム アップグレード ステージの終了条件

表 6-5 に、各システム アップグレード ステージ完了後に実行する必要がある終了条件を示します。

表 6-5 システム アップグレード ステージと終了条件のマトリクス

	マルチステージ システム アップグレードのステージ							
	1	2	3	4	5	6	7	8
スイッチおよびルータのアップグレード終了条件	X							
セキュリティ コンポーネント 終了条件	X							
ゲートキーパーと、音声およびデータ ゲートウェイ 終了条件	X	X		X				
Unified Communications Manager Express アップグレード 終了条件		X						
Cisco IOS ゲートキーパーおよび IPIPGW アップグレード 終了条件		X						
Cisco VG248; Cisco VG224 アップグレード 終了条件		X						
Cisco Aironet アクセス ポイント 1200 アップグレード 終了条件		X						
ネットワーク管理コンポーネント アップグレード 終了条件			X					
Unified Communications Manager アップグレード 終了条件	X			X				
Cisco Unified Presence アップグレード 終了条件				X				
Cisco Security Agent (CSA) 管理コンソール アップグレード 終了条件				X				
Cisco Unified Personal Client アップグレード 終了条件				X				
Cisco Unified Mobility Advantage アップグレード 終了条件				X				
Cisco Emergency Responder アップグレード 終了条件				X				
Cisco Unified IP Phone アップグレード 終了条件				X				
Cisco IP Communicator アップグレード 終了条件				X				
Cisco VT Advantage アップグレード 終了条件				X				
Unified Contact Center Express アップグレード 終了条件	X	X			X			
Cisco Unity アップグレード 終了条件	X					X		
Cisco Unity Connection アップグレード 終了条件	X					X		
Cisco Unity Express アップグレード 終了条件	X					X		
Unified MeetingPlace 7.x アップグレード 終了条件							X	
Cisco Unified MeetingPlace 6.x 以前のバージョンのアップグレード 終了条件							X	
Cisco Unified MeetingPlace Express アップグレード 終了条件							X	
Cisco IP Videoconferencing および MCU のアップグレード 終了条件								X

スイッチおよびルータのアップグレード終了条件

コア ルータとスイッチのアップグレード後、次の事項を確認します。

1. バッファ ログまたはコンソールでエラー メッセージを確認します。
2. フラッシュ メモリにダンプ ファイルが作成されなかったことを確認します。
3. `show running-config` コマンドを使用して、アップグレード プロセス中に前の設定が削除されなかったことを確認します。
4. `show ip interface brief` コマンドを使用して、設定されたインターフェイスが up/up 状態にあることを確認します。
5. スイッチに接続された Unified IP Phone の電源が投入されていて、プライマリ Unified Communications Manager ノードに適切に登録されていることを確認します。

セキュリティ コンポーネントのアップグレード終了条件

Cisco Catalyst 6500 Services Switch、Firewall Service Module および Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. Unified Communications Manager サーバがファイアウォールサービス モジュール/適応型セキュリティ アプライアンス (FWSM/ASA) によって分離されている構成で、ある Unified Communications Manager に登録されている Unified IP Phone から別の Unified Communications Manager に登録されている Unified IP Phone に発呼します。
2. (IP テレフォニー のみ) Unified Communications Manager クラスタにある Unified IP Phone の Call Forward All (CFA) エントリを更新し、Unified Communications Manager サーバが FWSM/ASA によって分離されている場合は、更新が他の Unified Communications Manager でも行われることを確認します。
3. Unified Communications Manager サーバが FWSM/ASA によって分離されている場合は、サーバ間のデータベース複製が成功することを確認します。

ゲートキーパーと音声およびデータ ゲートウェイのアップグレード終了条件

IOS ゲートウェイのアップグレード後、次の事項を確認します。

1. Cisco IOS Exec レベルで、CLI コマンドを実行します。
 - アップグレードした IOS ターゲット イメージが実行されていることを確認する場合
`show version`
 - 正しいイメージを起動するように起動システムが設定されていることを確認する場合
`show running-config`
 - 前に行われた設定 (H.323/SIP ダイアルピアおよび MGCP など) が失われていないことを確認する場合
`show running-config`
 - ISDN 接続ステータスが MULTIFRAME_ESTABLISHED であることを確認する場合
`show isdn status`
 - 設定されたインターフェイスが up/up 状態にあることを確認する場合
`show ip interface brief`
 - 手動で行われた着信呼を確認する場合
`show isdn history`
 - ブランチ サイトからデータセンターへの IP ルーティングを確認する場合
`ping or traceroute`
 - ブランチ サイトから別のブランチ サイトへの IP ルーティングを確認する場合
`ping or traceroute`
 - ソフトウェア リロード後のシステム起動プロセスを確認する場合
`show logging`
2. 次のデバイスが適切に設定および登録されていることを確認します。ゲートキーパー、MGCP および H.323 ゲートウェイ、トランク、および CTI ルート ポイント
3. すべての MGCP エンドポイント (FXS, FXO, PRI, T1 CAS および BRI) が Unified Communications Manager に適切に登録されていることを確認します。
4. 状況に応じて、コールを手動で無作為抽出検査します。
 - IP (SCCP および SIP) <-> MGCP ゲートウェイ経由の PSTN
 - IP (SCCP および SIP) <-> SIP ゲートウェイ経由の PSTN
 - IP (SCCP および SIP) <-> H.323 ゲートウェイ経由の PSTN

5. PSTN ユーザが 1) MGCP、SIP、H.323 などのゲートウェイ経由で PSTN から Unified Communications Manager クラスターの Unified IP Phone に着信呼を行い、2) コールを保留中にした場合、保留音が聞こえて、最終的にコールを再開できることを確認します。

Unified Communications Manager Express アップグレード終了条件

Unified Communications Manager Express のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. ボックスで実行されている Cisco Unified Communications Manager Express のバージョンを確認するには、次の show コマンドを入力します。
`show telephony-service`
2. アップグレード後に Cisco Unified Communications Manager Express に登録されている IP Phone を確認します。
3. IP Phone から内線および PSTN で発呼することができるかどうかを確認します。
4. Phone A から Phone B (CFA/CFNA から PSTN 番号) に発呼します。
5. IP Phone から VM(Cisco Unity または Cisco Unity Express)に発呼できるかどうかを確認します。
6. 共有ラインへの発呼をテストします。
7. Cisco Unified Communications Manager Express でコール ブロッキング機能を確認します。
8. Cisco Unified Communications Manager Express を確認します。
9. DN オーバーレイ機能

Cisco IOS ゲートキーパーおよび IPIGW のアップグレード終了条件

Cisco IOS ゲートキーパーおよび IPIGW のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. 実行されている IOS イメージの IVS バージョン (Cisco IOS ソフトウェア、3800 ソフトウェア (C3845-IPVOICE_IVS-M) など) を確認するには、次の show コマンドを入力します。
`show version`
2. 設定が失われていないかどうか確認するには、次の show コマンドを入力します。
`show running-config`
3. すべての H.323 エンド ポイントが、ゲートキーパー レジスタに適切に登録されるように設定されていることを確認します。
4. Cisco Unified Communications Manager がゲートキーパーに登録されていることを確認します。
5. ゲートキーパーを使用する 2 つのエンド ポイント間で発呼し、コールが成功すること、およびそのコールに対してゲートキーパーで帯域幅が適切に減少されることを確認します。

Cisco VG248 および Cisco VG224 のアップグレード終了条件

Cisco VG248 と Cisco VG224 のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. 設定されたすべての VG248 ポートが Cisco Unified Communications Manager に登録されていることを確認します。
2. 設定されたすべての VG224 ポートが Cisco Unified Communications Manager に登録されていることを確認します。
3. VG248 アナログ ポートに発呼し、双方向に通話できることを確認します。
4. VG224 アナログ ポートに発呼し、双方向に通話できることを確認します。
5. VG248 アナログ ポートに発呼し、IP Phone にフックフラッシュ転送を行います。
6. VG224 アナログ ポートに発呼し、IP Phone にフックフラッシュ転送を行います。

Cisco Aironet アクセス ポイント 1200 のアップグレード終了条件

Cisco Aironet アクセス ポイント 1200 のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. Cisco Unified Communications Manager に登録されている 7920 および 7921 IP Phone が、アップグレード後もそのまま登録されていることを確認します。
2. IP Phone 7920 および 7921 から別の IP Phone に発呼して、双方向に通話できることを確認します。
3. IP Phone 7920/21 がアクセス ポイント間でローミングする場合、コールがアクティブになったら、双方向の通話を確認します。
4. IP Phone 7920/21 を異なるタイプの暗号化で登録できるかどうかを確認します。

ネットワーク管理コンポーネントのアップグレード終了条件

ネットワーク管理コンポーネントのアップグレード後、次の事項を確認します。

1. CiscoWorks を使用してソフトウェアバージョンとビルド ID をチェックし、アップグレードが成功したことを確認します。
2. Unified Operations Manager コンソールに引き続きアクセス可能であることを確認します。
3. Unified Operations Manager によって管理されるすべてのデバイスに引き続きアクセス可能であることを確認します。

Unified Communications Manager アップグレード終了条件

Unified Communications Manager のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されなかったことを確認します。
2. アップグレード ログ ファイルでエラーを確認します。
3. すべてのパブリッシャ サーバおよびサブスクリバ サーバを起動します。
4. パブリッシャとサブスクリバ間に複製エラーが発生していないことを確認します。
5. SIP および SCCP IP Phone が Cisco Unified Communications Manager に登録されていることを確認します。
6. 次のデバイスが適切に設定されていることを確認します ゲートキーパー、MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランク、および CTI ルート ポイント
7. ステータスをチェックして、メディア リソース (会議 /MTP/ トランスコーダ) が適切に設定されていることを確認します。
8. エンドユーザが CTI Manager に接続できることを確認します。
9. ライセンスの使用状況が、ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりに適切であるかどうかを確認します。
10. クラスタ内のすべてのサーバ上のサービスが起動しているかどうかを確認します。
11. 次の RTMT 機能検証を通じて、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャおよびサブスクリバ プロセス検証を実行します。
 - a. AAR グループがシステムで設定され、動作しているかどうかを確認します (IP テレフォニーのみ)。
 - b. 複数のルート パターンおよびルート リストが設定され、動作しているかどうかを確認します。
 - c. 複数のハントパイロットおよびハント リストが設定され、動作しているかどうかを確認します (IP テレフォニーのみ)。
 - d. 該当するアテンダント コンソール Cisco Unified Business Attendant Console/CUDAC が設定され、動作しているかどうかを確認します (IP テレフォニーのみ)。

- e. Cisco IPMA が設定され、動作しているかどうかを確認します (IP テレフォニーのみ)。
 - f. エクステンション モビリティが設定され、動作しているかどうかを確認します。
 - g. IP Phone サービスが設定され、動作しているかどうかを確認します。
 - h. Web Dialer が設定され、動作しているかどうかを確認します (IP テレフォニーのみ)。
 - i. Cisco Skinny Video 以外のエンド ポイントが動作しているかどうかを確認します (IP テレフォニーのみ)。
 - j. Client Matter Code (CMC) と Forced Authorization Code (FAC) がルート パターン用に設定されているかどうかを確認します (IP テレフォニーのみ)。
 - k. Multilevel Administration (MLA) が設定されているかどうかを確認します (IP テレフォニーのみ)。
 - l. ユーザ情報および認証のために Active Directory 統合が実行され、すべてのユーザが適所に存在していることを確認します (IP テレフォニーのみ)。
 - m. IP phone を暗号化 / 認証モードの両方で登録できるかどうかを確認します (IP テレフォニーのみ)。
 - n. デバイス モビリティが設定され、動作しているかどうかを確認します (IP テレフォニーのみ)。
 - o. CAR が設定され、動作しているかどうかを確認します (IP テレフォニーのみ)。
12. すべての MGCP エンド ポイント (FXS、FXO、PRI、T1 CAS および BRI) が Unified Communications Manager に適切に登録されていることを確認します。
13. 状況に応じて、コールを手動で無作為抽出検査します。
- IP (SCCP および SIP) <-> MGCP ゲートウェイ経由の PSTN
 - IP (SCCP および SIP) <-> SIP ゲートウェイ経由の PSTN
 - IP (SCCP および SIP) <-> H.323 ゲートウェイ経由の PSTN
14. PSTN ユーザが 1) MGCP、SIP、H.323 などのゲートウェイ経由で PSTN から Unified Communications Manager クラスターの Unified IP Phone に着呼を行い、2) コールを保留中にした場合、保留音が聞こえて、最終的にコールを再開できることを確認します。

Cisco Unified Presence のアップグレード終了条件

Cisco Unified Presence のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されなかったことを確認します。
2. アップグレード ログ ファイルでエラーを確認します。
3. スタティック ルート設定を確認します (IP コンタクト センタのみ)。
4. ライセンスの使用状況が、ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりに適切であるかどうかを確認します。RTMT チェックを使用して、CPU 利用率がスパイクなしで 5 分超で一定しているかどうかを確認します。
5. 他の Cisco Unified Personal Communicator クライアントを Cisco Unified Personal Communicator クライアントの buddy リストに追加します (IP テレフォニーのみ)。
6. クライアントの存在ステータスを変更し、他の Cisco Unified Personal Communicator クライアントでもその存在ステータスが更新されることを確認します (IP テレフォニーのみ)。

Cisco Security Agent (CSA) 管理コンソールのアップグレード終了条件

Cisco Security Agent (CSA) 管理コンソールのアップグレード後、次の事項を確認します。

1. アップグレードの前に動作していたコールフローの基本機能が同じように動作し、正常に機能することを確認します。
2. アップグレード後も、前の設定が引き続き存在するかどうかを確認します。
3. コンソールに引き続きアクセス可能かどうかを確認します。
4. すべての管理対象装置が表示されているかどうかを確認します。

Cisco Unified Personal Communicator のアップグレード終了条件

Unified Personal Communicator のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. Unified Personal Communicator でソフトフォン デバイス名を導出して Cisco Unified Communications Manager に登録できるかどうかを確認します。
2. Cisco Unified Personal Communicator クライアントからビデオ コールを確立します。
3. Cisco Unified Personal Communicator でソフトフォン デバイス名を導出して Cisco Unified Communications Manager に登録できるかどうかを確認します。
4. ソフトフォン モードの Cisco Unified Personal Communicator で内線および PSTN で発呼することができるかどうかを確認します。
5. Cisco Unified Personal Communicator で IP ハードフォンを制御できるかどうかを確認します。
6. IP Phone Messenger が設定され、動作しているかどうかを確認します。

Cisco Unified Mobility Advantage のアップグレード終了条件

Cisco Unified Mobility Advantage のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. Cisco Unified Mobile Communicator クライアントを Cisco Unified Mobility Advantage に登録します。
2. Cisco Unified Mobile Communicator クライアントが、サブスクリバの新規メッセージをボイス メール アラートとして受信するかどうかを確認します。
3. Cisco Unified Mobile Communicator クライアントのデスクフォンへのコールが切断されたあとに、コールログ情報が送信されるかどうかを確認します。

Cisco Emergency Responder のアップグレード終了条件

Cisco Emergency Responder のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. [OS Admin] ページで [Settings] -> [Version] を選択して、適切なアクティブおよび非アクティブバージョンが表示されるかどうかを確認します。
2. 911、912 および 913 ルートポイントが Cisco Unified Communications Manager に登録されていることを確認します。
3. オンサイトセキュリティアラート用の CTI ポートが Cisco Unified Communications Manager に登録されていることを確認します。
4. [Serviceability] ページで [Select Tools] -> [Event Viewer] を選択して、Cisco Emergency Responder でスイッチまたは Cisco Unified Communications Manager に対して "SNMP 到達不能" アラートが生成されなかったことを確認します。
5. [Serviceability] ページで [Select Tools] -> [Control Center] を選択して、停止しているサービスがないことを確認します。
6. アップグレード後に、Cisco Emergency Responder によって所在不明とマークされた IP phone がないことを確認します。

■ IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード

- デュアルノード構成で、プライマリ Cisco Emergency Responder をシャットダウンして、セカンダリが Cisco Emergency Responder が処理を引き継ぐことを確認します。次に、プライマリ Cisco Emergency Responder を再起動して、プライマリ Cisco Emergency Responder が制御を引き継ぐことを確認します。

Cisco Unified IP Phone のアップグレード終了条件

Cisco Unified IP Phone のアップグレード後、次の事項を確認します。

- IP Phone が Unified Communications Manager で指示されたとおり、ターゲット ファームウェアイメージにアップグレードされていることを確認します。
- Unified IP Phone で Corporate Directory にアクセス可能であることを確認します。
- Fast Dial、Extension Mobility などの Unified IP Phone サービスが適切に機能していることを確認します。

Cisco IP Communicator のアップグレード終了条件

Cisco IP Communicator のアップグレード後、次の事項を確認します。

- PC を再起動後、IP Communicator を起動して Unified Communications Manager に適切に登録されていることを確認します。
- IP Communicator に発呼して、双方向通話が適切に機能していることを確認します。
- IP Communicator から送信、着信、および PSTN で発呼して、双方向通話が適切に機能していることを確認します。
- 保留、転送、会議などその他の呼機能が適切に機能することを確認します。Unified IP Phone で Corporate Directory にアクセス可能であることを確認します。
- Fast Dial、Extension Mobility などの Unified IP Phone サービスが適切に機能していることを確認します。

Cisco Unified Video Advantage のアップグレード終了条件

Cisco Unified Video Advantage のアップグレード後、次の事項を確認します。

- PC を再起動後、Cisco Unified Video Advantage を起動します。
- Cisco Unified Video Advantage が Unified Video Advantage phone を検出して関連付けることができるかどうかを確認します。
- 他の Unified Video Advantage phone に発呼できるかどうかを確認します。
- ビデオ ポップアップを確認します。
- コールを保留にするとビデオが消えて、コールを再開するとビデオが再び表示されるかどうかを確認します。

Unified Contact Center Express アップグレード終了条件

Cisco Unified Contact Center Express ソリューション、Unified IP IVR および Unified Contact Center Express のアップグレード後、次の事項を確認します。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されなかったことを確認します。
- アップグレード ログ ファイルでエラーを確認します。アップグレード後に必要なすべてのサービスが起動しているかどうかを確認します。
- JTAPI が適切なバージョンにアップグレードされ、Cisco Unified Communications Manager に適切に接続され同期されているかどうかを確認します。
- すべての CTI ポートが Cisco Unified Communications Manager に登録されていることを確認します。

5. すべての CTI ルート ポイントが Cisco Unified Communications Manager に登録されていることを確認します。
6. 発呼したときにプロンプトが聞こえるかどうかを確認します。
7. テレフォニー同期を実行して、成功することを確認します。
8. CAD デスクトップを使用している場合、デスクトップが Cisco Unified Contact Center Express ソリューションに組み込まれているバージョンに自動的にアップグレードされることを確認します。
9. IP Phone Agent、CAD Agent および CRSADMIN にログインして、すべてのログインに成功することを確認します。
10. 着呼を行って、コールが Ready Agent に提示されることを確認します。
11. デュアルノード構成で、あるノードがスLEEP状態にある場合に、もう 1 つのノードがマスター状態であることを確認します。

Cisco Unity のアップグレード終了条件

Cisco Unity のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. System Administrator を起動して、ソフトウェア バージョンを確認します。
2. Cisco Unity サービスのステータスを確認します。
3. GUSI を実行して、ソフトウェア バージョンと TSP バージョンを確認します。
4. UTIM から 'Verify Servers' を実行して、統合のステータスを確認します。
5. Cisco Unified Communications Manager でボイスメール ポートのステータスを確認します。
6. アップグレードの前に、サブスクリバにボイスメールを残して MWI をオンにします。アップグレードを実行して MWI ステータスをリフレッシュします。アップグレード後、MWI がオンのままになっていることを確認します。
7. いくつかのサブスクリバを作成して、管理された転送と MWI が適切に動作することを確認します。
8. イベント ビューアにエラーがあるかどうかを確認します。
9. Cisco Unity がフェールオーバー モードで構成されている場合、「Failover Monitor」を使用して Unity のステータスを確認します。
10. サーバを手動でフェールオーバーしてセカンダリ サーバをアクティブにし、Unity に発呼してサブスクリバにメッセージを残して、MWI がオンになるかどうかを確認します。MWI がオフになる場合は、検索して確認します。
11. プライマリ サーバを停止し、Unity に発呼してサブスクリバにメッセージを残して、MWI がオンになるかどうかを確認します。MWI がオフになる場合は、検索して確認します。

Cisco Unity Connection のアップグレード終了条件

Unity Connection のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. `show cuc` コマンドを使用して、コマンドライン インターフェイス (CLI) から Cisco Unity Connection ソフトウェアのバージョンを確認します。
2. Cisco Unified OS Administration Web ページからアクティブパーティションにあるソフトウェア バージョンを確認します。
3. [Serviceability] ページまたは CLI から、サービスのステータスを確認します。
4. Unified Communication Manager でボイスメール ポートのステータスを確認します。
5. [Port] ページの [Telephony Integrations] で `Test Port` コマンドを実行します。

■ IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード

6. アップグレードの前に、サブスクリイバにボイスメールを残して、メッセージ ウェイティング インジケータ (MWI) をアクティブにします。アップロード後、MWI ステータスをリフレッシュし、MWI がオンのままであることを確認します。
7. いくつかのサブスクリイバを作成して、管理された転送と MWI 機能が適切に動作することを確認します。
8. ポートに対して認証と暗号化が有効になっている場合、暗号化をサポートするエンドポイントから Unity Connection に発呼して、RTP が暗号化されることを確認します。
9. ポートに対して認証と暗号化が有効になっている場合、認証をサポートするエンドポイントから Unity Connection に発呼して、シグナリングが安全であることを確認します。

Cisco Unity Express のアップグレード終了条件

Cisco Unity Express のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. `show software status` コマンドを使用して、コマンドライン インターフェイス (CLI) から Cisco Unity Express ソフトウェアのバージョンを確認します。
2. Cisco Unity Express が Cisco Unified Communications Manager に登録されているかどうかを確認するには、`show ccn status ccm-manager` コマンドを使用します。
3. アップグレードの前に、サブスクリイバにボイスメールを残して、メッセージ ウェイティング インジケータ (MWI) をオンにします。アップグレードを実行して MWI ステータスをリフレッシュします。MWI がオンのままになっていることを確認します。
4. サブスクリイバへの通知を設定し、新規ボイスメールがある場合に、設定された内線番号に Cisco Unity Express から発呼できるかどうかを確認します。
5. サブスクリイバを作成し、ボイスメールを残して確認し、その後サブスクリイバを削除します。

Unified MeetingPlace 7.x のアップグレード終了条件

Unified MeetingPlace 7.x のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. 内部 Cisco Unified MeetingPlace サーバ上でアップグレードできないため、インストールが正常に完了したかどうかを確認するには、Cisco Unified MeetingPlace Application サーバ コンソールにルートとしてログインして、`mpx_version` コマンドを入力します。
2. すべてのサービスが実行されていることを確認するには、MeetingPlace コンソールまたは SSH 経由で `mpx_sys status` コマンドを入力します。
3. Cisco Unified MeetingPlace Web サーバにログインし、[Home] --> [Admin] --> [Test Server Configuration] を選択して、エラーがレポートされていないことを確認します。
4. Cisco Unified MeetingPlace Web サーバにログインし、オーディオ、Web および ビデオをスケジュールします。Web およびビデオ コールにダイアルイン、ダイアルアウト、および参加できることを確認します。
5. Outlook を使用してオーディオ、Web およびビデオ会議にログインしてスケジュールし、受信者が会議の要求を受信してこれらの会議に参加できるかどうかを確認します。
6. DMZ (SMA) サーバについて、ステップ 4 を繰り返します。
7. 会議マネージャとして Unified MeetingPlace Application サーバ コンソールにログインし、オーディオ、Web およびビデオ会議をスケジュールして参加できるかどうかを確認します。

Cisco Unified MeetingPlace 6.x 以前のバージョンのアップグレード終了条件

Unified MeetingPlace 6.x 以前のバージョンのアップグレード後、次の事項を確認します。

1. Cisco Unified MeetingPlace ソフトウェアのバージョンがアップグレードされているかどうかを確認するには、Cisco Unified MeetingPlace Audio Server にログインして `swstatus` コマンドを入力します。
2. アップグレード後に他のすべてのサーバ（Unified MeetingPlace Web サーバ、Unified MeetingPlace IPGW、Unified MeetingPlace DMZ、Unified MeetingPlace DS など）が Cisco Unified MeetingPlace Application Server に登録されているかどうかを確認するには、`gwstatus` コマンドを入力します。
3. 「MeetingTime」または「Conference Manager」クライアント ソフトウェアにログインして会議（オーディオ、Web およびビデオ）をスケジュールし、オーディオ会議、Web 会議、ビデオコールにダイヤルイン、ダイヤルアウトできるかどうかを確認します。
4. Cisco Unified MeetingPlace ソフトウェアのバージョンが Unified MeetingPlace Web サーバ、Unified MeetingPlace IP Gateway、Unified MeetingPlace DMZ、Unified MeetingPlace Outlook および Unified MeetingPlace Video でアップグレードされているかどうかを確認するには、Unified MeetingPlace Audio Server で `gwstatus` コマンドを入力します。
5. ブラウザから Cisco Unified MeetingPlace Web サーバにログインしてオーディオ、Web およびビデオ会議をスケジュールし、Web およびビデオ エンドポイントからこれらの会議にダイヤルイン、ダイヤルアウトできるかどうかを確認します。
6. アップグレード後、[Event Viewer] -> [System Log and Event Viewer] -> [Application Log] でログをチェックして、Windows サーバ上で Cisco Unified MeetingPlace Web、Unified MeetingPlace IPGW、Unified MeetingPlace DS に赤色のアラート / アラームがないかどうかを確認します。

Cisco Unified MeetingPlace Express のアップグレード終了条件

Cisco Unified MeetingPlace Express のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. アップグレード後に内部 Cisco Unified MeetingPlace Express サーバ ソフトウェアのバージョンを確認するには、ルートまたは `mpxadmin` として Cisco Unified MeetingPlace Express コンソールにログインして `mpx_version` コマンドを入力します。
2. すべてのサービスが実行されていることを確認するには、コンソールから `mpx_sys status` コマンドを入力するか、SSH 経由でログインして `mpx_sys status` コマンドを入力します。
3. Web ページにログインして、オーディオ、Web および ビデオ会議をスケジュールし、Web およびビデオ会議にダイヤルイン、ダイヤルアウト、および参加できることを確認します。
4. Outlook を使用してオーディオ、Web およびビデオ会議にログインしてスケジュールし、受信者が会議の要求を受信して会議に参加できるかどうかを確認します。
5. DMZ (SMA) サーバについて、ステップ 1 ~ 4 を繰り返します。

Cisco IP Videoconferencing および MCU のアップグレード終了条件

Cisco IP Videoconferencing および MCU のアップグレード後、次の事項を確認します。

1. Cisco IP Videoconferencing を再起動後、SCCP または H323 モードで Cisco Unified Communications Manager に登録されていることを確認します。
2. ビデオ エンド ポイントが Cisco Unified Communications Manager に登録されている場合、2 つの他のビデオ エンド ポイントで会議を開始します。
3. 設定されたマルチ ビデオ ウィンドウ ディスプレイで、すべてのパーティが互いを見ることができることを確認します。
4. もう 1 ユーザを会議に招待し、このユーザをビデオ ウィンドウ ディスプレイで見ることができるかどうかを確認します。

関連資料

次の各項では、シスコユニファイド コミュニケーション システムのコンポーネントに関する互換性ガイドとインストール マニュアルを示します。

- [互換性ガイド](#)
- [コンポーネントのリリース ノートとインストールおよびアップグレード マニュアル](#)

互換性ガイド

次の資料には、コンポーネントの互換性に関する情報が記載されています。

- 『Cisco Unity and the Software on Subscriber Workstations』
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/compatibility/matrix/cuclientmtx.html
- 『SCCP Compatibility Matrix: Cisco Unity, the Cisco Unity-CM TSP, Cisco Unified Communications Manager, and Cisco Unified Communications Manager Express』
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/compatibility/matrix/cutspmtx.html
- 『SIP Trunk Compatibility Matrix: Cisco Unity, Cisco Unified Communications Manager, and Cisco Unified Communications Manager Express』
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/compatibility/matrix/cusiptrunkmtx.html
- 『Cisco Unified Contact Center Express Software and Hardware Compatibility Guide』
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cust_contact/contact_center/crs/express_compatibility/matrix/crscomtx.pdf
- 『Cisco Unified Communications Manager Express and Cisco IOS Software Version Compatibility Matrix』
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm
- Cisco 7800 Series Media Convergence Servers Brochures
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/voiceapp/ps378/prod_brochure_list.html
- Cisco Unified Communications Manager Server Support Matrix
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/voiceapp/ps378/prod_brochure0900aecd8062a4f9.html
- Cisco Unity Connection Supported Platforms List
http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/voicesw/ps6789/ps5745/ps6509/product_data_sheet0900aecd80372879.html
- Cisco Unified Communications System Release Summary Matrix for IP Telephony for Enterprise and Midmarket
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/unified/communications/system/versions/IPTMtrix.html
- IP Communications System Test Release
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/GB_resources/ipcmtrix.htm
- Cisco Unified Communications Compatibility Tool
<http://tools.cisco.com/ITDIT/vtgsc>

コンポーネントのリリース ノートとインストールおよびアップグレード マニュアル

表 6-6 に、コンポーネントのリリース ノートとインストールおよびアップグレード マニュアルへの参照を示します。これらの URL は、各マニュアルのさまざまなリリース バージョンを示す Web ページにリンクしています。ベースおよびターゲットのリリース セットに含まれているコンポーネントのリリース バージョンに基づいて、適切なマニュアルを確認してください。

表 6-6 コンポーネント固有のリリース ノートとインストールおよびアップグレード マニュアル

コンポーネント	リリース ノート	インストールおよびアップグレード マニュアル
Cisco Unified Communications Manager	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice_sw/ps556/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice_sw/ps556/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unity	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice_sw/ps2237/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice_sw/ps2237/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unity Express	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice_sw/ps5520/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice_sw/ps5520/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unified MeetingPlace	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unified MeetingPlace Express	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unified Video Conferencing	http://www.cisco.com/en/US/products/ps7266/tsd_products_support_series_home.html	http://www.cisco.com/en/US/products/ps7266/tsd_products_support_series_home.html
Cisco IP/VC 3500 シリーズ Videoconferencing	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/video/ps1870/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/video/ps1870/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unified Video Advantage	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice_sw/ps5662/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice_sw/ps5662/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unity Connection	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unified Operations Manager	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6535/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6535/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unified Presence	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/tsd_products_support_install_and_upgrade.html
Cisco Unified Service Monitor	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6536/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6536/tsd_products_support_install_and_upgrade.html
Cisco IP Communicator	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice_sw/ps5475/prod_release_notes_list.html	—
Cisco Unified Contact Center Express	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/custcosw/ps1846/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/custcosw/ps1846/prod_installation_guides_list.html
Cisco Emergency Responder	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice_sw/ps842/prod_release_notes_list.html	—
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony	—	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voice_sw/ps2169/prod_installation_guides_list.html
Cisco 3700 シリーズ音声ゲートウェイ / ゲートキーパー	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/routers/ps282/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/routers/ps282/prod_installation_guides_list.html
Cisco Catalyst 3550 シリーズ アクセス スイッチ	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps646/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps646/prod_installation_guides_list.html

表 6-6 コンポーネント固有のリリース ノートとインストールおよびアップグレード マニュアル (続き)

コンポーネント	リリース ノート	インストールおよび アップグレード マニュアル
Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps708/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps708/prod_installation_guides_list.html
Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.4(15)T3	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6441/prod_release_notes_list.html	—
Cisco Unified Communications 500 Series for Small Business	http://www.cisco.com/en/US/products/ps7293/prod_release_notes_list.html	http://www.cisco.com/en/US/products/ps7293/prod_installation_guides_list.html
Cisco 1861 Integrated Services Router	—	http://www.cisco.com/en/US/products/ps5853/prod_installation_guides_list.html



INDEX

- C
- Cisco Unified Communications Manager、アップグレードに関する考慮事項 5-7
 - Cisco Unified Communications System
 - インストールの要件 1-3
 - 概要 1-2
- I
- IP テレフォニー
 - アップグレードパス 4-16
 - コンポーネント 1-2, 4-2, 6-1
 - 製品 1-2, 4-2, 6-1
 - IPT
 - コンポーネント 6-12
 - 製品 6-12
- S
- SRST を使用した集中型マルチサイト導入モデル 3-3, 3-5, 6-4, 6-10
- U
- Unified IP Phone
 - アップグレードに関する考慮事項 5-8
- W
- WAN を介したクラスタ化導入モデル 3-4
- あ
- アップグレード
 - Cisco Unified Communications Manager 5-7
 - flash-cut 4-17, 4-18
 - IPT コンポーネントの順序 6-2
 - IPT 単一サイト導入モデル 6-2
 - IPT 導入モデル 6-1
 - shrink-and-grow 4-17, 4-19
 - SRST を使用した集中型 IPT マルチサイト導入モデル 6-4, 6-10
 - Unified IP Phone の考慮事項 5-8
 - WAN を介したクラスタ化導入モデル 6-7
 - 新しいハードウェア上のシングルステージ 4-19
 - 一般的なアプローチ 5-2
 - 期間 4-23
 - 既存のハードウェア上のマルチステージ 4-17, 4-20
 - 共存アプリケーション 1-3, 4-2, 6-3, 6-8
 - 計画 4-1
 - 高レベルの作業 4-5
 - コンポーネント 4-7, 6-1, 6-12
 - コンポーネントのグループ化 6-14
 - コンポーネントの順序 5-1, 5-2, 6-1
 - サードパーティのアプリケーション 1-3, 4-2, 6-3, 6-8
 - サードパーティのオフボード アプリケーション 1-3, 4-2
 - サイト間 4-21
 - サイト内 4-20
 - サポートされているパス 4-14
 - システムの依存関係 5-3
 - システムレベル コンポーネント 1-3, 4-2
 - 準備 5-1
 - 小規模サイト 4-17, 6-12
 - 推奨されるパス 4-14
 - スタンドアロン コンポーネント 1-3, 4-2
 - 大規模なマルチサイト 4-18, 6-12
 - 単一サイト 4-18, 4-19
 - 単一ステージ 4-17, 6-12
 - 中規模から大規模サイト 4-17, 6-12, 6-14
 - 同時 4-18
 - ハイブリッド システム 4-17, 4-20, 5-9
 - ハイブリッド ネットワーク 4-18, 4-21
 - パス 4-15
 - 部分的(ハイブリッド システム) 4-17, 4-20, 5-9

- 部分的(ハイブリッドネットワーク) 4-18, 4-21
- プロセス 4-5, 6-1
- 分散型マルチサイト WAN 導入モデル 6-5, 6-10
- 方法 4-5, 4-17, 4-23
- 方法の概要 4-23
- マイナー リリース 4-14
- マルチサイト 4-18, 5-3, 5-9, 6-12
- マルチサイト移行 4-18
- マルチステージ 4-17, 4-20, 5-3, 5-9, 6-12, 6-14
- メジャー リリース 4-14
- メンテナンス リリース 4-14
- ロードマップ 4-5
- アップグレードパス
 - IPT コンポーネント 4-16
 - オプション 4-15
- アップグレードに関する考慮事項
 - Unified IP Phone 5-8
- アップグレード方法
 - 新しいハードウェア上のシングルステージ 4-17
 - 既存のハードウェア上のシングルステージ 4-17, 4-18
 - 小規模サイト 6-12
 - 大規模なマルチサイト 6-12
 - 中規模から大規模サイト 6-12, 6-14
- アプリケーション
 - 共存 1-3, 4-2, 6-3, 6-8
 - サードパーティ 1-3, 4-2, 6-3, 6-8
 - サードパーティのオフボード 1-3, 4-2
- い
- インストール
 - SRST を使用した集中型マルチサイト導入モデルの順序 3-3, 3-5
 - WAN を介したクラスタ化導入モデルの順序 3-4
 - 一般的なアプローチ 2-4
 - インストール ベース導入 1-4
 - インストール後の作業 3-11
 - インストール前のアクティビティ 2-2
 - 概要 1-4, 1-5
 - グリーンフィールド導入 1-4
 - 高レベルの作業 1-5
 - コンポーネント 3-7
 - コンポーネントの順序 3-7, 3-8
- シーケンス 2-4
- 主要コンポーネント 1-6, 1-8
- 小規模サイト 3-7
- 資料 3-12
- 単一サイト モデルの順序 3-2, 3-5
- 単一ステージ 1-10, 3-7, 3-8
- 中規模から大規模サイト 3-8
- 導入モデル 3-2
- 始める前に 2-2
- フェーズ 2-2
- ブラウンフィールド導入 1-4
- プロセス 1-5
- 分散型マルチサイト WAN 導入モデルの順序 3-4
 - 方法 1-10
 - マルチサイトの段階的 1-11
 - マルチステージ 3-7, 3-8
 - レガシー導入 1-4
- インストール ベース導入
 - 説明 1-4
 - リリース セット 1-4
- インストール後の作業 3-11
- インターワーキング
 - コンポーネント 4-21
 - リリース セット 4-18
- か
- 下位互換性
 - アップグレード シーケンス 5-2
 - コンポーネント 4-2, 4-20, 5-2, 5-9, 5-10, 5-11
 - シナリオ 5-9, 5-10, 5-11
- く
- グリーンフィールド導入
 - 説明 1-4
 - 単一ステージ インストール 1-10
 - リリース セット 1-5
- こ
- コール タイプ、基本のおよび重要 3-8, 6-14
- 互換性
 - 下位 2-4, 4-2, 4-20, 5-2, 5-9, 5-10, 5-11
 - ガイドおよびマトリクス 5-4

- コンポーネント 2-10, 4-20, 5-1, 5-3, 5-4
- ソフトウェア 5-3
- コンポーネント
 - Cisco Unified Communications System Release 4.2 リリース セット 5-12, 5-17, 5-23
 - Cisco Unified Communications System Release 6.0(1) からのアップグレードにおいて新規となる 4-12, 4-13
 - Cisco Unified Communications System Release 6.0(1) リリース セット 5-28, 5-32
 - Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) において新規となる 4-10
 - IP Communications Systems Release 4.2 からのアップグレードにおいて新規となる 4-10
 - IP テレフォニー 1-2, 4-2, 6-1
 - IPT 3-7, 6-12
 - IPT コンポーネントのアップグレード順序 6-2
 - アップグレードの順序 5-1, 5-2, 6-1
 - アプリケーション クライアント 5-2
 - アプリケーション サーバ 5-2
 - インストール時 1-6, 1-8
 - インストールの概要 1-6, 1-8
 - インターワーキング 4-21
 - インフラストラクチャ 5-2
 - 下位互換性 4-2, 4-20, 5-2, 5-9, 5-10, 5-11
 - ゲートウェイおよびゲートキーパー 5-2
 - 互換性 2-10, 4-20, 5-1, 5-3, 5-4
 - 呼処理 2-4, 5-2
 - 相互運用性 1-2, 2-10, 4-20, 5-3, 5-4
 - ターゲット リリース セット内 4-10
 - ターゲット リリース セットに含まれていない 4-13
 - ベース リリース セット内 4-7
 - リリース セットの定義 4-3
- サービス
 - サービス停止 5-9, 5-10, 5-11
 - サービスの重要性 2-4, 5-2
 - サービスの中断 4-20
- システム リリース
 - マイナー リリース 4-14
 - メジャー リリース 4-14
 - メンテナンス リリース 4-14
 - 要約マトリクス 5-4
- 資料
 - アップグレード 3-13, 6-35
 - インストール、設定と管理 3-13, 6-35
 - 関連 3-12
- せ
- 製品
 - IP テレフォニー 1-2, 4-2, 6-1
 - IPT 3-7, 6-12
- そ
- 相互運用性
 - コンポーネント レベルでのリリース間 4-23
 - サイト レベルでのリリース間 4-23
 - システム コンポーネント 1-2, 2-10, 5-3, 5-4
- ソフトウェア
 - 互換性 5-3
 - リリース セット 4-3, 4-4
- ソフトウェア バージョン
 - Cisco Unified Communications System Release 4.2 のコンポーネント 5-12, 5-17, 5-23
 - Cisco Unified Communications System Release 6.0(1) のコンポーネント 5-28, 5-32
 - マトリクス 2-5, 5-12, 5-17, 5-23, 5-28, 5-32
- さ
- サービス
 - 影響 4-20, 5-3, 5-10, 5-11
 - 停止 5-9, 5-10
- し
- システム
 - アップグレードに関連 4-3, 4-4
 - アップグレードの依存関係 5-3
 - サービス低下 5-3
- た
 - 対象読者、このマニュアル viii
 - 単一サイト導入モデル 3-2, 3-5, 6-9
 - 単一サイトモデル、アップグレード 6-2
 - 単一ステージ
 - アップグレード 4-17
 - インストール 1-10, 3-7, 3-8

- と
- 導入モデル
- IPT アップグレード順序 6-1, 6-2, 6-7
 - IPT 単一サイトモデル 6-2
 - IP テレフォニー中小企業モデル 3-5
 - SRST を使用した集中型マルチサイト 3-3, 3-5, 6-4, 6-10
 - SRST を使用した集中型マルチサイト モデル 6-4, 6-10
 - WAN を介したクラスタ化 3-4, 6-7
 - アップグレード 6-2
 - アップグレード プロセス 6-1
 - インストール プロセス 3-2
 - 概要 3-2
 - 単一サイト 3-2, 3-5, 6-9
 - トポロジ 4-3, 4-4
 - 分散型マルチサイト WAN 3-4, 3-6, 6-5, 6-10
- は
- ハードウェア
- アップグレード 4-3
 - インストール 1-3
 - 機器のチェック 4-5
 - 必要条件 4-5
- ふ
- ブラウンフィールド導入 1-4
 - 分散型マルチサイト WAN 導入モデル 3-4, 3-6
- ま
- マイナー リリース 4-14
 - マルチサイトの段階的インストール 1-11
 - マルチステージ アップグレード 4-17
 - マルチステージ インストール 3-7
 - プロセス 3-8
 - レガシー導入の場合 1-10
- め
- メジャー リリース 4-14
 - メンテナンス リリース 4-14
- メンテナンス期間
- 単一 4-17, 4-18, 4-19
 - 複数 4-17, 4-19, 4-20, 6-14
- り
- リリース セット
- Cisco Unified Communications System Release 4.2 のコンポーネント 5-12, 5-17, 5-23
 - Cisco Unified Communications System Release 6.0(1) 4-3, 4-4
 - Cisco Unified Communications System Release 6.0(1) のコンポーネント 5-28, 5-32
 - IP Communications Systems Test Release 4.2 4-3
 - Systems Test から System リリースへ 4-14
 - アップグレード 4-3, 4-4
 - インストール ベース導入 1-4
 - インターワーキング 4-18
 - 概要 1-4
 - グリーンフィールド導入 1-5
 - ソフトウェア バージョン 2-5
 - ターゲット 4-10
 - ターゲット リリース 4-3, 4-4
 - 定義 4-3
 - ベース リリース 4-3, 4-4
 - マイナーからマイナーへのアップグレード 4-14
 - メジャーからマイナーへのアップグレード 4-14
 - メジャーからメジャーへのアップグレード 4-14
 - レガシー導入 1-4
- れ
- レガシー導入
- 説明 1-4
 - 単一ステージ導入 1-10
 - マルチステージ インストール 1-10
 - リリース セット 1-4